

令和5年度 枚方市市民意識調査報告書

令和5年8月

枚方市 総合政策部 企画課

目次

1. 調査の概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 実施要領.....	1
(3) 報告書の見方.....	1
2. 調査結果.....	2
1 回答者属性.....	2
2 枚方市の印象.....	5
3 施策に対する満足度.....	10
項目ごとの回答状況.....	10
経年比較<世代別・上位5項目>.....	45
経年比較<世代別・下位5項目>.....	46
経年比較(施策目標・施策指標/満足度) 枚方市の取り組みに対して感じていること.....	47
順位比較<枚方市の取り組みに対して感じていること：全項目>.....	53
4 施策の重要度.....	54
項目ごとの回答状況.....	54
経年比較<世代別・上位5項目>.....	86
経年比較<世代別・下位5項目>.....	87
経年比較(施策目標・施策指標/重要度) 枚方市が進める施策の重要度.....	88
順位比較<枚方市が進める施策の重要度：全項目>.....	93
5 施策に対する満足度と重要度の分布図.....	94
6 生活における満足度.....	95
(1) 国の調査※との比較.....	95
(2) 趣味・生きがいの有無別の比較.....	96

1. 調査の概要

(1) 調査目的

この調査は、今後の枚方市のまちづくりへの反映のために、市政に対する満足度などを調査するため実施したものです。

また、Well-being（※1）の観点から国が実施している満足度・生活の質に関する調査の結果と比較検証できるよう、「生活における満足度」についてもあわせて調査しました。

(2) 実施要領

調査対象	調査期間	回答方法（※2）	回答数	有効回答数
市内在住の 満18歳以上の方 2,500件 (無作為抽出)	令和5年 4月26日 ～ 令和5年 5月25日	・郵送での回答 ・QRからの回答	968件 郵送での回答：582件 QRからの回答：386件	967件 郵送での回答：581件 QRからの回答：386件

(3) 報告書の見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・また、図表において回答の割合が0.0%の選択肢がある場合、その選択肢の図示を省略しています。

※1 Well-beingとは、「身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること」をいい、質的・主観的観点から経済社会の構造をより多面的に「見える化」し、政策運営に活かすものです。

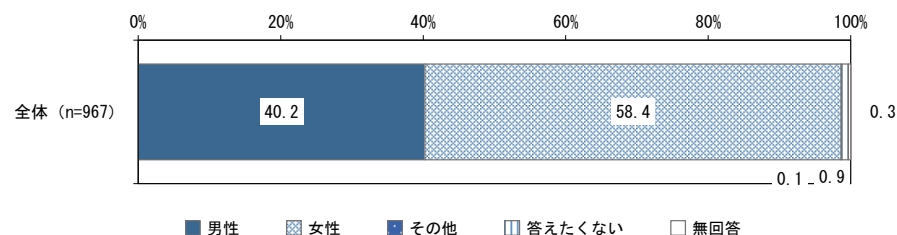
※2 回答方法は、調査票へ記入のうえ郵送する方法（「郵送での回答」と、調査票記載のQRコードでWeb上の回答フォームにアクセスして回答する方法（「QRからの回答」）を選択することができました。

2. 調査結果

1 回答者属性

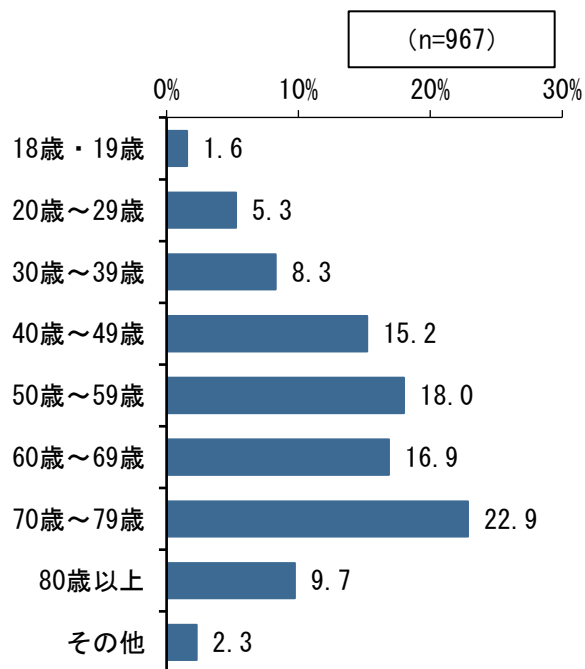
(1) 性別

回答者の性別は、「男性」が40.2%、「女性」が58.4%、「その他」が0.1%、「答えたくない」が0.9%となっています。



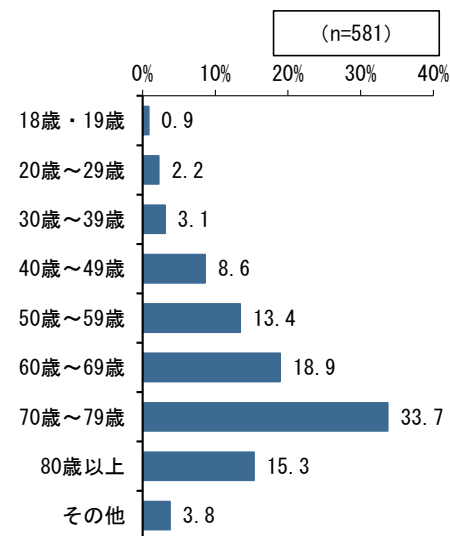
(2) ①年齢

回答者の年齢は、「70歳～79歳」が22.9%で最も高く、次いで「50歳～59歳」が18.0%、「60歳～69歳」が16.9%と続いています。



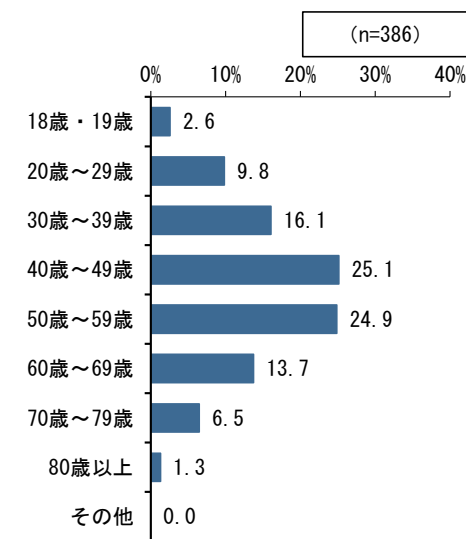
(2) ②年齢（郵送での回答）

郵送での回答者の年齢は、「70歳～79歳」が33.7%で最も高く、次いで「60歳～69歳」が18.9%、「80歳以上」が15.3%と続いています。



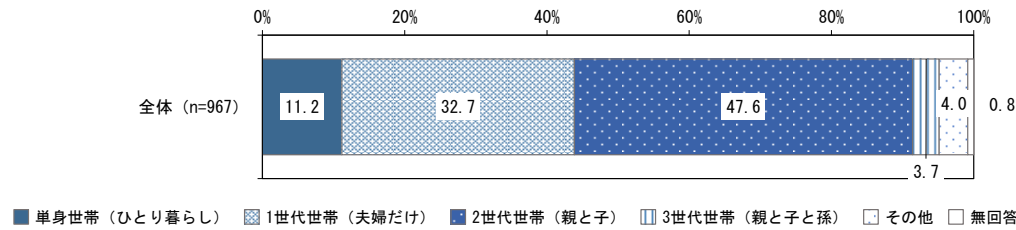
(2) ③年齢（QRでの回答）

QRでの回答者の年齢は、「40歳～49歳」が25.1%で最も高く、次いで「50歳～59歳」が24.9%、「30歳～39歳」が16.1%と続いています。



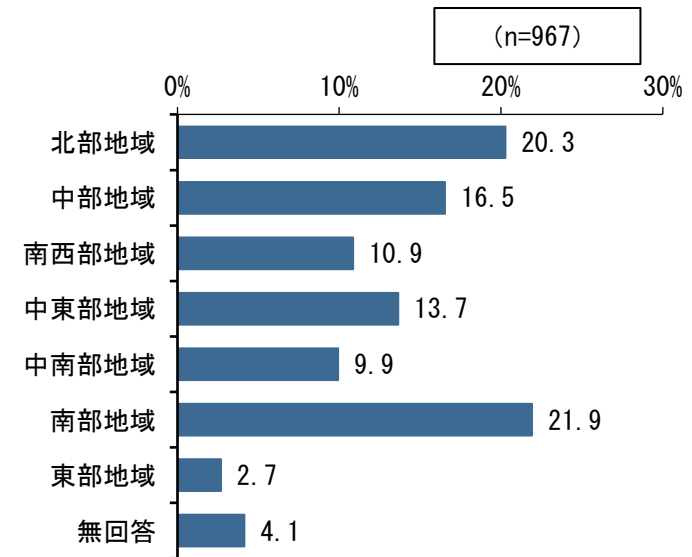
(3) 同居の家族構成

同居の家族構成では、「2世代世帯（親と子）」が47.6%で最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦だけ）」が32.7%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が11.2%と続いています。



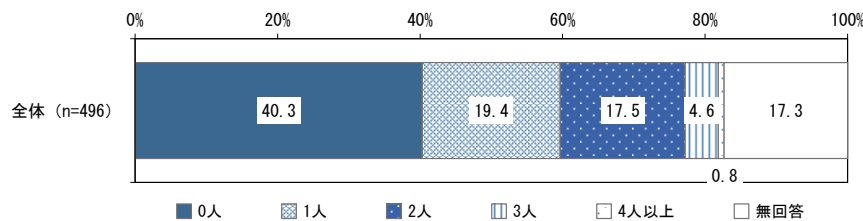
(5) 居住地域※

居住地域については、「南部地域」が21.9%で最も高く、次いで「北部地域」が20.3%、「中部地域」が16.5%と続いています。

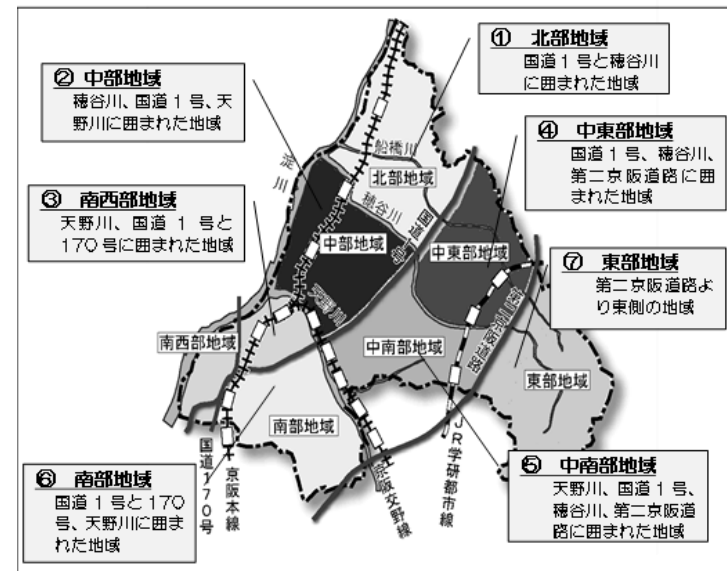


(4) 同居の家族のうち18歳未満の子どもの数

18歳未満の子どもの数については、「0人」が40.3%で最も高く、次いで「1人」が19.4%、「2人」が17.5%と続いています。

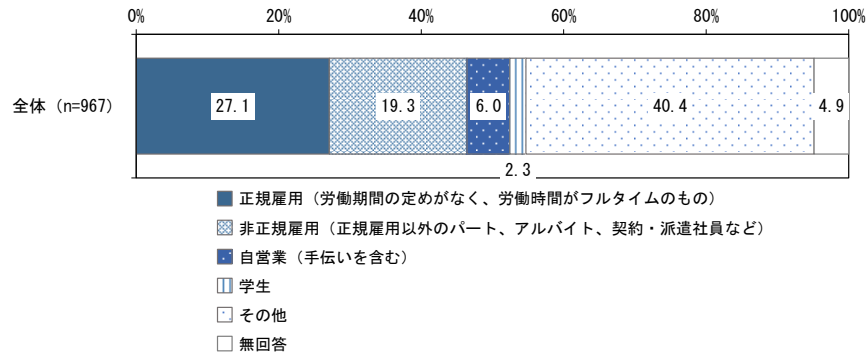


※市域を主要な河川や幹線道路によって7つの地域（北部地域、中部地域、南西部地域、中東部地域、中南部地域、南部地域、東部地域）に区分しています。



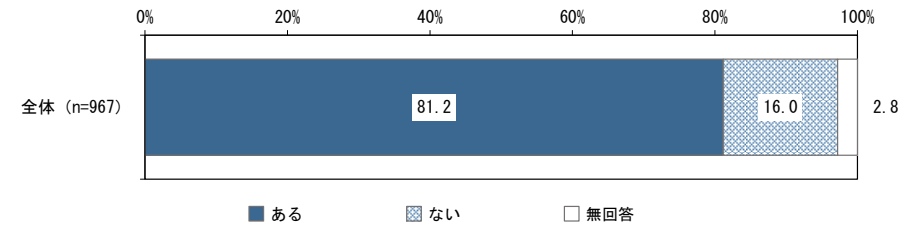
(6) 就業状況

就業状況は、「正規雇用（労働期間の定めがなく、労働時間がフルタイムのもの）」が27.1%で最も高く、次いで「非正規雇用（正規雇用以外のパート、アルバイト、契約・派遣社員など）」が19.3%、自営業（手伝いを含む）が6.0%となっています。



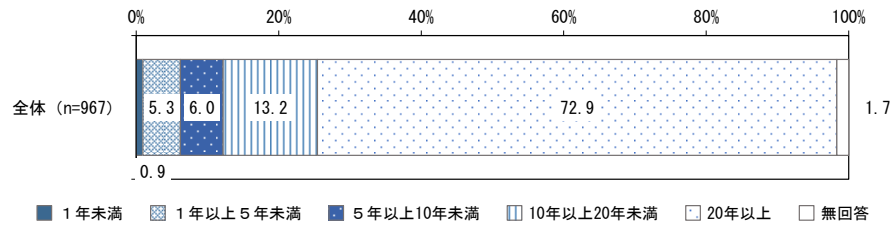
(8) 趣味や生きがいの有無

趣味や生きがいの有無について、「ある」が81.2%、「ない」が16.0%となっています。



(7) 居住年数

居住年数については、「20年以上」が72.9%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」が13.2%、「5年以上10年未満」が6.0%と続いています。



2 枚方市の印象

「第5次枚方市総合計画」では、目指すまちの姿を「持続的に発展し、一人ひとりが輝くまち 枚方」としています。市では、市民が住み続けたい、市外の人が住みたいと思える魅力あるまちとして発展し続けられるよう、様々な取り組みを行っており、その効果を測るため、枚方市の印象について調査しました。

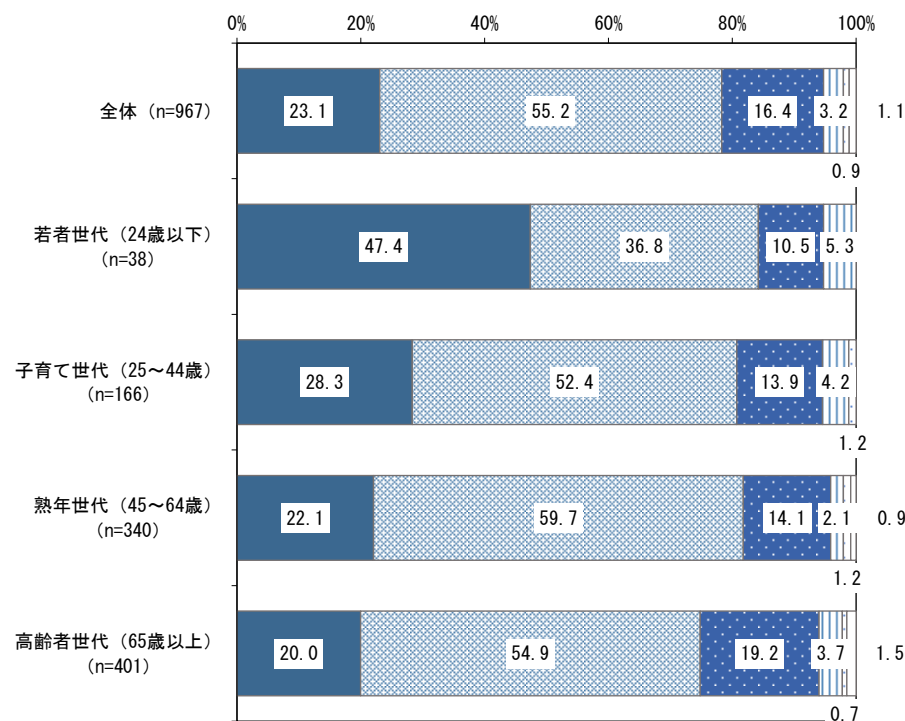
(1) あなたは枚方市を住みよいまちだと思えますか。

枚方市が住みよいまちだと思うかについては、「どちらかといえば住みよい」が55.2%で最も高く、次いで「住みよい」が23.1%、「どちらともいえない」が16.4%と続いています。

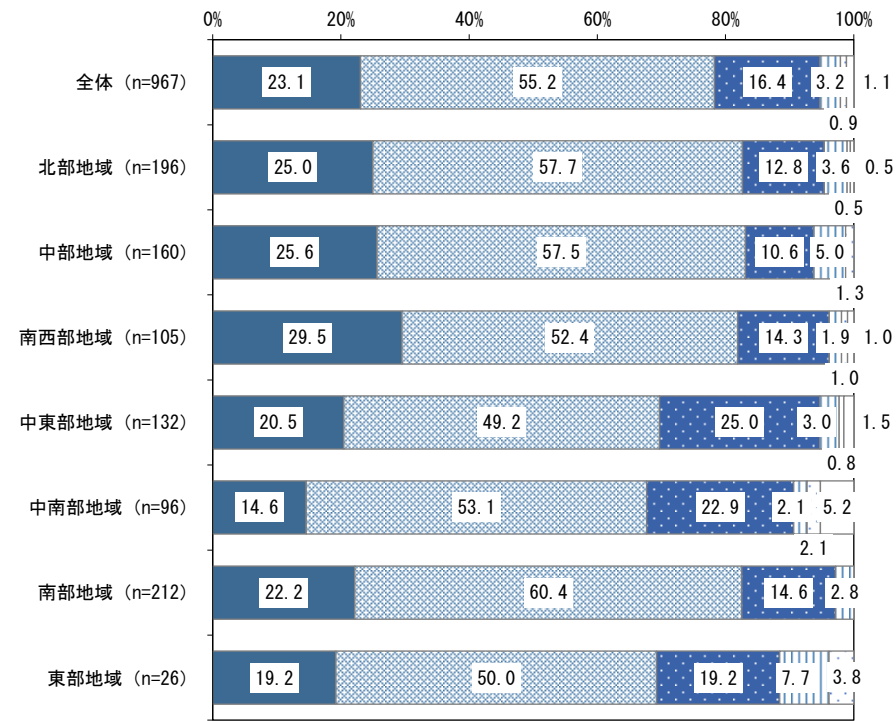
年代区分別では、『住みよいと感じる（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計）』では、若者世代（24歳以下）が84.2%で最も高くなっています。

地域別では、『住みよいと感じる（「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計）』では、中部地域が83.1%で最も高くなっています。

【年代区分別】



【地域別】



■ 住みよい ■ どちらかといえば住みよい ■ どちらともいえない ■ どちらかといえば住みにくい □ 住みにくい □ 無回答

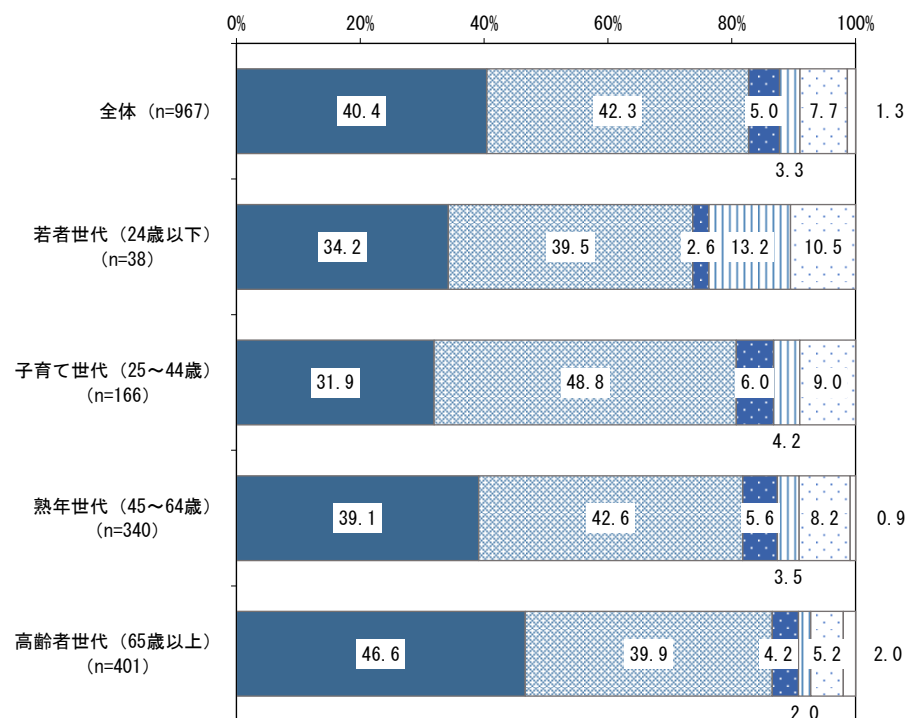
(2) あなたは現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思われますか。

現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思うかについては、「今は移る気はない」が42.3%で最も高く、次いで「住み続けたい」が40.4%、「わからない」が7.7%と続いています。

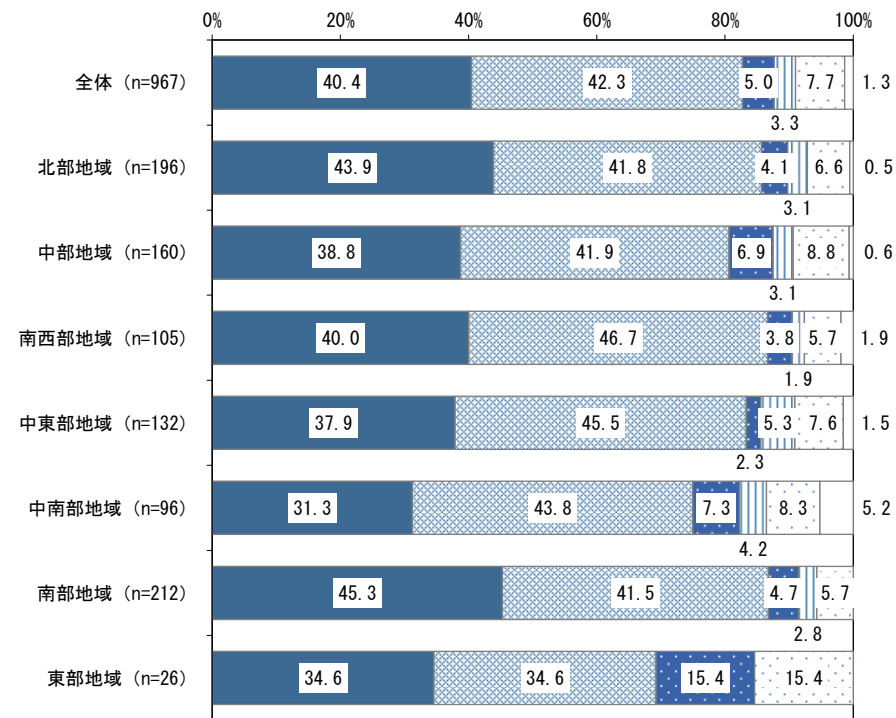
年代区分別では、『住み続けたいと思う（「住み続けたい」と「今は移る気はない」と「市内で他に移りたい」の合計）』では、高齢者世代（65歳以上）が90.7%で最も高くなっています。

地域別では、『住み続けたいと思う（「住み続けたい」と「今は移る気はない」と「市内で他に移りたい」の合計）』では、南部地域が91.5%で最も高くなっています。

【年代区分別】



【地域別】



■ 住み続けたい ■ 今は移る気はない ■ 市内で他に移りたい ■ 市外へ移りたい ■ わからない ■ 無回答

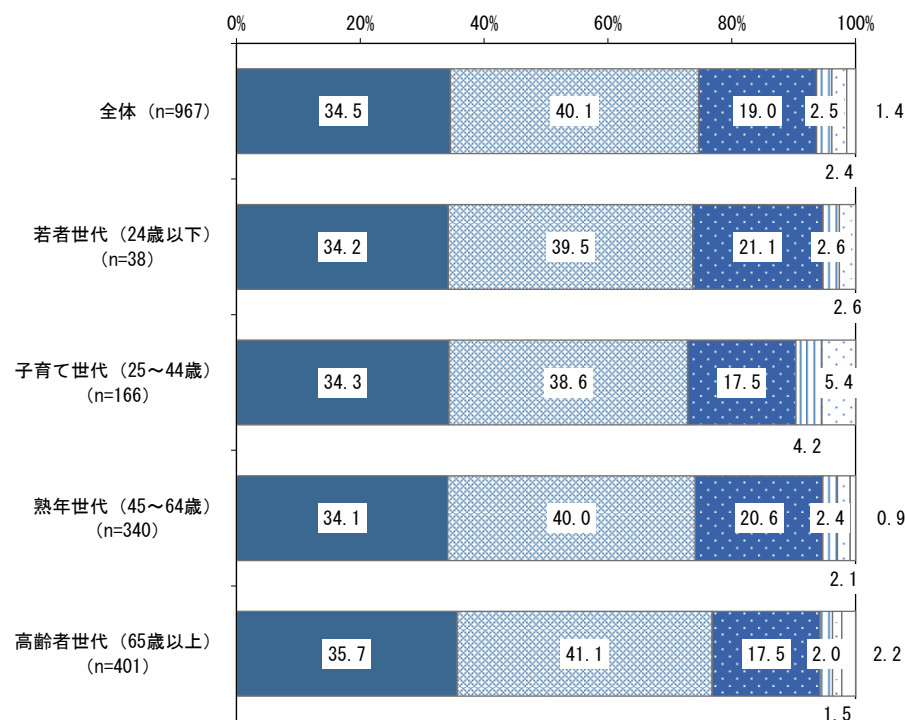
(3) あなたは枚方市に愛着をお持ちですか。

枚方市に愛着を持っているかについては、「どちらかというを持っている」が40.1%で最も高く、次いで「持っている」が34.5%、「どちらともいえない」が19.0%と続いています。

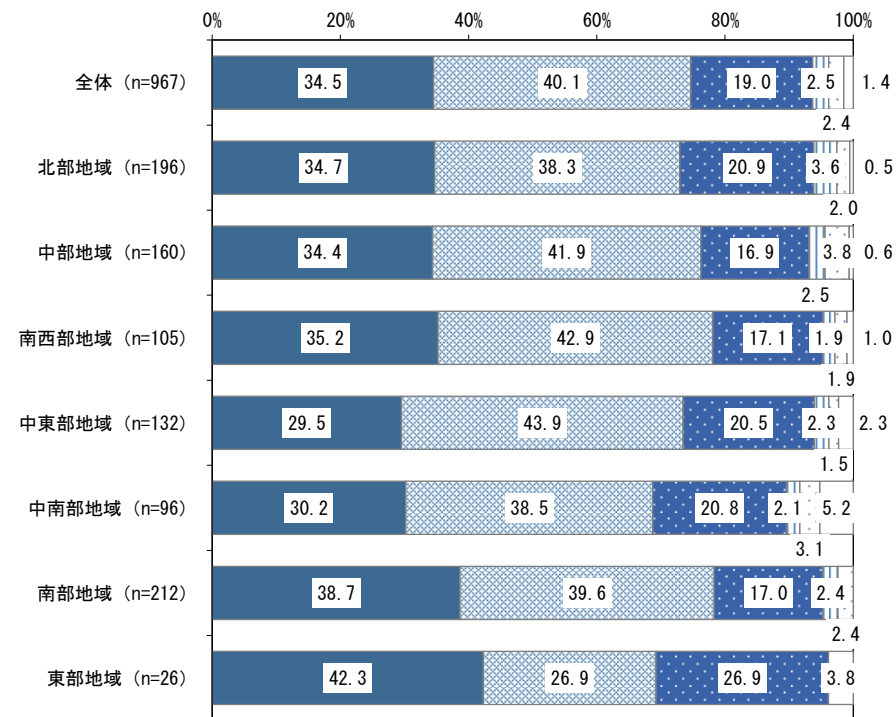
年代区分別では、『愛着を持っている（「持っている」と「どちらかというを持っている」の合計）』では、高齢者世代（65歳以上）が76.8%で最も高くなっています。

地域別では、『愛着を持っている（「持っている」と「どちらかというを持っている」の合計）』では、南部地域が78.3%で最も高くなっています。

【年代区分別】



【地域別】



■ 持っている ■ どちらかというを持っている ■ どちらともいえない ■ どちらかというを持っていない □ 持っていない □ 無回答

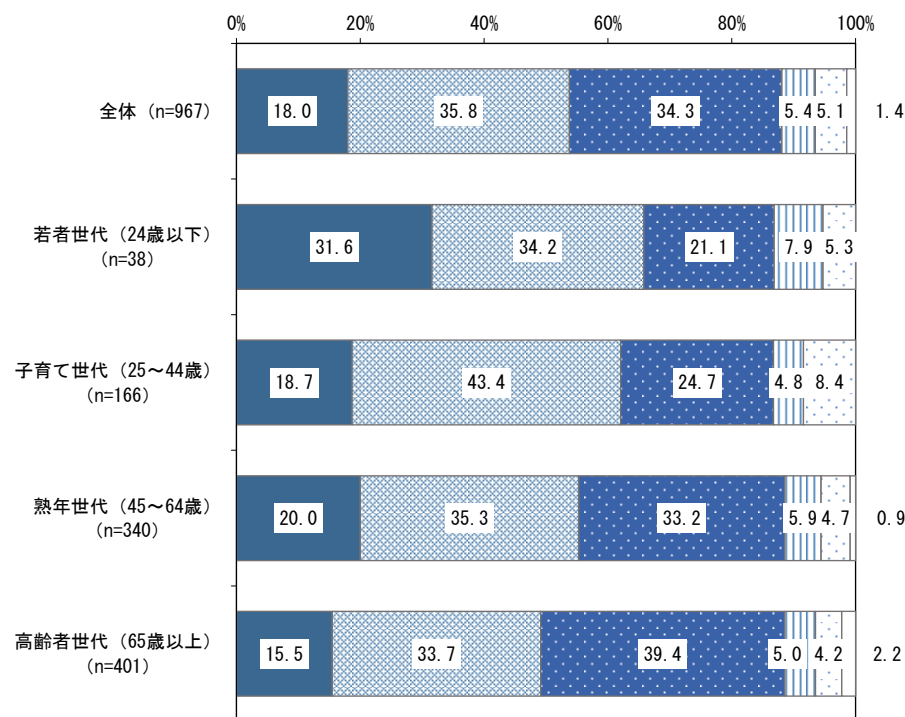
(4) あなたは枚方市の住みよさを友人・知人におすすめしたいと思われませんか

枚方市の住みよさを友人・知人におすすめしたいと思うかについては、「どちらかというと思う」が35.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が34.3%、「そう思う」が18.0%と続いています。

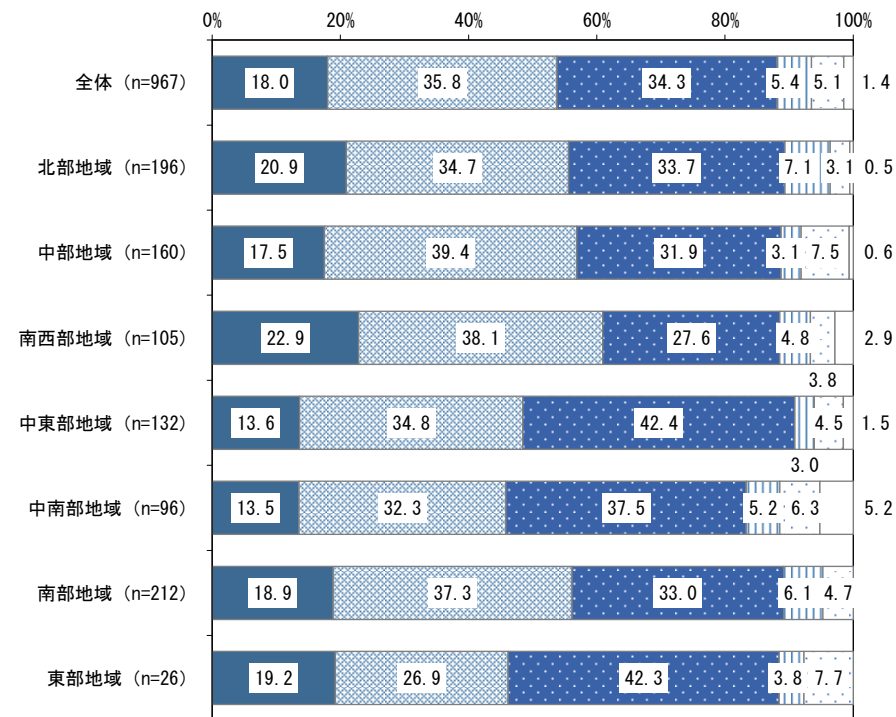
年代区分別では、『おすすめしたい（「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計）』では、若者世代（24歳以下）が65.8%で最も高くなっています。

地域別では、『愛着を持っている（「持っている」と「どちらかというと思っている」の合計）』では、南西部地域が61.0%で最も高くなっています。

【年代区分別】



【地域別】



■ そう思う ▨ どちらかというと思う ■ どちらともいえない ▨ どちらかというと思わない □ 思わない □ 無回答

回答状況（経年比較）

枚方市の印象については、「あなたは枚方市を住みよいまちだと思われませんか」と「あなたは現在住んでいるところに、これからも住み続けたいと思われませんか」では令和元年度から減少していますが、「あなたは枚方市に愛着をお持ちですか」と「あなたは枚方市の住みよさを友人・知人におすすめしたいと思われませんか」では増加しています。

単位：％

	あなたは枚方市を 住みよいまちだ と思われませんか。※1	あなたは現在住ん でいるところに、 これからも住み続 けたいと思われま すか。※2	あなたは枚方市に 愛着をお持ちです か。※3	あなたは枚方市の 住みよさを友人・ 知人におすすめし たいと思われま すか。※4
平成27（2015）年	78.5	87.1	-	-
令和元（2019）年	80.1	89.2	74.4	50.6
令和5（2023）年	78.3	87.7	74.6	53.8
令和5年と令和元年の差	-1.8	-1.5	0.2	3.2

※1：「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計

※2：「住み続けたい」と「今は移る気はない」と「市内で他に移りたい」の合計

※3：「持っている」と「どちらかというを持っている」の合計

※4：「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計

※5：何らからの活動に参加している人の合計

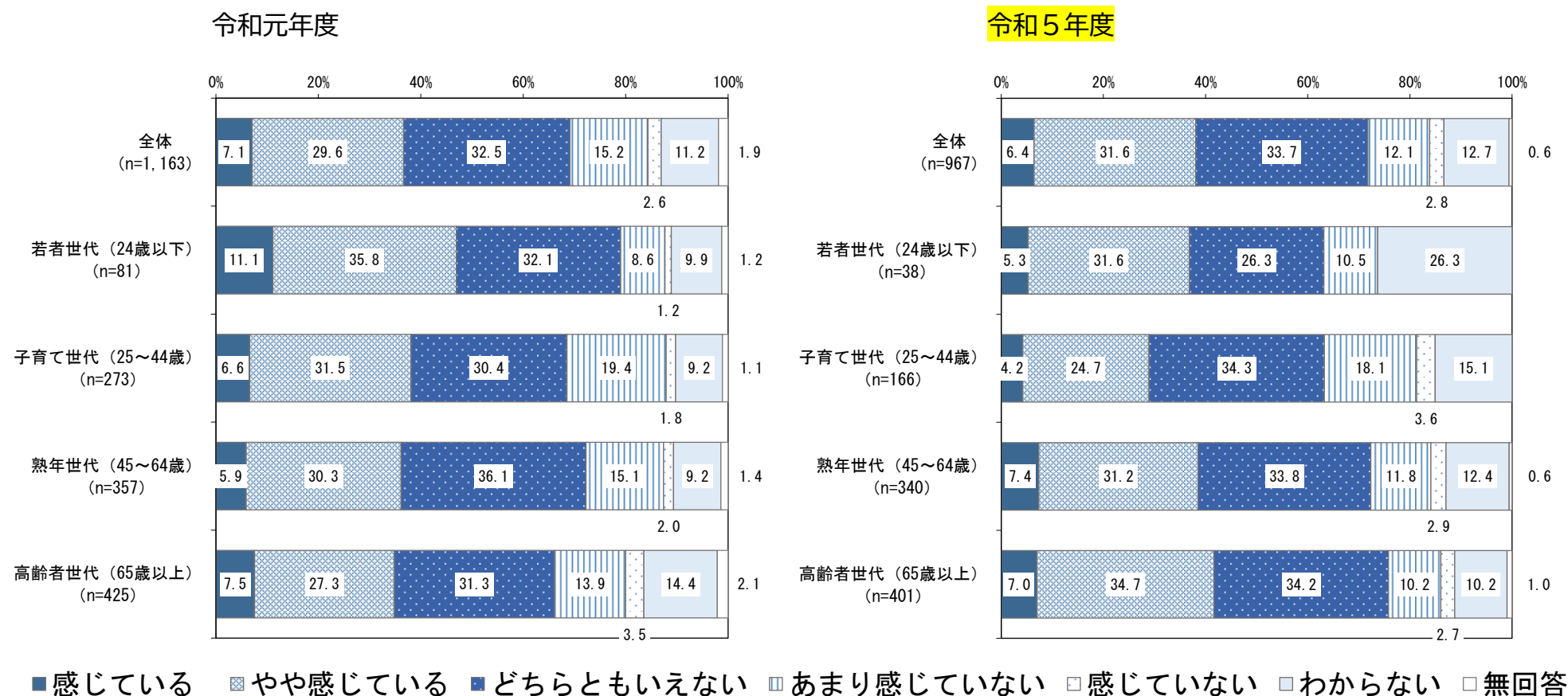
3 施策に対する満足度

項目ごとの回答状況

(1) 防災体制が整っていると感じている市民の割合

防災体制が整っていると感じるかについては、「どちらともいえない」が33.7%で最も高く、次いで「やや感じている」が31.6%、「わからない」が12.7%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では、38.0%となっており、令和元年度（36.7%）から1.3ポイント増加しています。

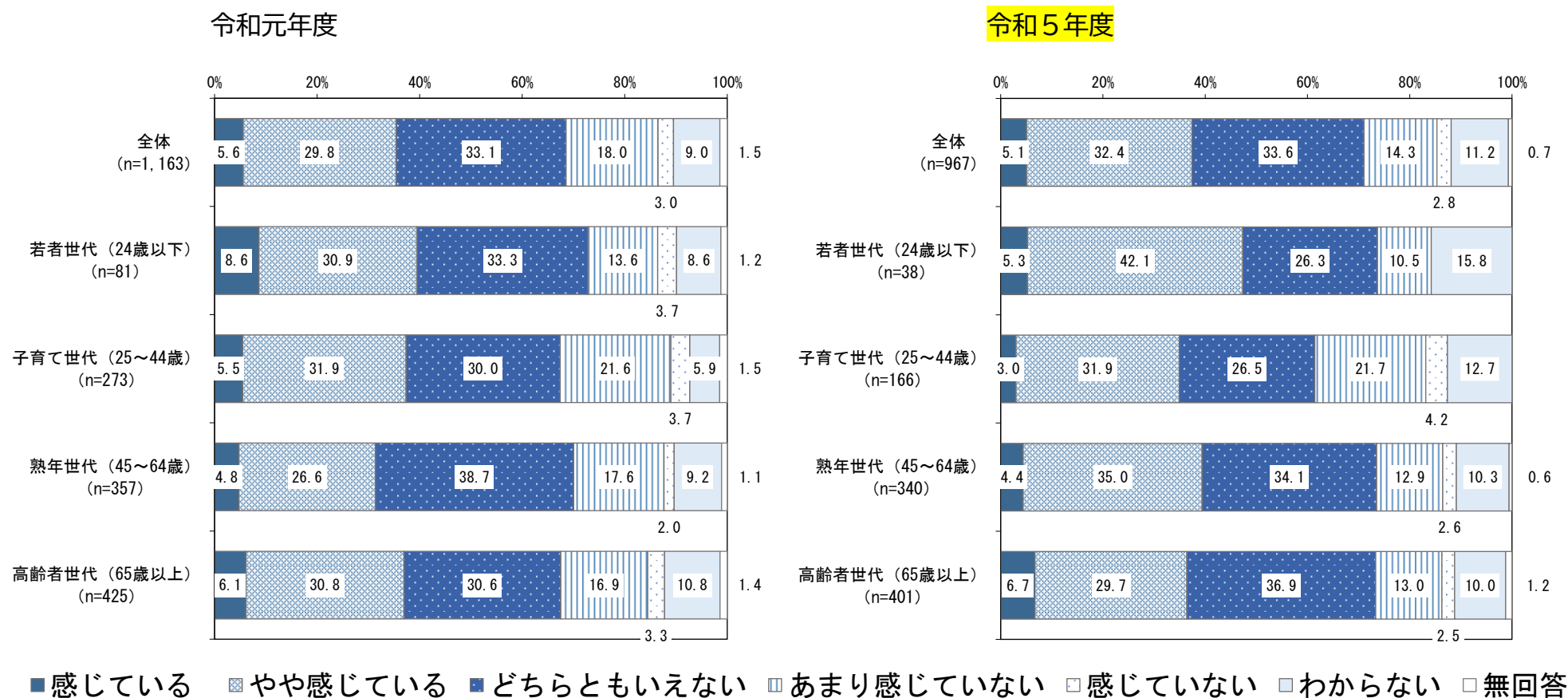
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、高齢者世代（65歳以上）が41.7%で最も高くなっています。



(2) 防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じている市民の割合

防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じているかについては、「どちらともいえない」が33.6%で最も高く、次いで「やや感じている」が32.4%、「あまり感じていない」が14.3%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では37.5%となっており、令和元年度（35.4%）から2.1ポイント増加しています。

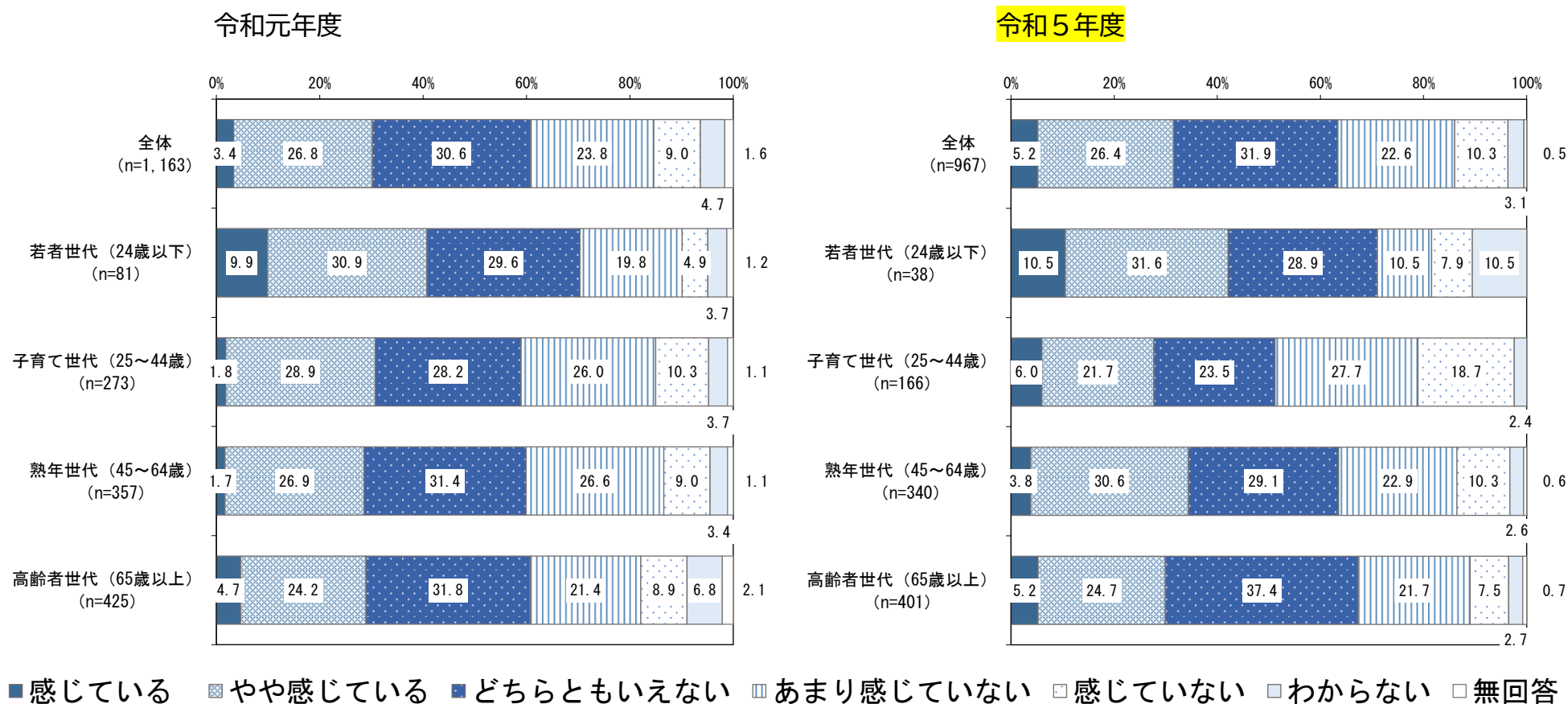
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が47.4%で最も高くなっています。



(3) 安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合

安全で快適な道路環境が整っていると感じているかについては、「どちらともいえない」が31.9%で最も高く、次いで「やや感じている」が26.4%、「あまり感じていない」が22.6%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では31.6%となっており、令和元年度（30.2%）から1.4ポイント増加しています。

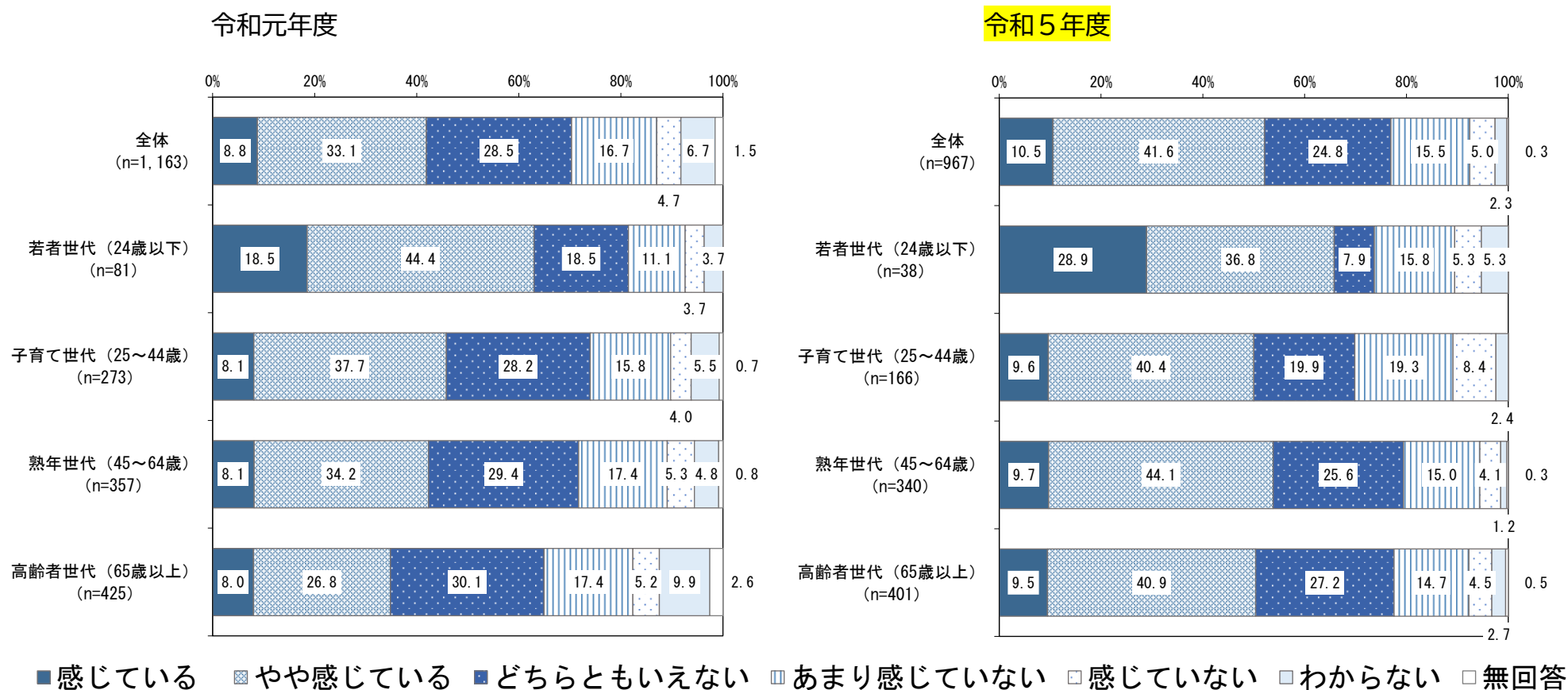
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が42.1%で最も高くなっています。



(4) 公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合

公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じているかについては、「やや感じている」が41.6%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.8%、「あまり感じていない」が15.5%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では52.1%となっており、令和元年度（41.9%）から10.2ポイント増加しています。

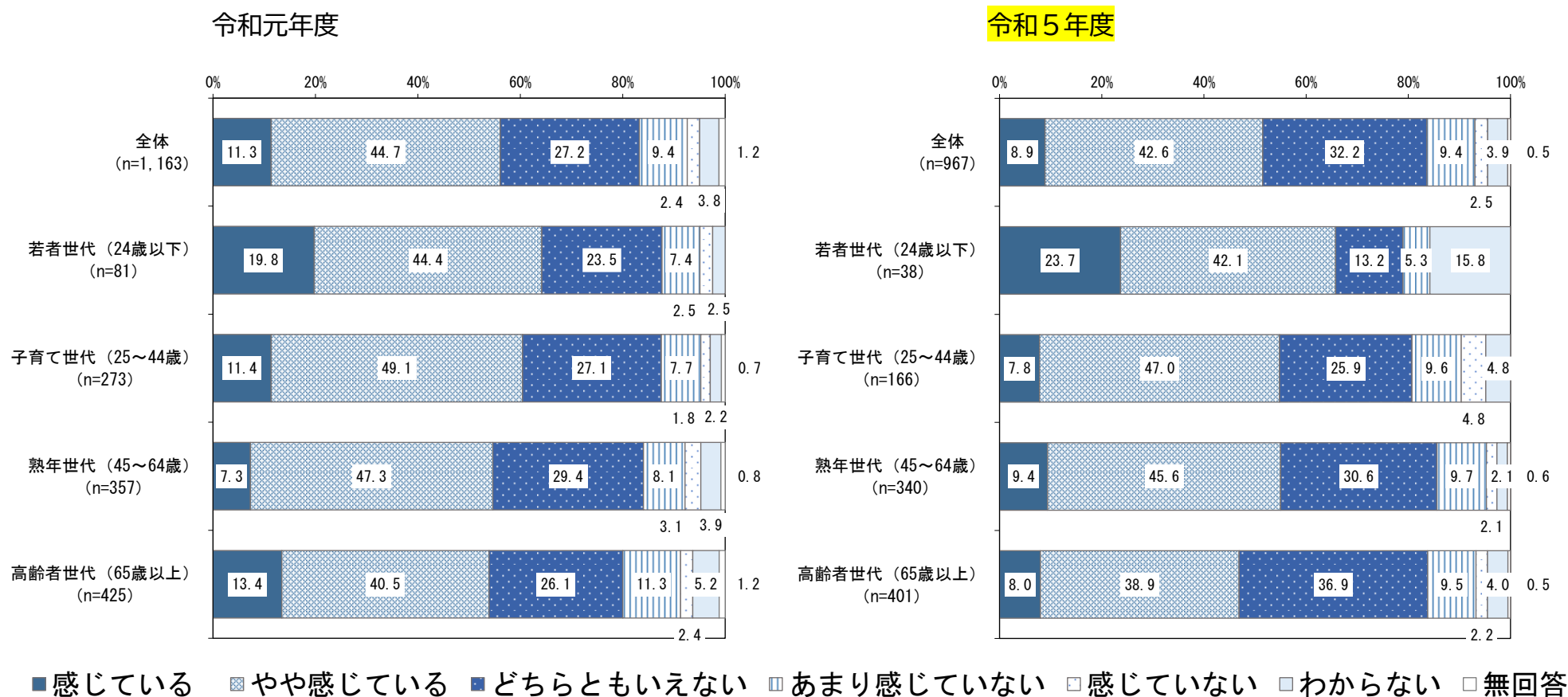
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が65.7%で最も高くなっています。



(5) 心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合

心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じているかについては、「やや感じている」が42.6%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が32.2%、「あまり感じていない」が9.4%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では51.5%となっており、令和元年度（56.0%）から4.5ポイント減少しています。

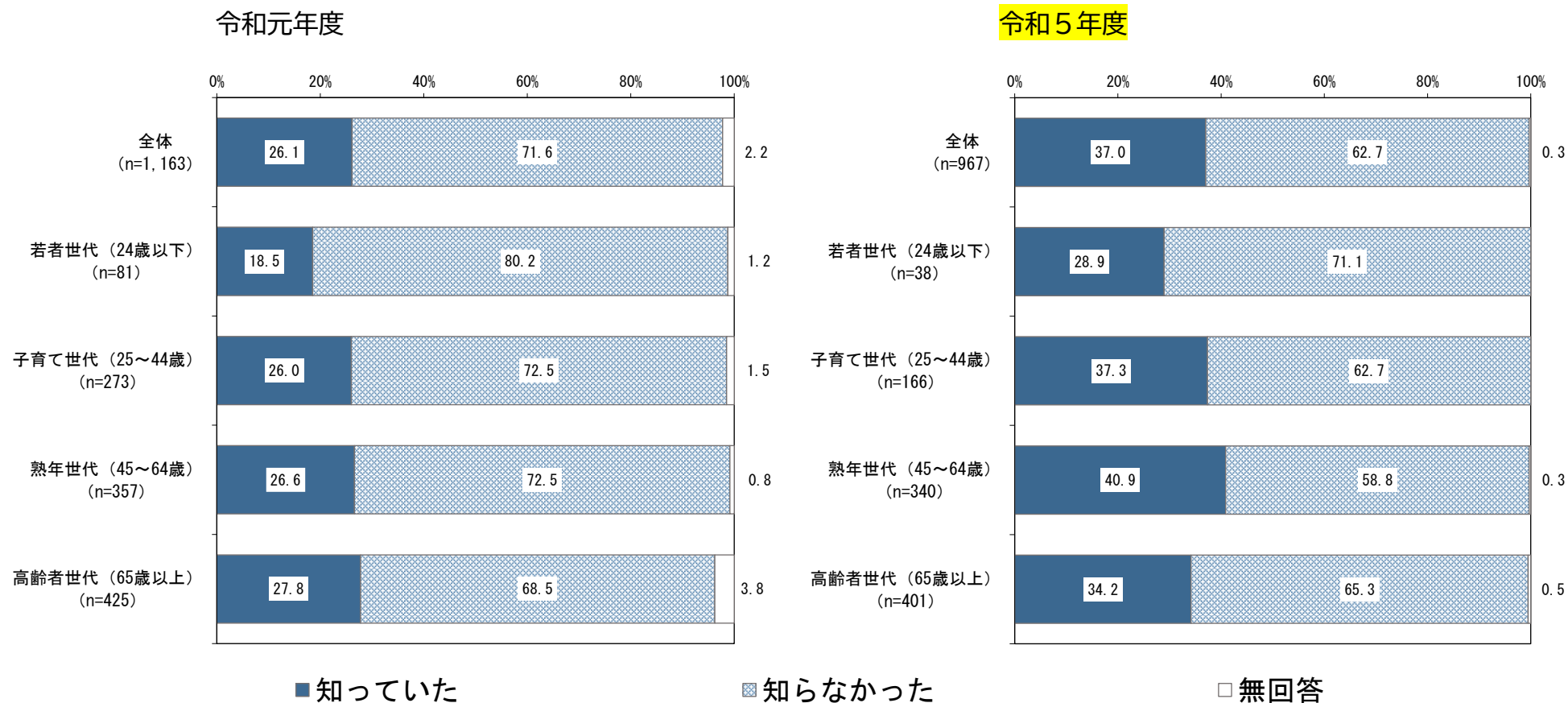
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が65.8%で最も高くなっています。



(6) 枚方市にこころの病気に関する相談窓口があることを知っている市民の割合

枚方市にこころの病気に関する相談窓口があることを知っていたかについては、「知っていた」が37.0%、「知らなかった」が62.7%となっています。「知っていた」について、令和元年度調査（26.1%）と比較すると10.9ポイント増加しています。

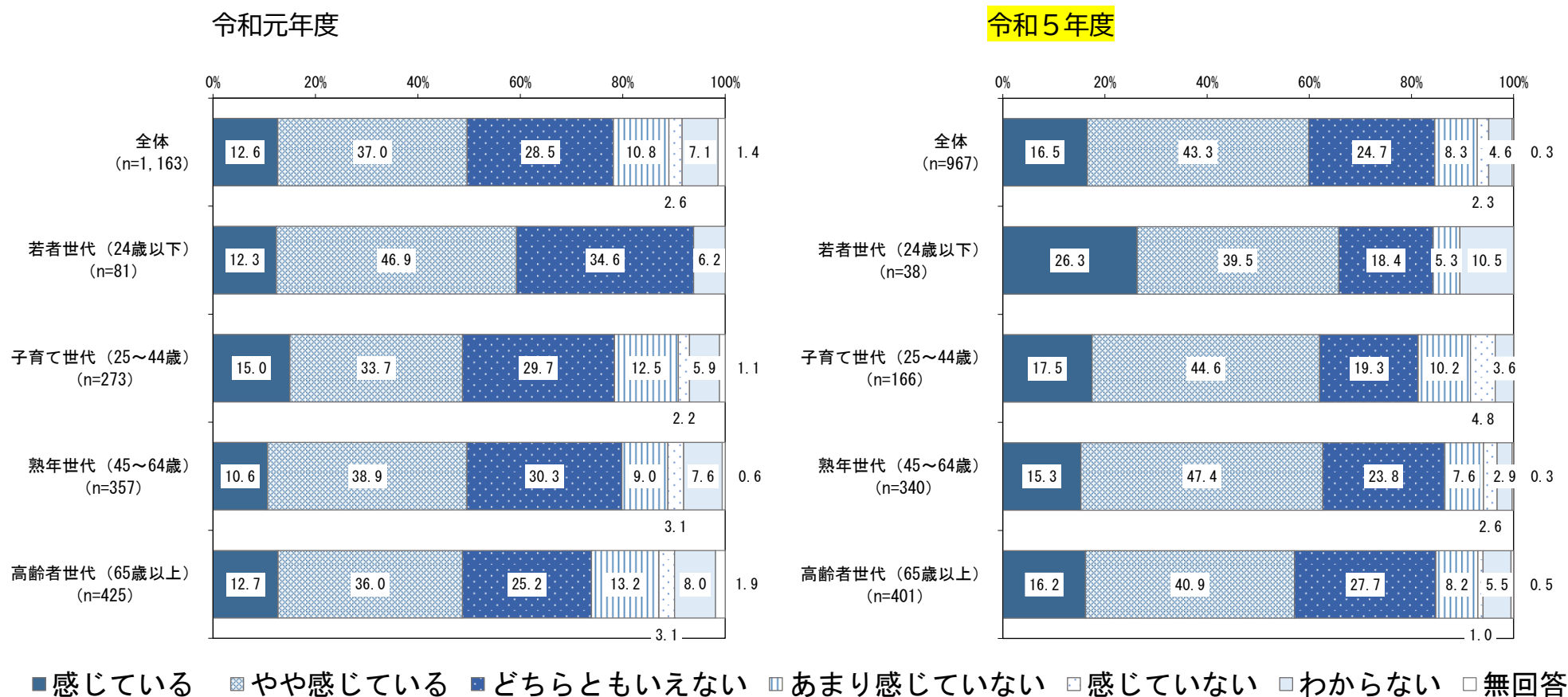
世代別では、「知っていた」について、熟年世代が40.9%で最も高くなっています。



(7) 安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合

安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じているかについては、「やや感じている」が43.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.7%、「感じている」が16.5%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では59.8%となっており、令和元年度（49.6%）から10.2ポイント増加しています。

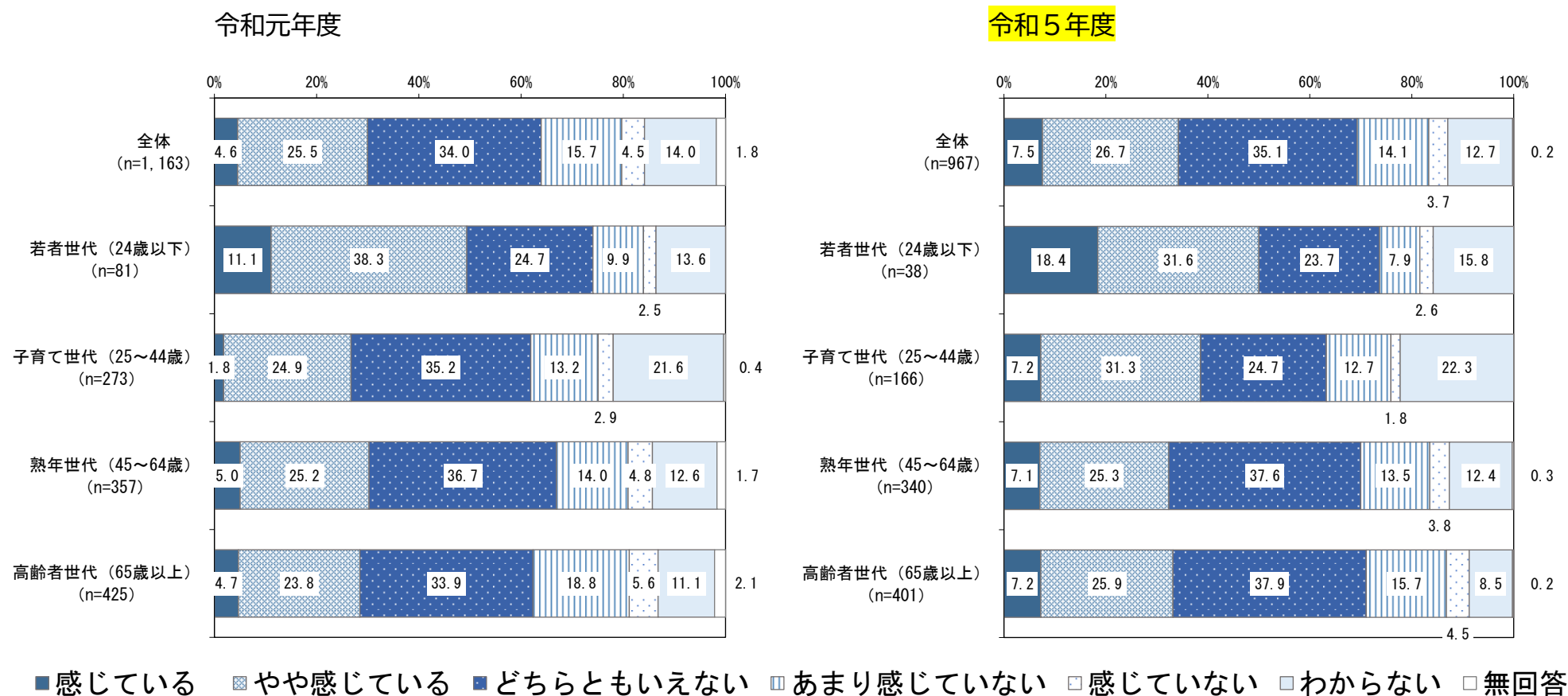
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が65.8%で最も高くなっています。



(8) 高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合

高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じているかについては、「どちらともいえない」が35.1%で最も高く、次いで「やや感じている」が26.7%、「あまり感じていない」が14.1%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では34.2%となっており、令和元年度（30.1%）から4.1ポイント増加しています。

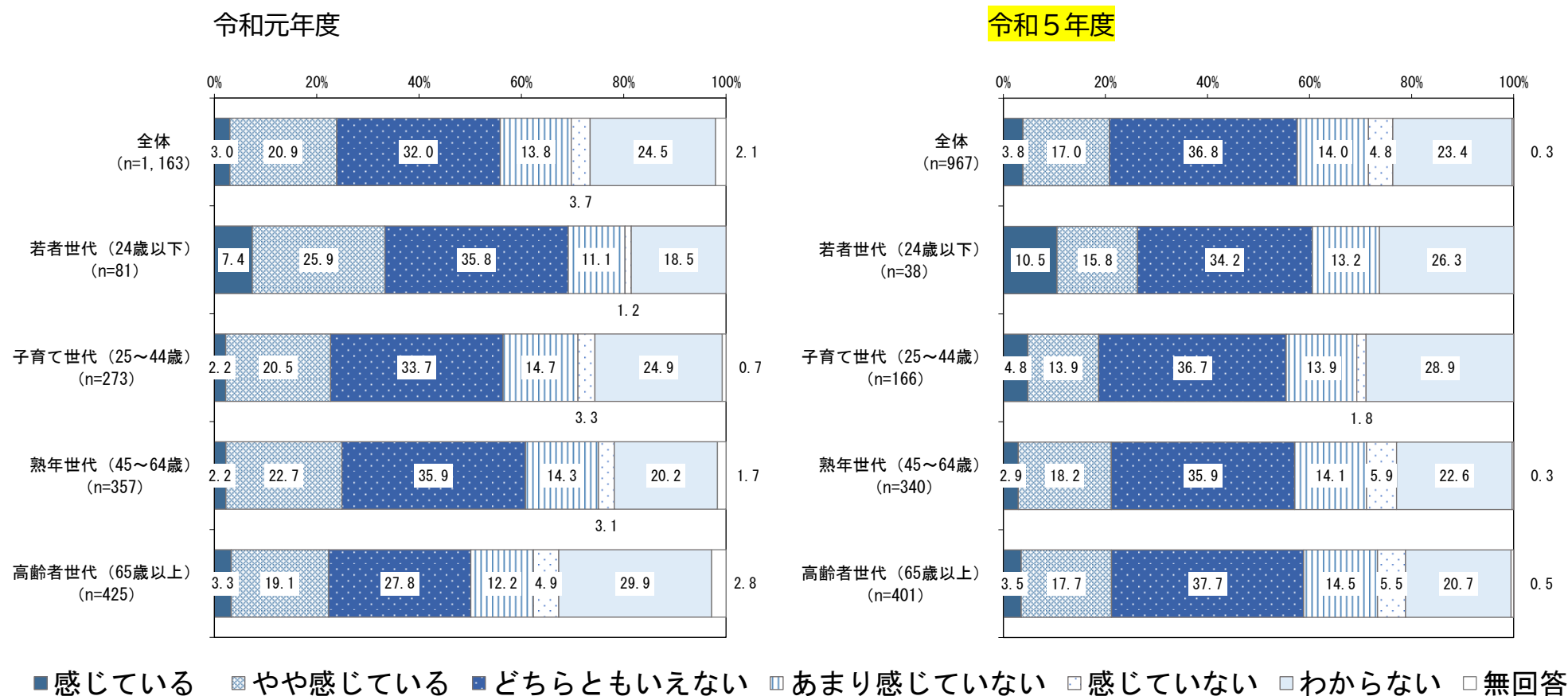
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が50.0%で最も高くなっています。



(9) 障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合

障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じているかについては、「どちらともいえない」が36.8%で最も高く、次いで「わからない」が23.4%、「やや感じている」が17.0%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では20.8%となっており、令和元年度（23.9%）から3.1ポイント減少しています。

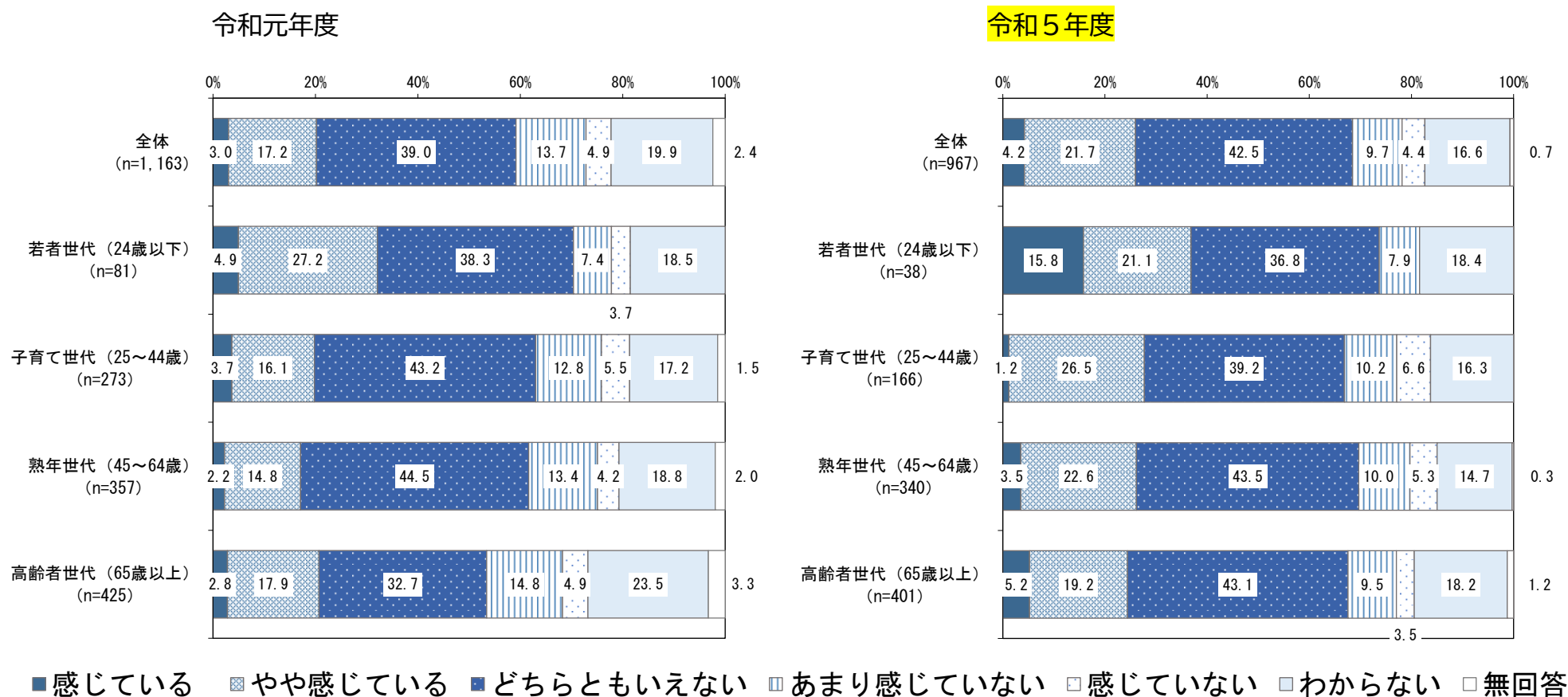
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が26.3%で最も高くなっています。



(10) 一人ひとりが人権を尊重し合えていると感じている市民の割合

一人ひとりが人権を尊重し合えていると感じているかについては、「どちらともいえない」が42.5%で最も高く、次いで「やや感じている」が21.7%、「わからない」が16.6%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では25.9%となっており、令和元年度（20.2%）から5.7ポイント増加しています。

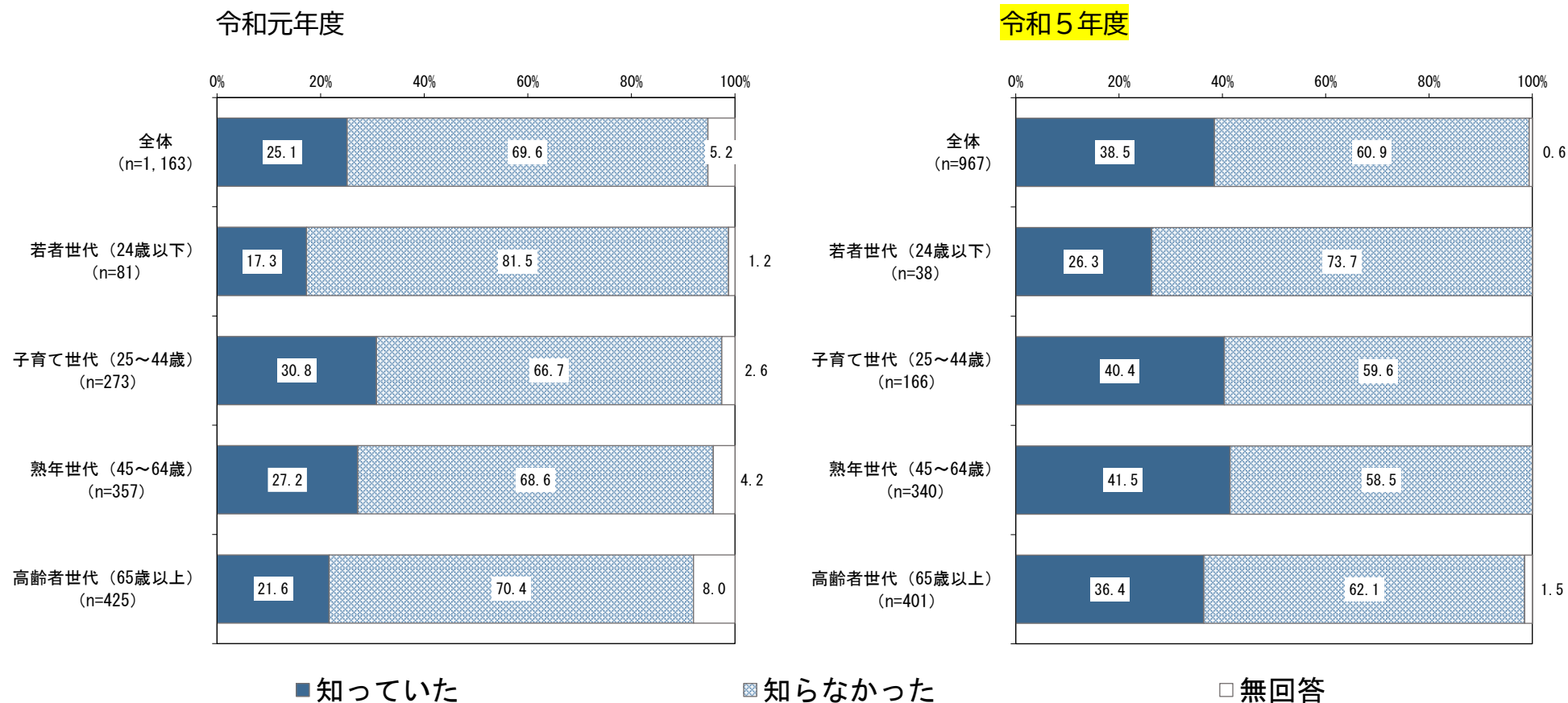
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が36.9%で最も高くなっています。



(11) 枚方市にDV被害に関する相談窓口があることを知っている市民の割合

枚方市にDV被害に関する相談窓口があることを知っていたかについては、「知っていた」が38.5%、「知らなかった」が60.9%となっています。「知っていた」について、令和元年度調査（25.1%）と比較すると13.4ポイント増加しています。

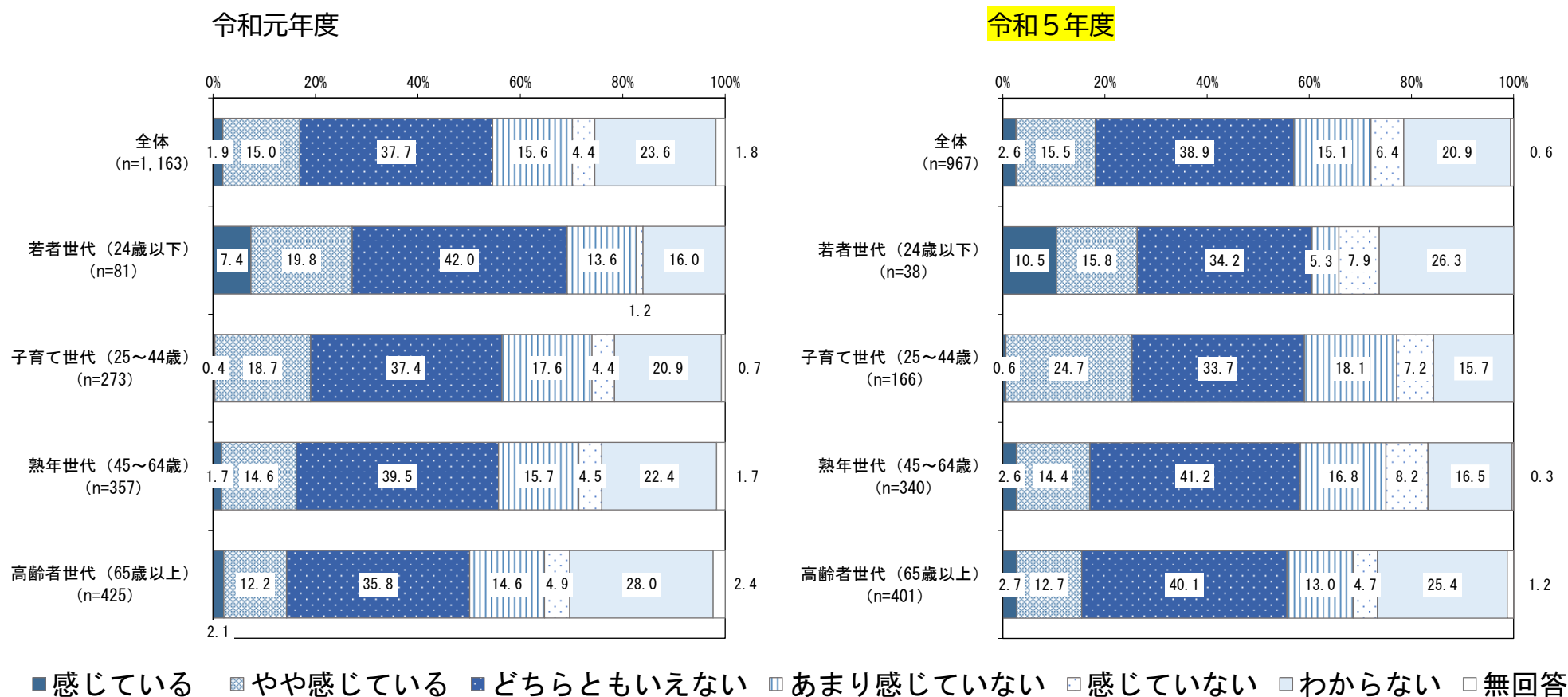
世代別では、「知っていた」の割合は、熟年世代が41.5%で最も高くなっています。



(12) 男女共同参画社会が実現していると感じている市民の割合

男女共同参画社会が実現していると感じているかについては、「どちらともいえない」が38.9%で最も高く、次いで「わからない」が20.9%、「やや感じている」が15.5%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では18.1%となっており、令和元年度（16.9%）から1.2ポイント増加しています。

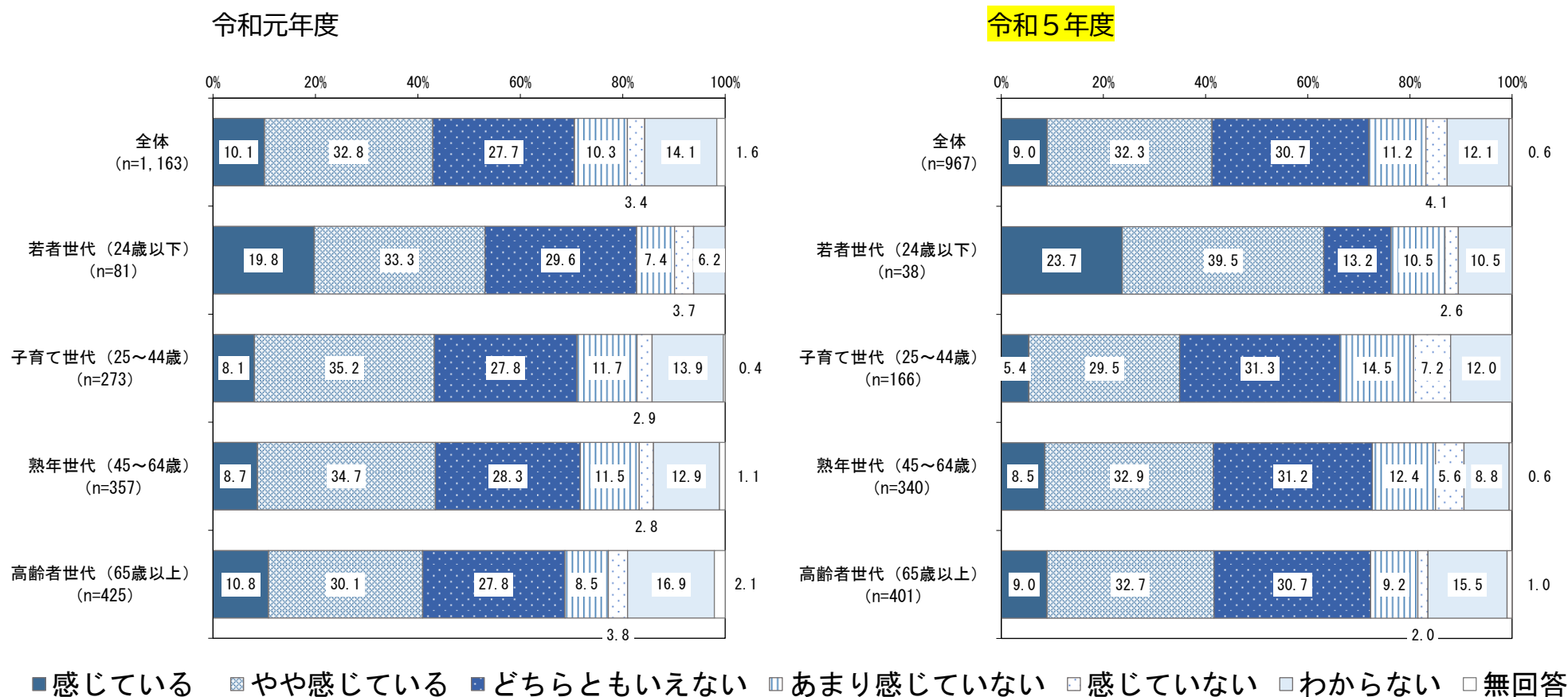
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が26.3%で最も高くなっています。



(13) 平和の大切さが継承されていると感じている市民の割合

平和の大切さが継承されていると感じているかについては、「やや感じている」が32.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.7%、「わからない」が12.1%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では41.3%となっており、令和元年度（42.9%）から1.6ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が63.2%で最も高くなっています。

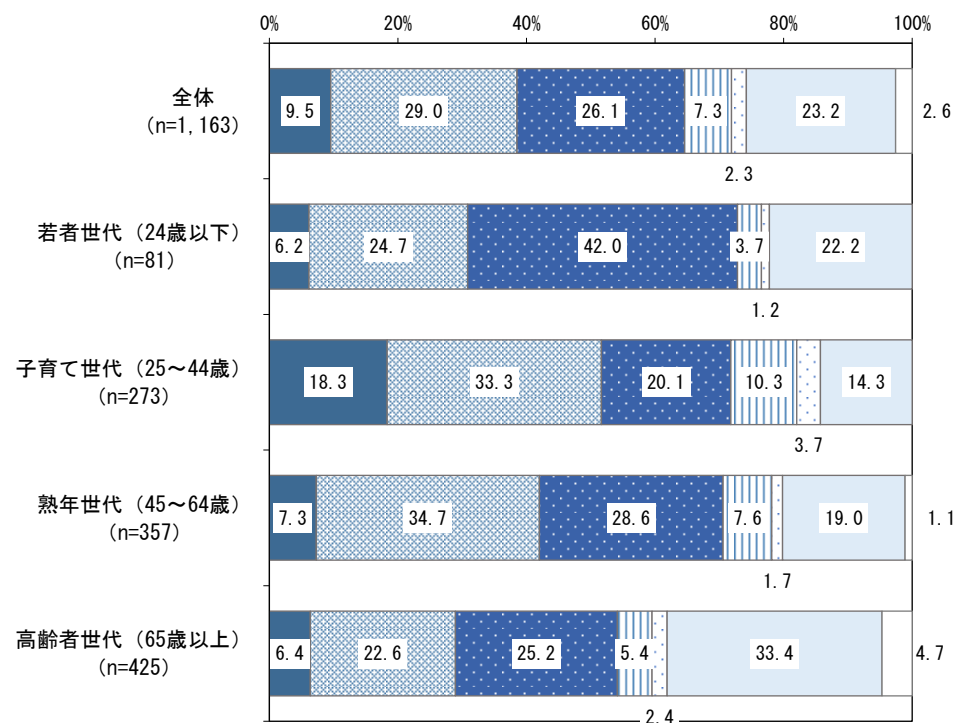


(14) 安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合

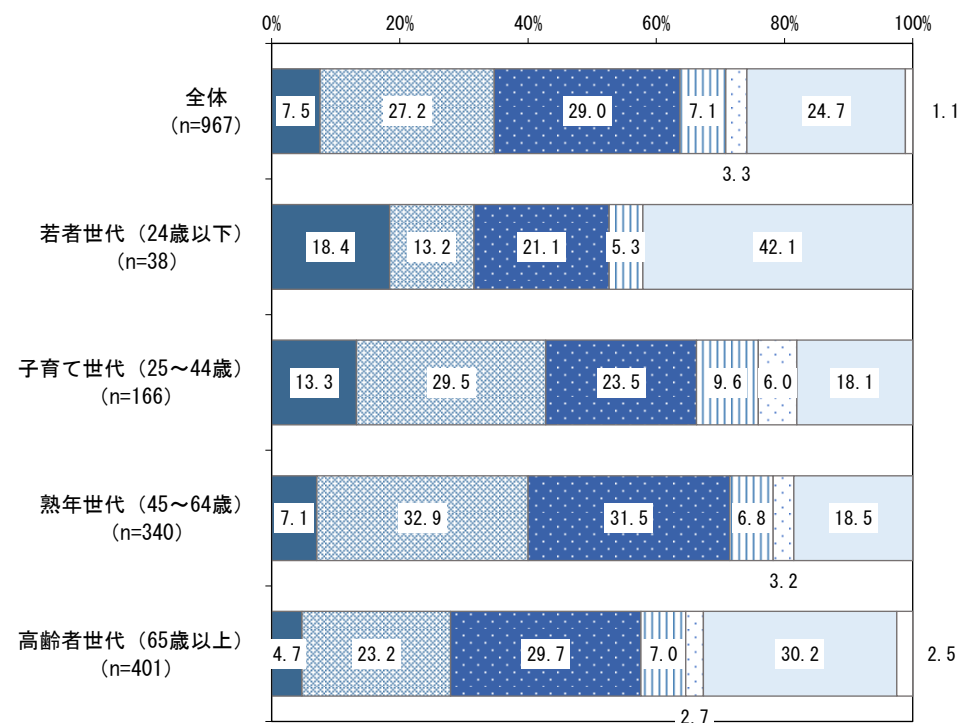
安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じているかについては、「どちらともいえない」が29.0%で最も高く、次いで「やや感じている」が27.2%、「わからない」が24.7%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では34.7%となっており、令和元年度（38.5%）から3.8ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、子育て世代（25～44歳）が42.8%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度



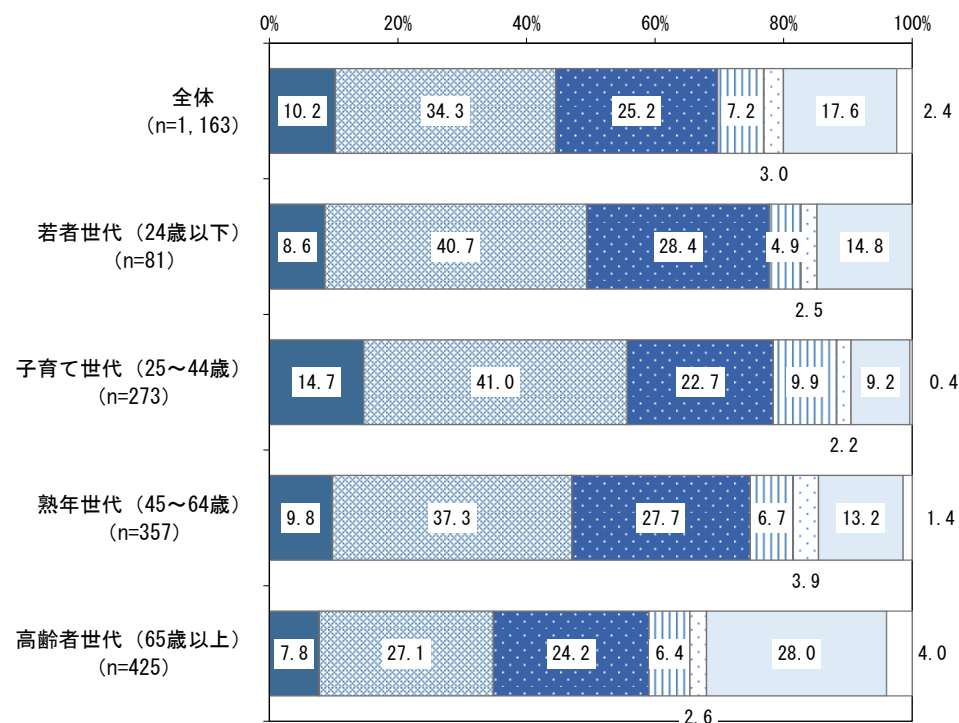
■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(15) 安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合

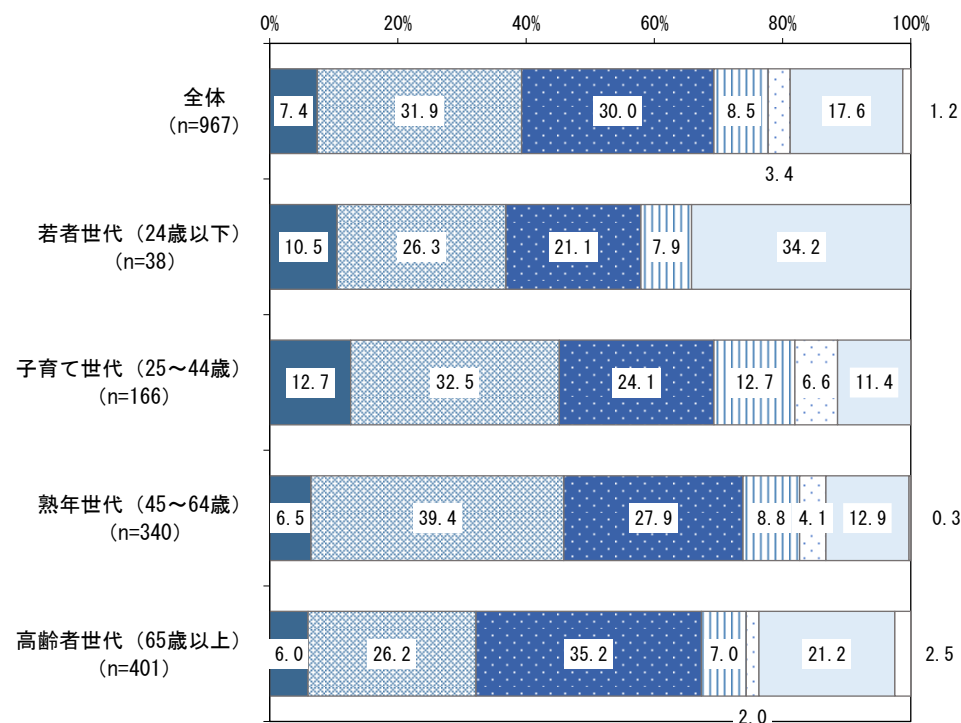
安心して子育てできる環境が整っていると感じているかについては、「やや感じている」が31.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が30.0%、「わからない」が17.6%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では39.3%となっており、令和元年度（44.5%）から5.2ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、熟年世代（45～64歳）が45.9%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

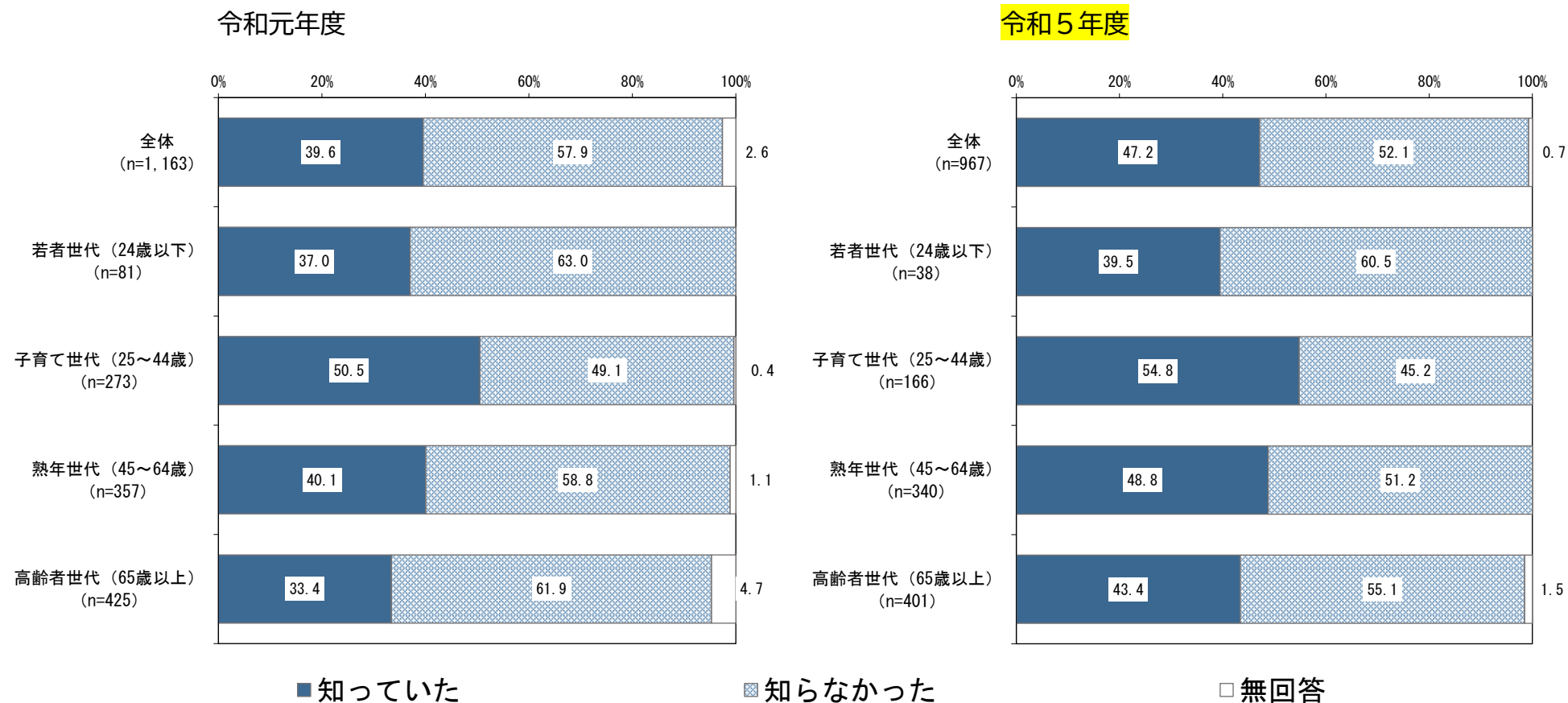


■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(16) 枚方市に児童虐待に関する相談窓口があることを知っている市民の割合

枚方市に児童虐待に関する相談窓口があることを知っていたかについては、「知っていた」が47.2%、「知らなかった」が52.1%となっています。「知っていた」について、令和元年度調査（39.6%）と比較すると7.6ポイント増加しています。

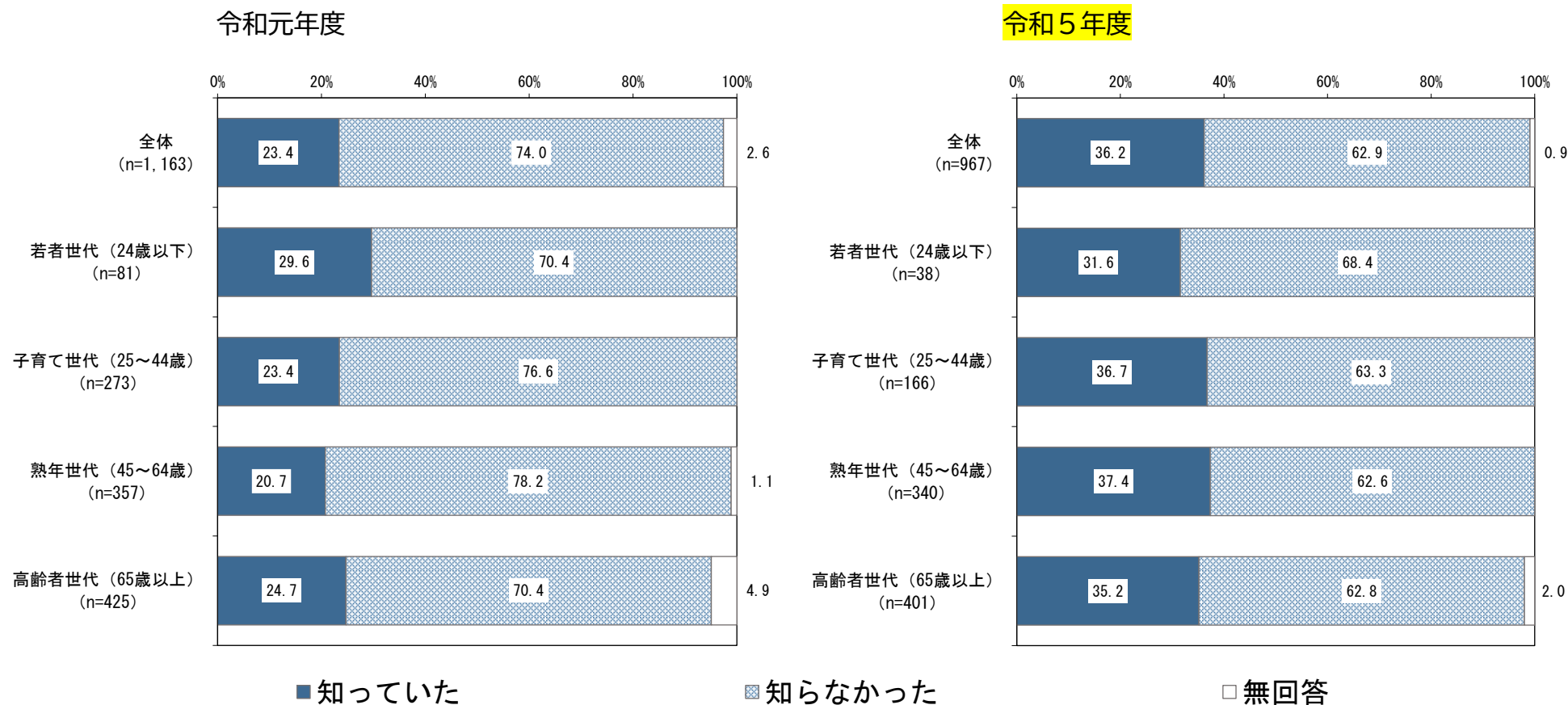
世代別では、「知っていた」の割合は、子育て世代（25～44歳）が54.8%で最も高くなっています。



(17) 枚方市にひきこもり等に関する相談窓口があることを知っている市民の割合

枚方市にひきこもり等に関する相談窓口があることを知っていたかについては、「知っていた」が36.2%、「知らなかった」が62.9%となっています。「知っていた」について、令和元年度調査（23.4%）と比較すると12.8ポイント増加しています。

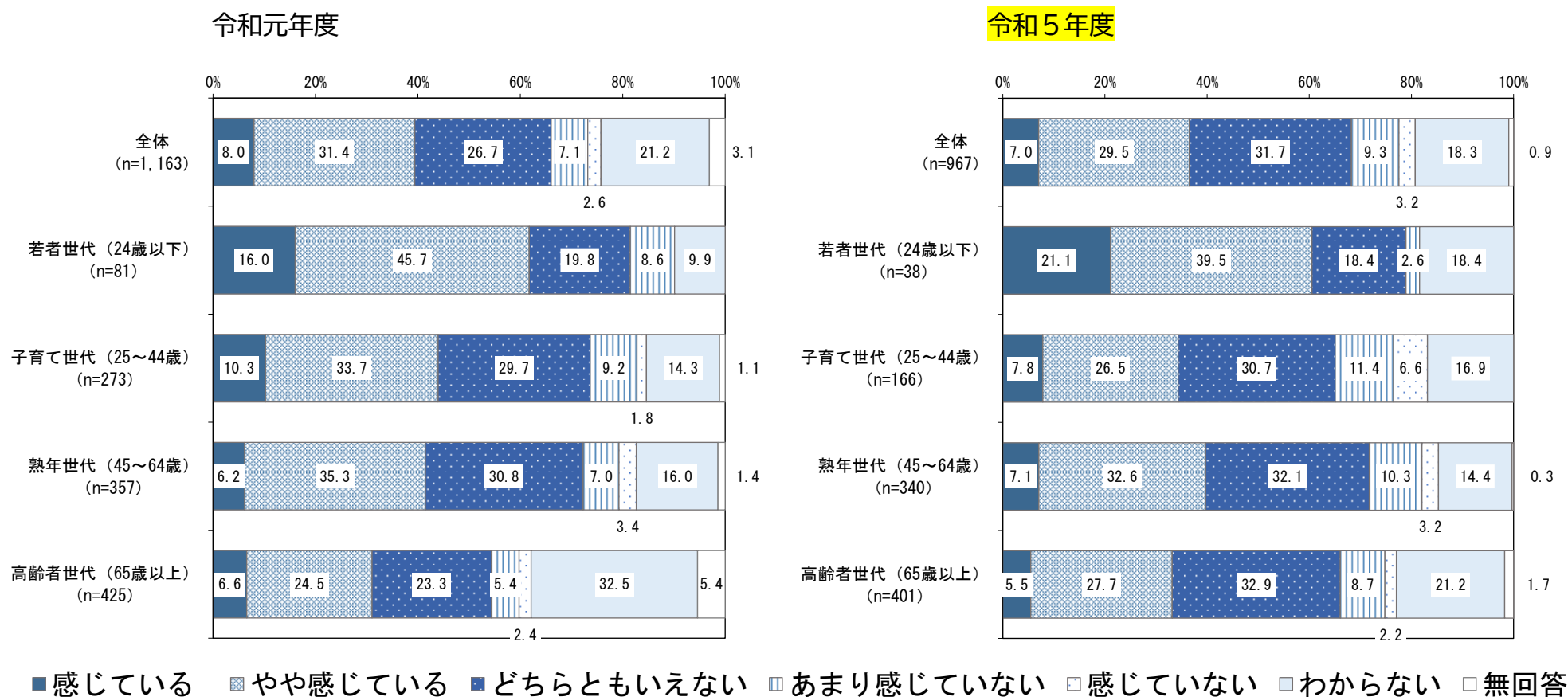
世代別では、「知っていた」の割合は、熟年世代（45～64歳）が37.4%で最も高くなっています。



(18) 子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合

子どもたちへの教育環境が充実していると感じているかについては、「どちらともいえない」が31.7%で最も高く、次いで「やや感じている」が29.5%、「わからない」が18.3%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では36.5%となっており、令和元年度（39.4%）から2.9ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が60.6%で最も高くなっています。



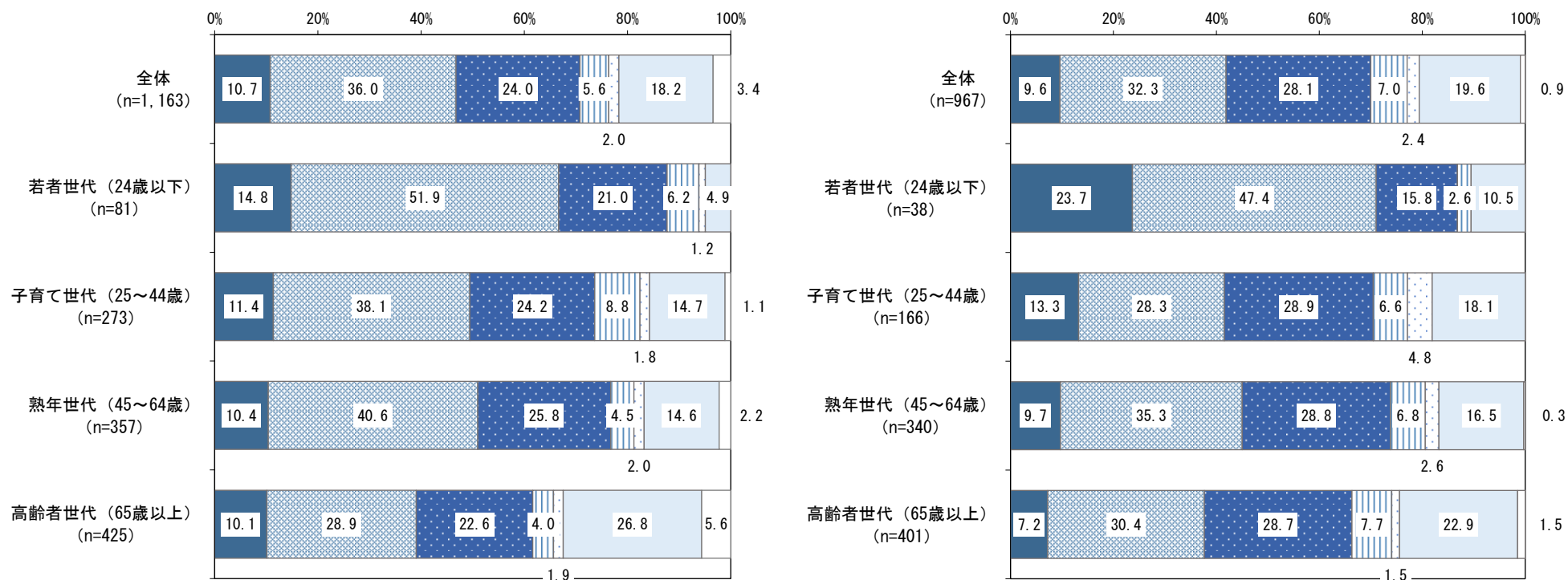
(19) 子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしていると感じている市民の割合

子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしていると感じているかについては、「やや感じている」が32.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が28.1%、「わからない」が19.6%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では41.9%となっており、令和元年度（46.7%）から4.8ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が71.1%で最も高くなっています。

令和元年度

令和5年度



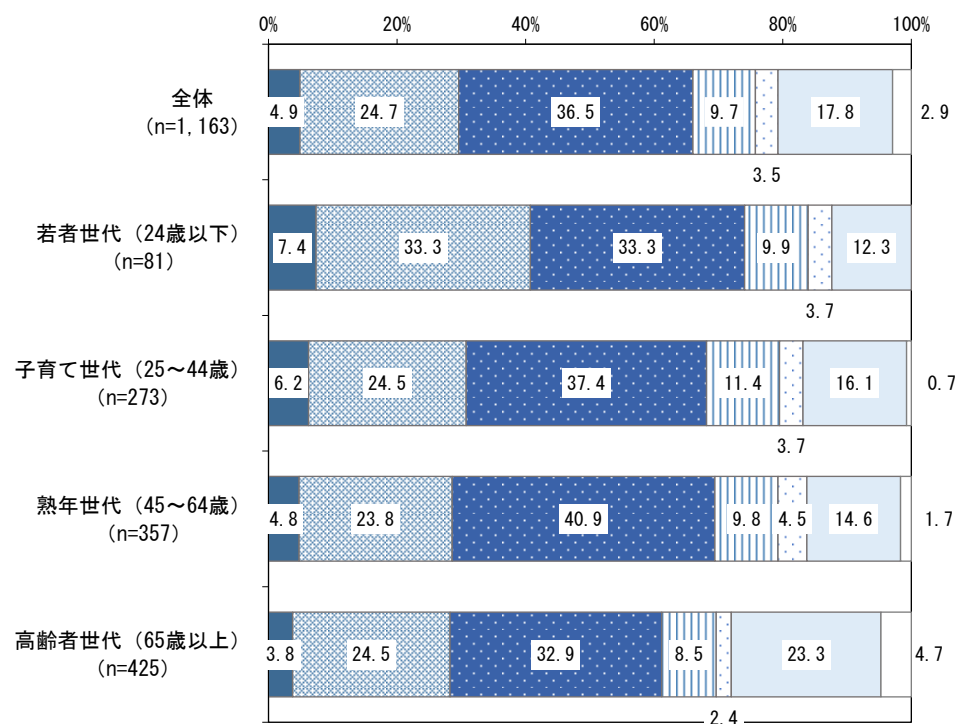
■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(20) 生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている市民の割合

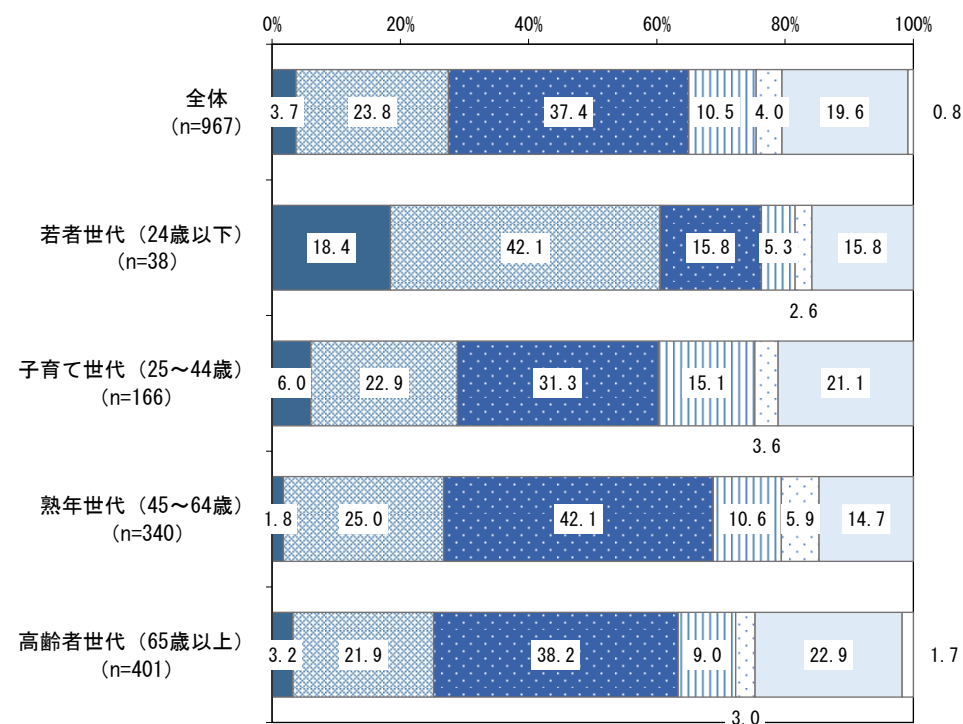
生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じているかについては、「どちらともいえない」が37.4%で最も高く、次いで「やや感じている」が23.8%、「わからない」が19.6%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では27.5%となっており、令和元年度（29.6%）から2.1ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が60.5%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

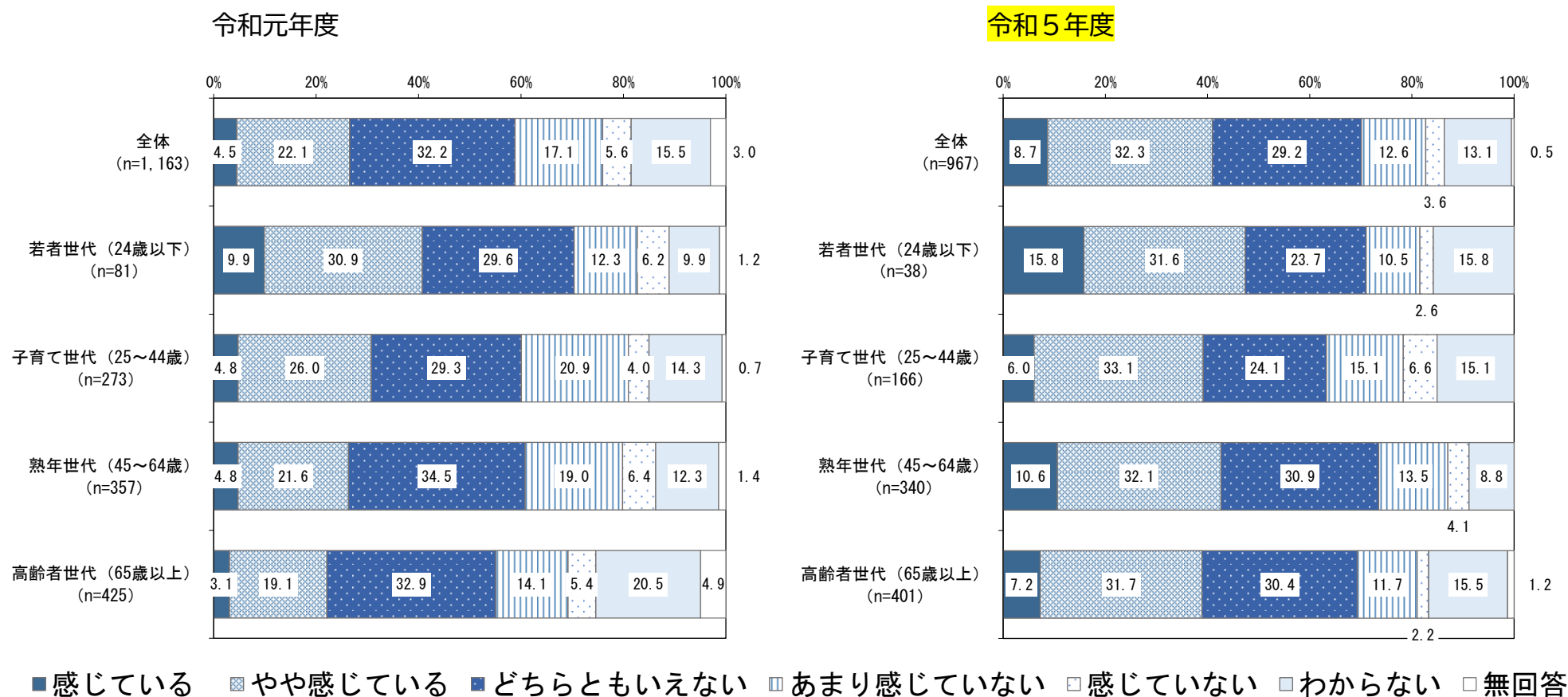


■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(21) 文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている市民の割合

文化芸術に親しめる環境が整っていると感じているかについては、「やや感じている」が32.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.2%、「わからない」が13.1%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では41.0%となっており、令和元年度（26.6%）から14.4ポイント増加しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が47.4%で最も高くなっています。

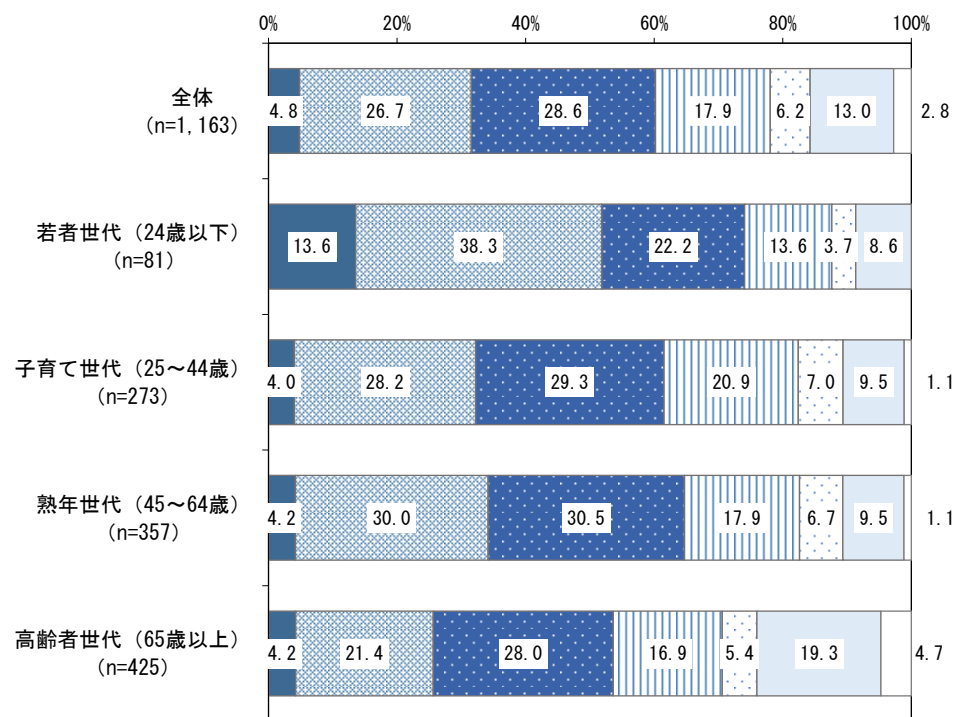


(22) 気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じている市民の割合

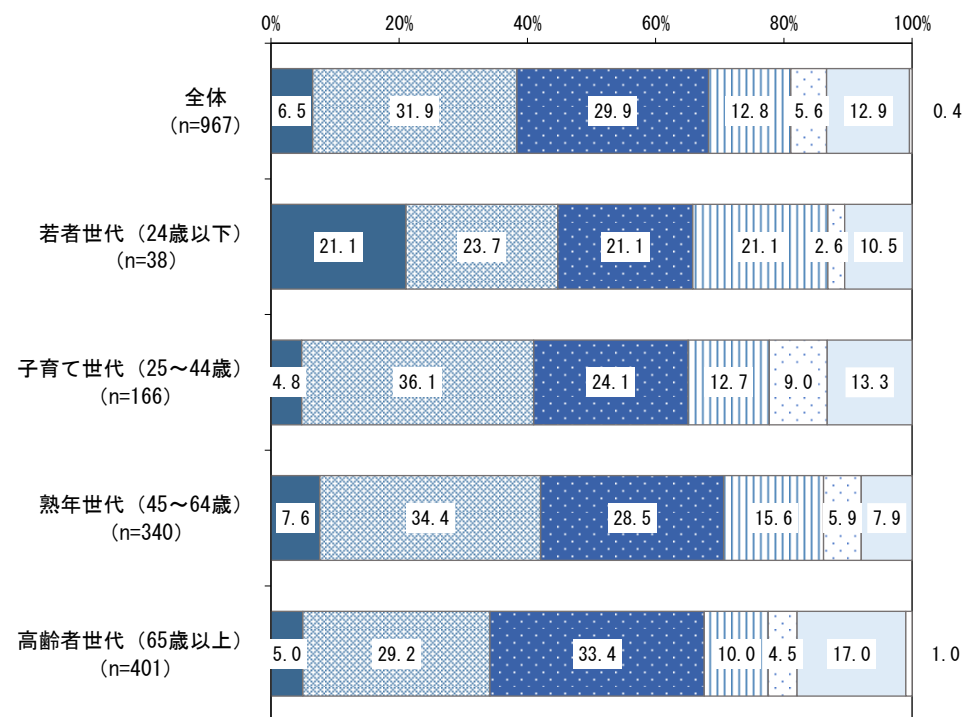
気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じているかについては、「やや感じている」が31.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.9%、「わからない」が12.9%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では38.4%となっており、令和元年度（31.5%）から6.9ポイント増加しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が44.8%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度



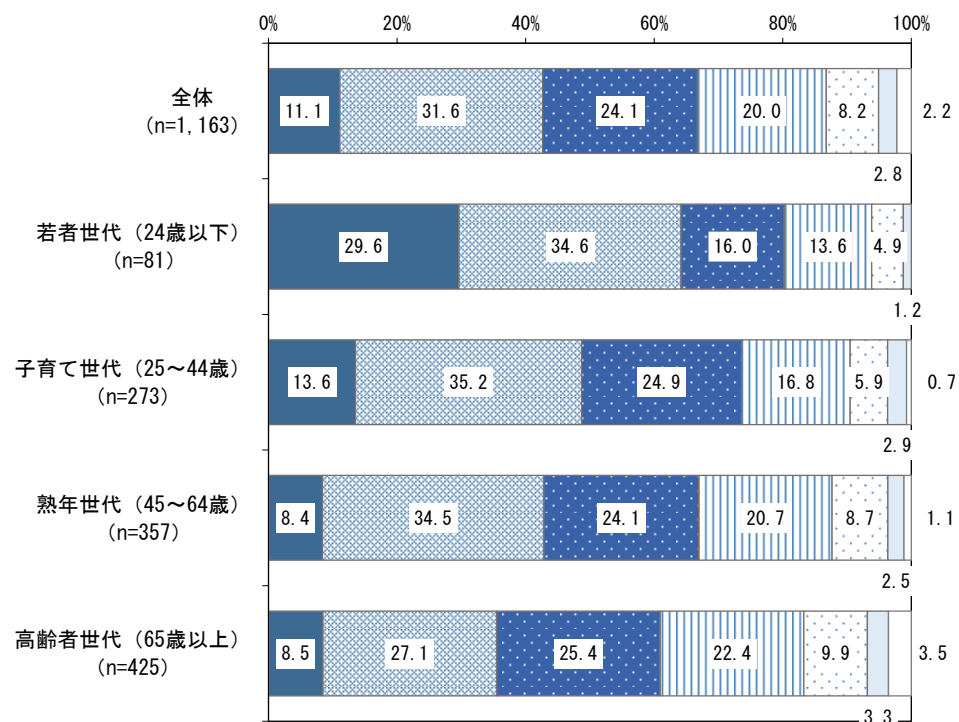
■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(23) 枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合

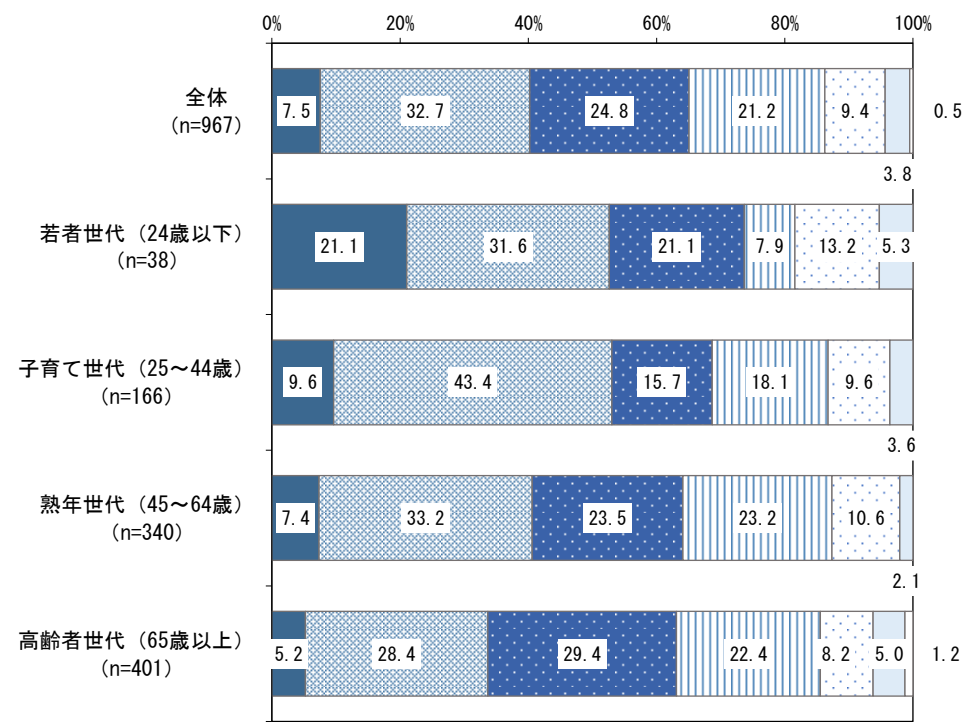
枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地と感じているかについては、「やや感じている」が32.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が24.8%、「あまり感じていない」が21.2%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では40.2%となり、令和元年度（42.7%）から2.5ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、子育て世代（25～44歳）が53.0%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度



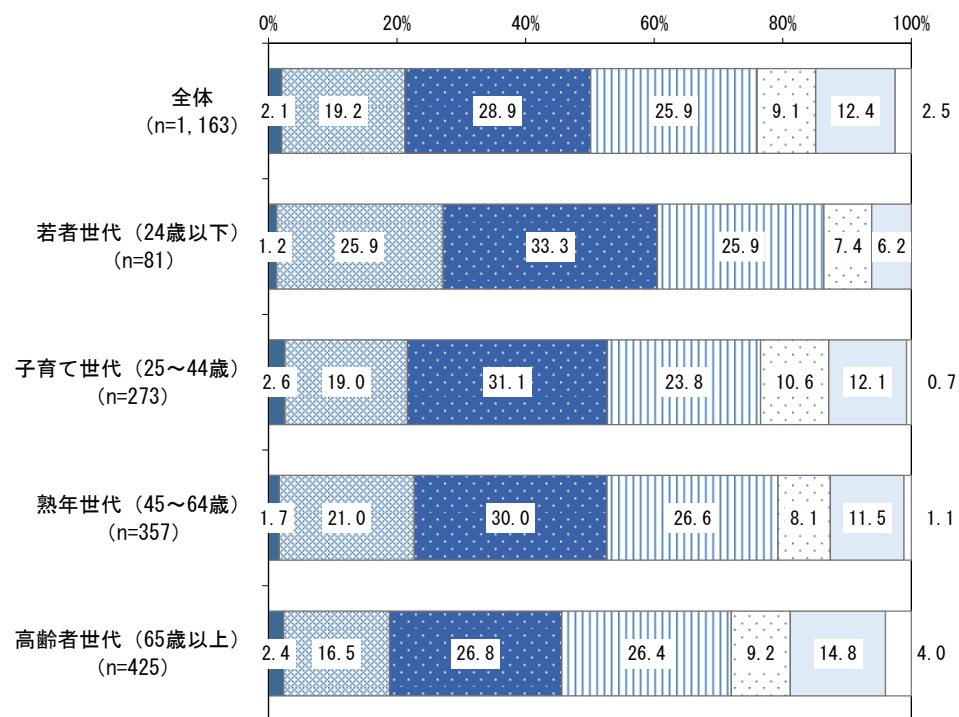
■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(24) 枚方市の観光資源が活かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合

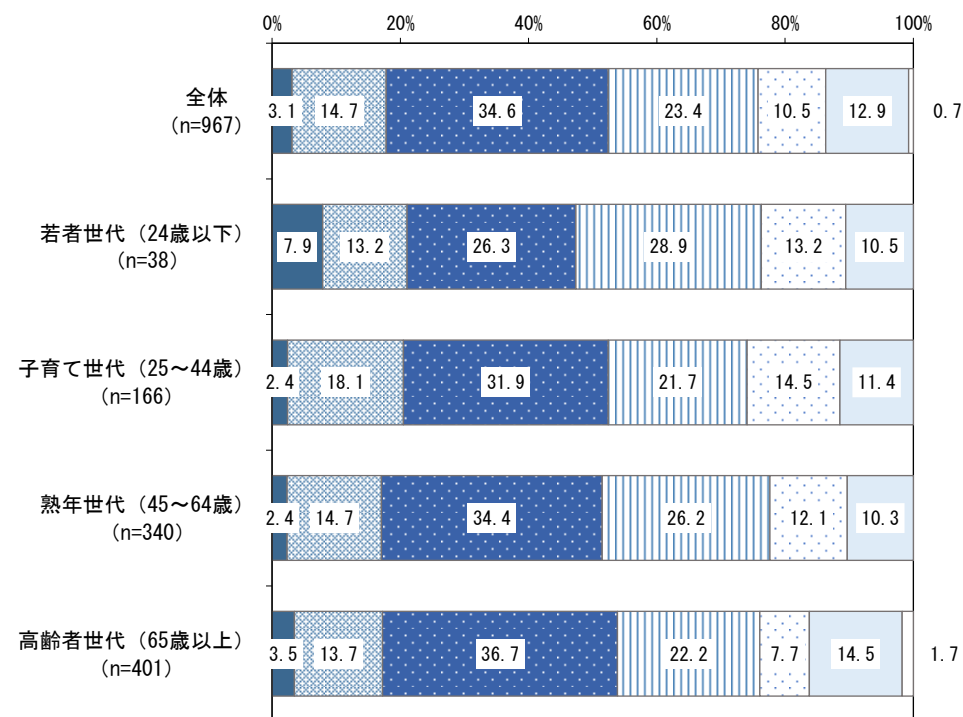
枚方市の観光資源が活かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じているかについては、「どちらともいえない」が34.6%で最も高く、次いで「あまり感じていない」が23.4%、「やや感じている」が14.7%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では17.8%となっており、令和元年度（21.3%）から3.5ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が21.1%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

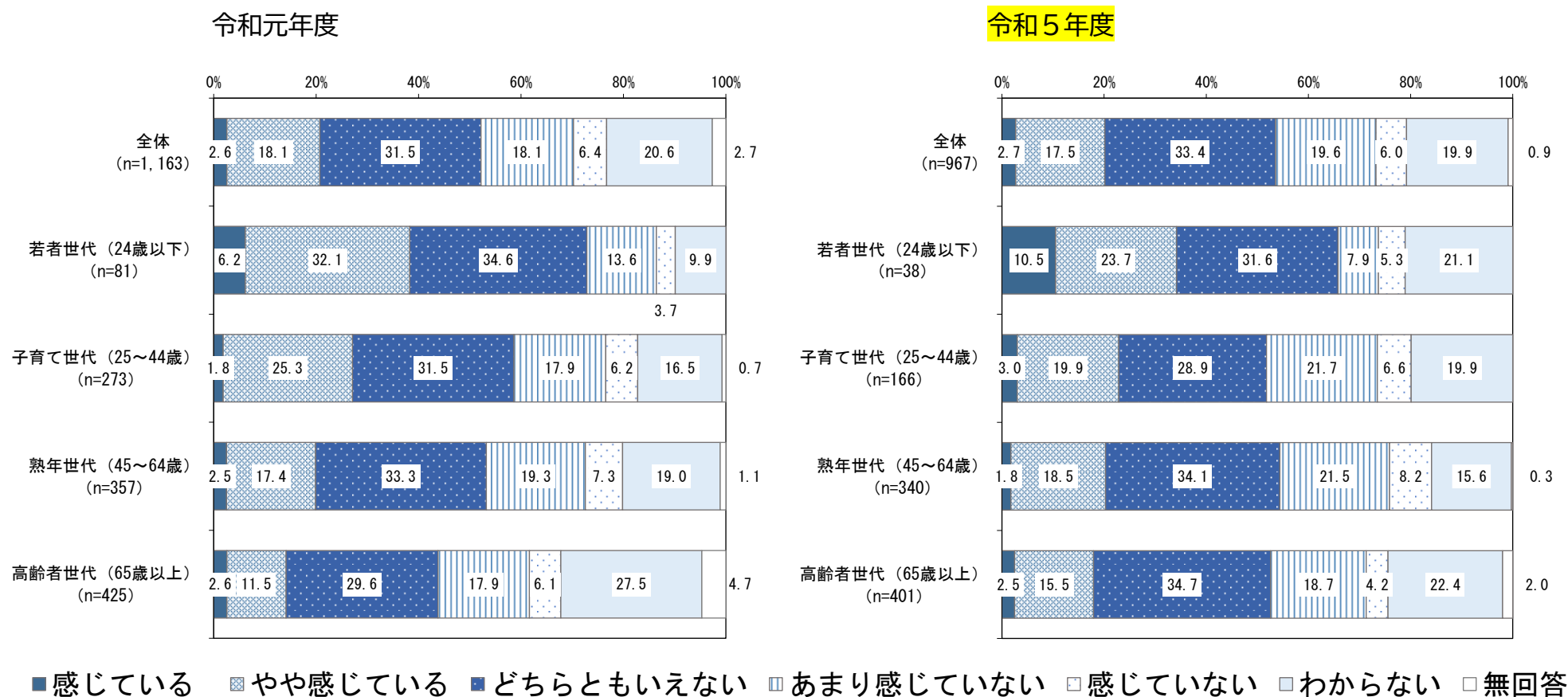


■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(25) 枚方市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合

枚方市内での産業活動が活発に行われていると感じているかについては、「どちらともいえない」が33.4%で最も高く、次いで「わからない」が19.9%、「あまり感じていない」が19.6%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では20.2%となっており、令和元年度（20.7%）から0.5ポイント減少しています。

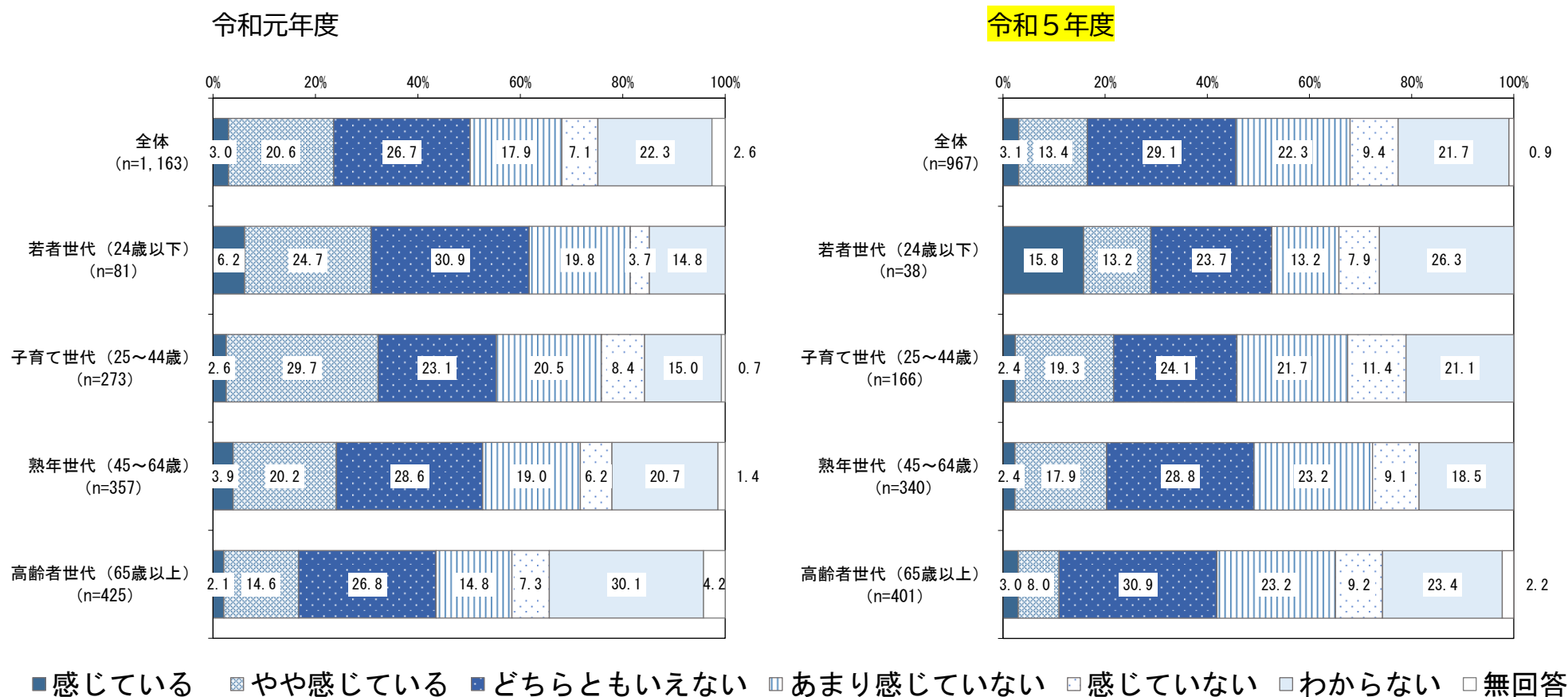
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が34.2%で最も高くなっています。



(26) 農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされていると感じている市民の割合

農地が保全されるなど、「農」を守り、生かされていると感じているかについては、「どちらともいえない」が29.1%で最も高く、次いで「あまり感じていない」が22.3%、「わからない」が21.7%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では16.5%となっており、令和元年度（23.6%）から7.1ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が29.0%で最も高くなっています。

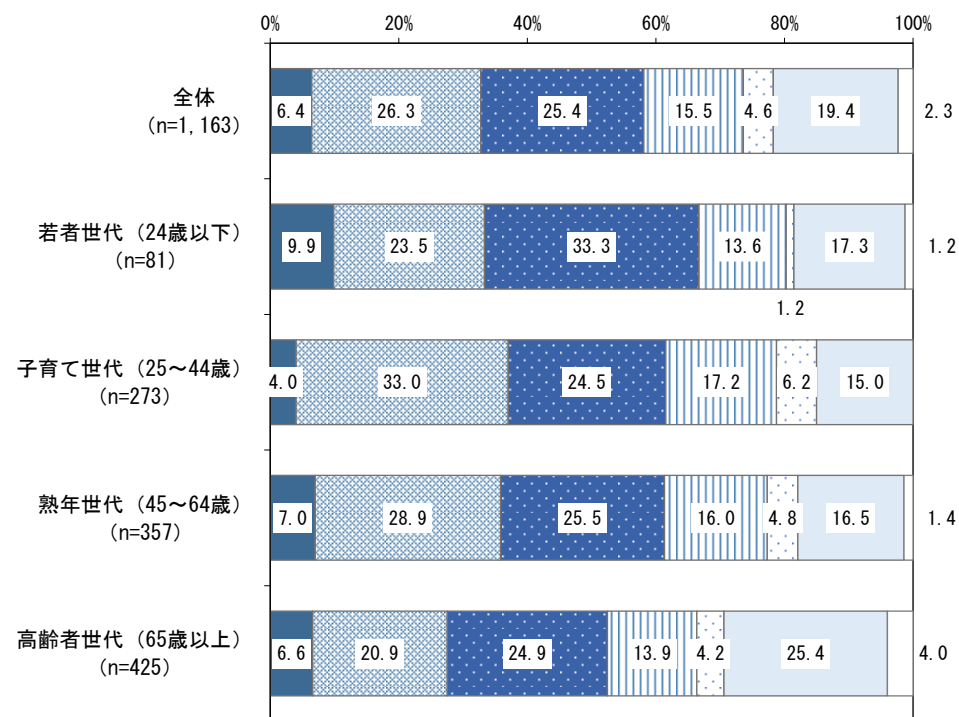


(27) 里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じている市民の割合

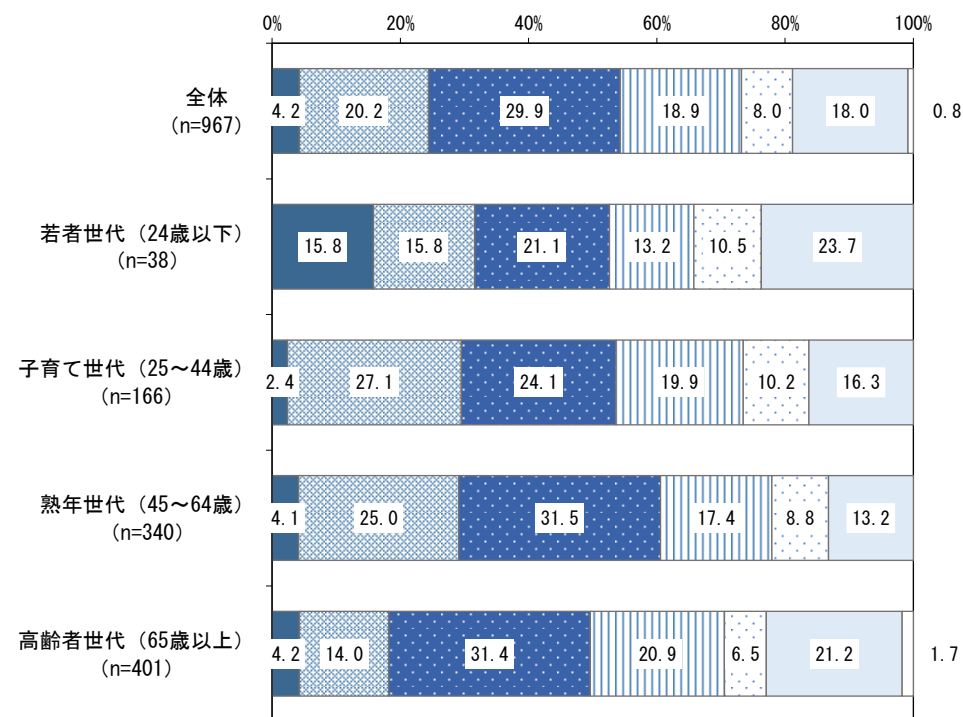
里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じているかについては、「どちらともいえない」が29.9%で最も高く、次いで「やや感じている」が20.2%、「あまり感じていない」が18.9%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では24.4%となっており、令和元年度（32.7%）から8.3ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が31.6%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

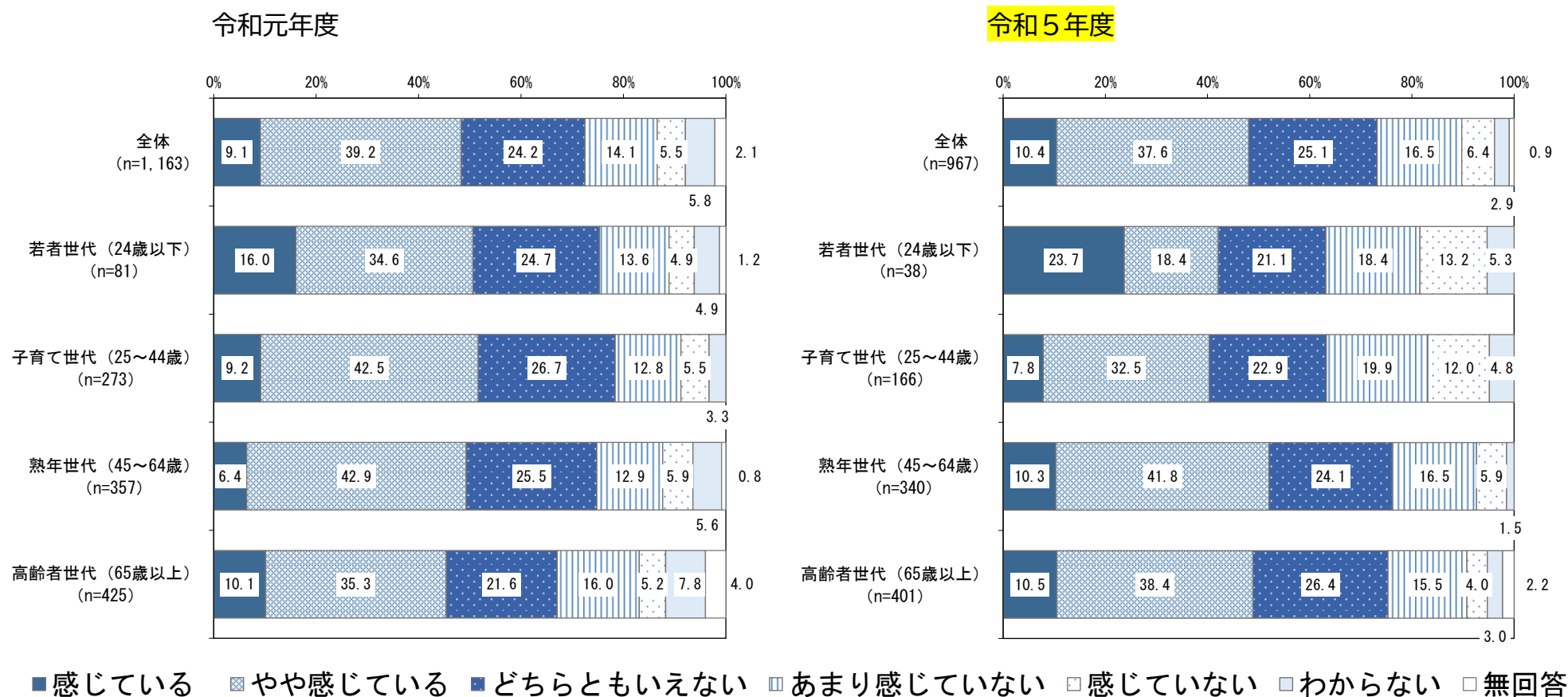


■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(28) 普段の生活の中でみどりとふれあえると感じている市民の割合

普段の生活の中でみどりとふれあえると感じているかについては、「やや感じている」が37.6%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.1%、「あまり感じていない」が16.5%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では48.0%となっており、令和元年度（48.3%）から0.3ポイント減少しています。

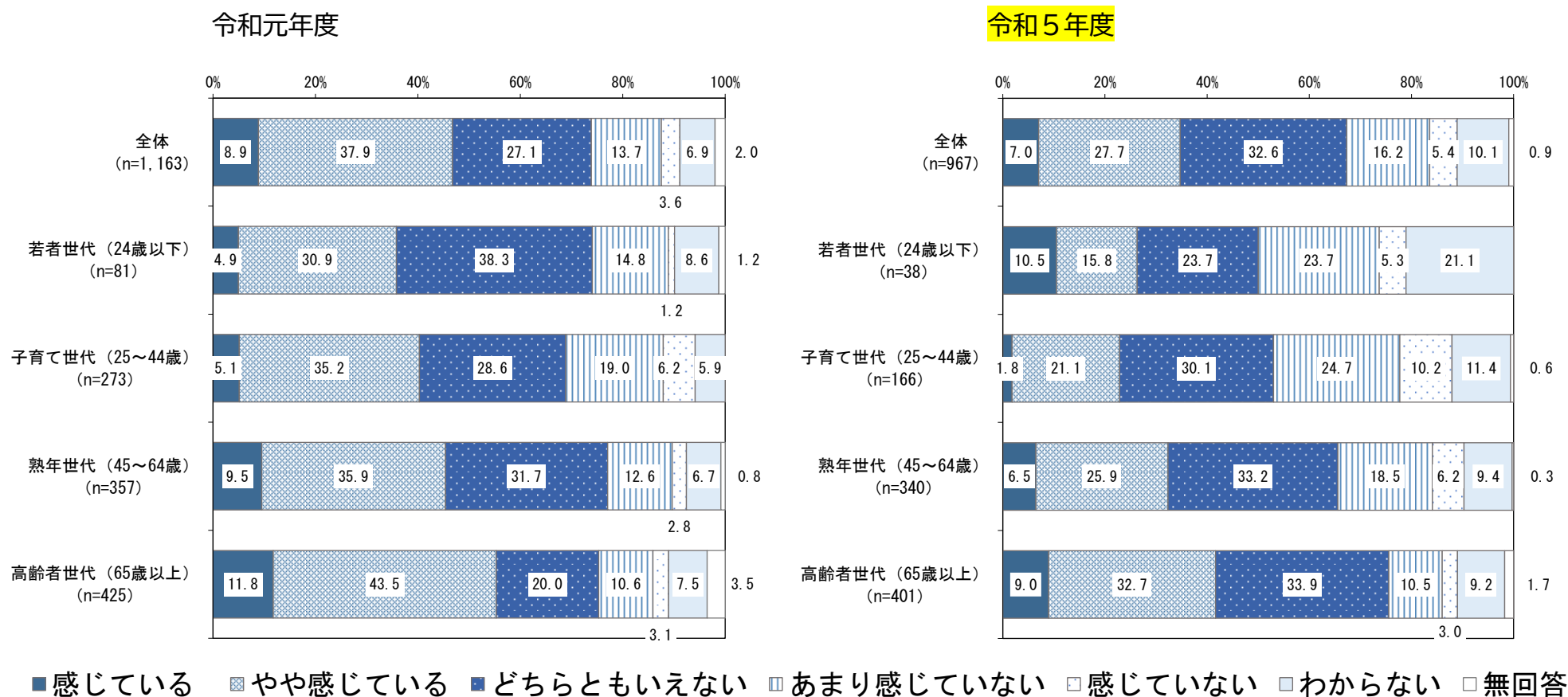
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、熟年世代（45～64歳）が52.1%で最も高くなっています。



(29) ごみ減量や資源循環が進んでいると感じている市民の割合

ごみ減量や資源循環が進んでいると感じているかについては、「どちらともいえない」が32.6%で最も高く、次いで「やや感じている」が27.7%、「あまり感じていない」が16.2%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では34.7%となっており、令和元年度（46.8%）から12.1ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、高齢者世代（65歳以上）が41.7%で最も高くなっています。

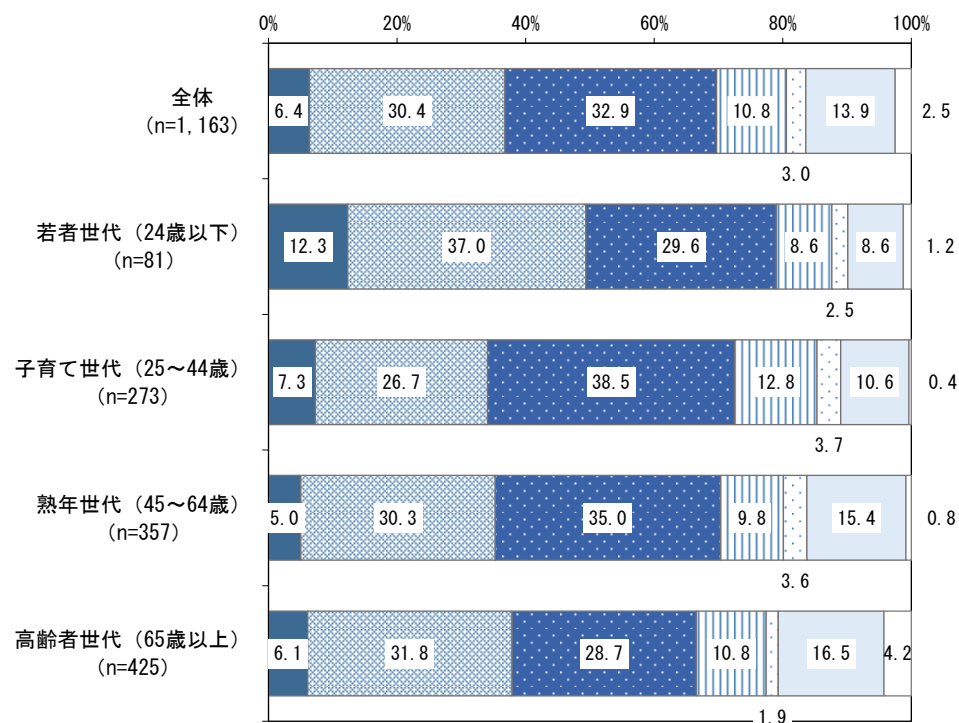


(30) 安全で良好な生活環境が確保されていると感じている市民の割合

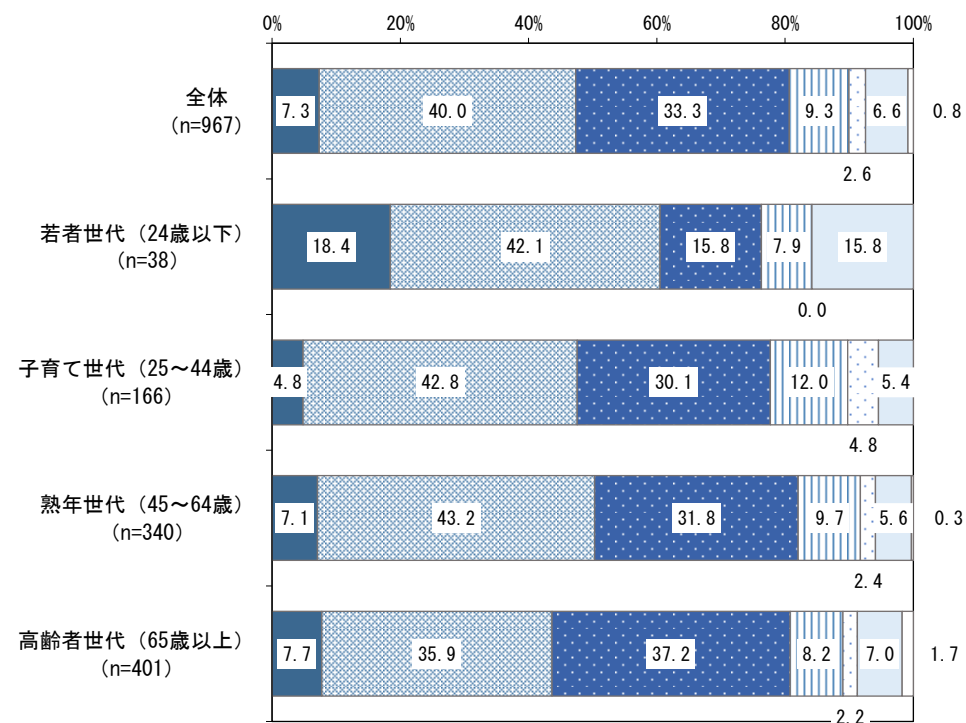
安全で良好な生活環境が確保されていると感じているかについては、「やや感じている」が40.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が33.3%、「あまり感じていない」が9.3%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では47.3%となっており、令和元年度（36.8%）から10.5ポイント増加しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が60.5%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

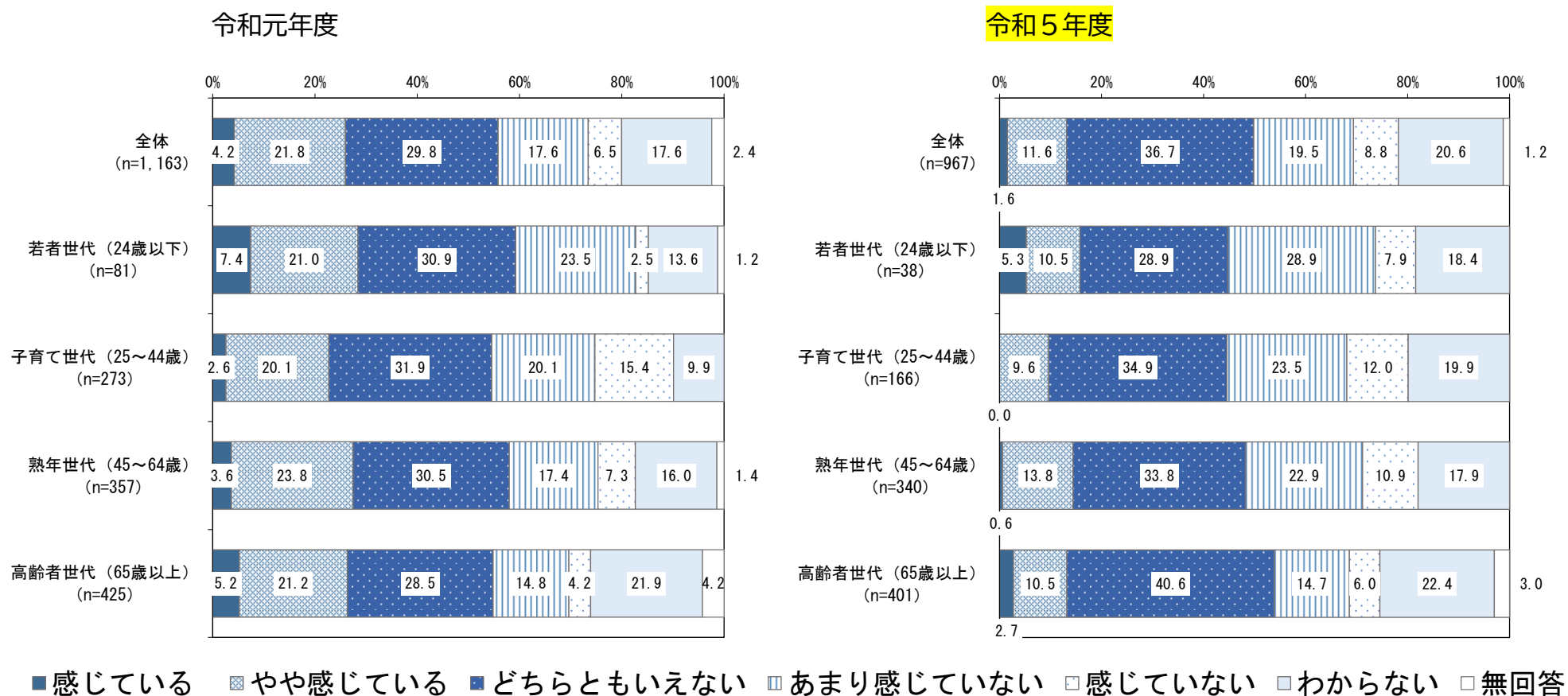


■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(31) 地球温暖化対策の取り組みが進んでいると感じている市民の割合

地球温暖化対策の取り組みが進んでいると感じているかについては、「どちらともいえない」が36.7%で最も高く、次いで「わからない」が20.6%、「あまり感じていない」が19.5%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では13.2%となっており、令和元年度（26.0%）から12.8ポイント減少しています。

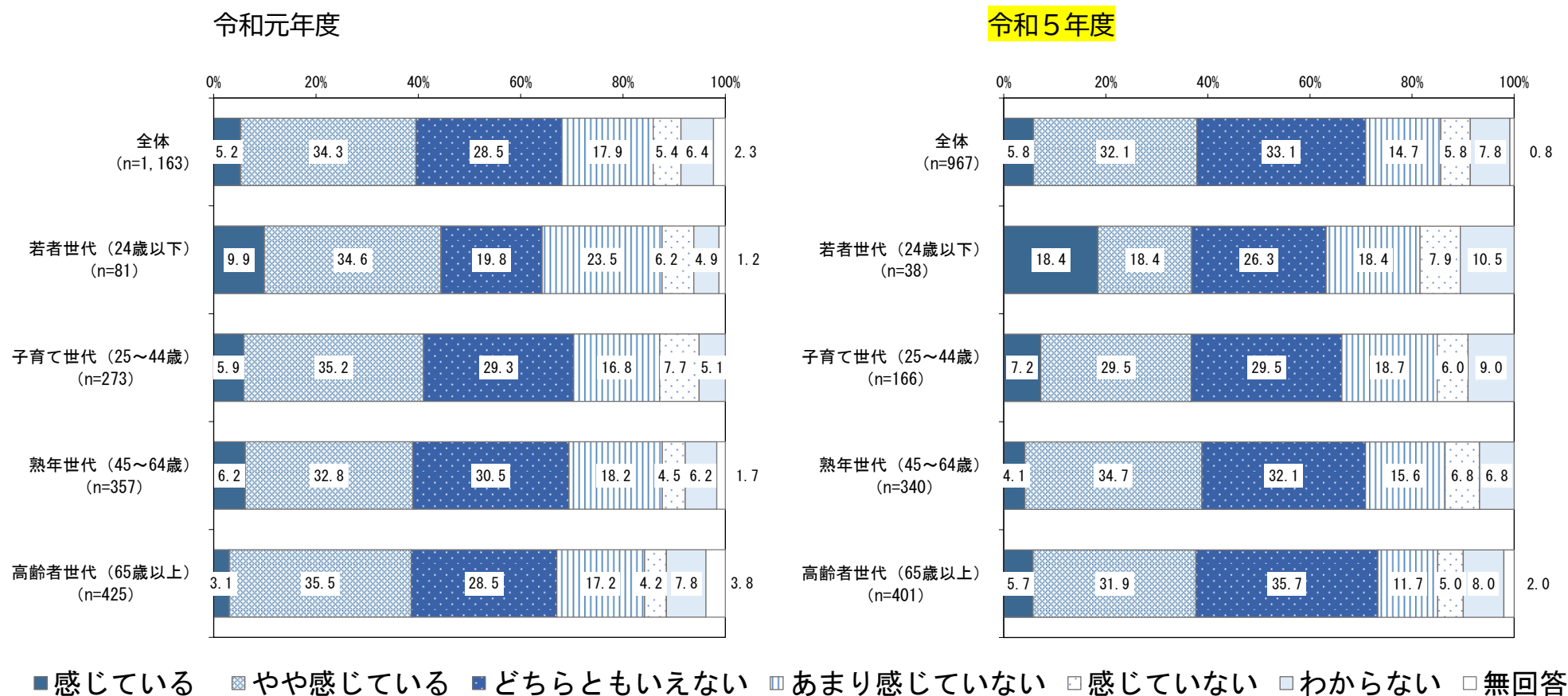
世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が15.8%で最も高くなっています。



(32) まちの美化が進んでいると感じている市民の割合

まちの美化が進んでいると感じているかについては、「どちらともいえない」が33.1%で最も高く、次いで「やや感じている」が32.1%、「あまり感じていない」が14.7%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では37.9%となっており、令和元年度（39.5%）から1.6ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、熟年世代（45～64歳）が38.8%で最も高くなっています。

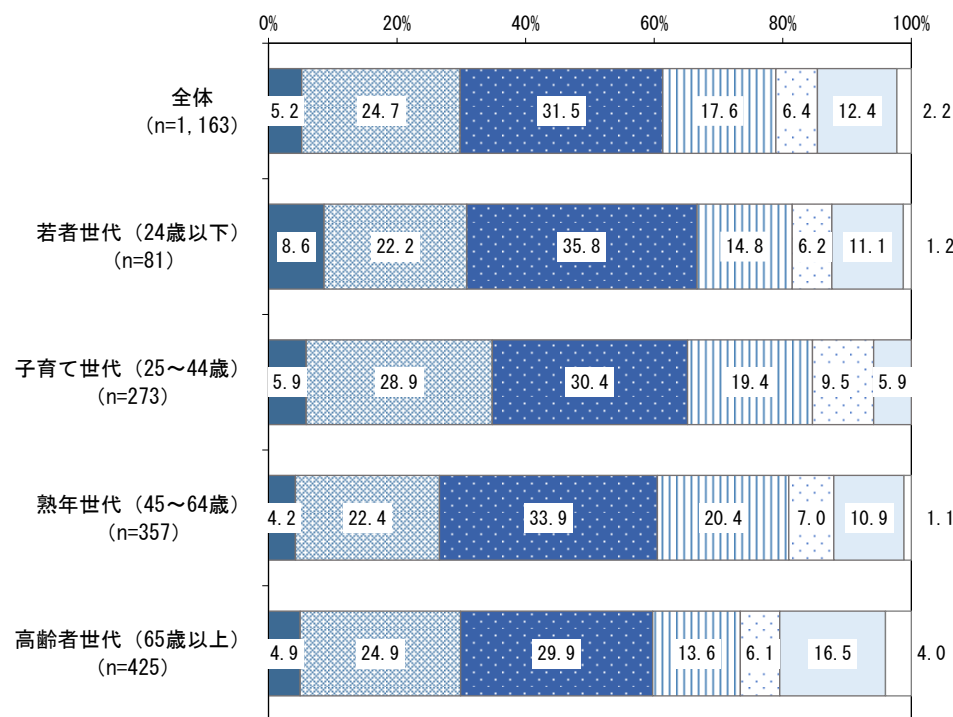


(33) 行政からの情報発信が充実していると感じている市民の割合

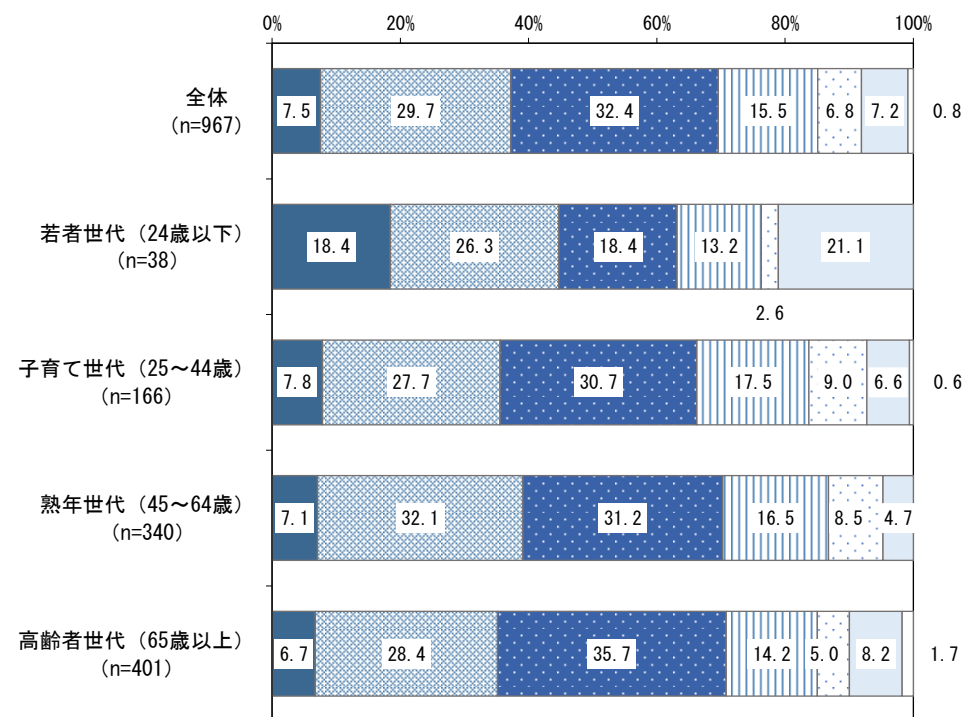
行政からの情報発信が充実していると感じているかについては、「どちらともいえない」が32.4%で最も高く、次いで「やや感じている」が29.7%、「あまり感じていない」が15.5%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では37.2%となっており、令和元年度（29.9%）から7.3ポイント増加しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が44.7%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

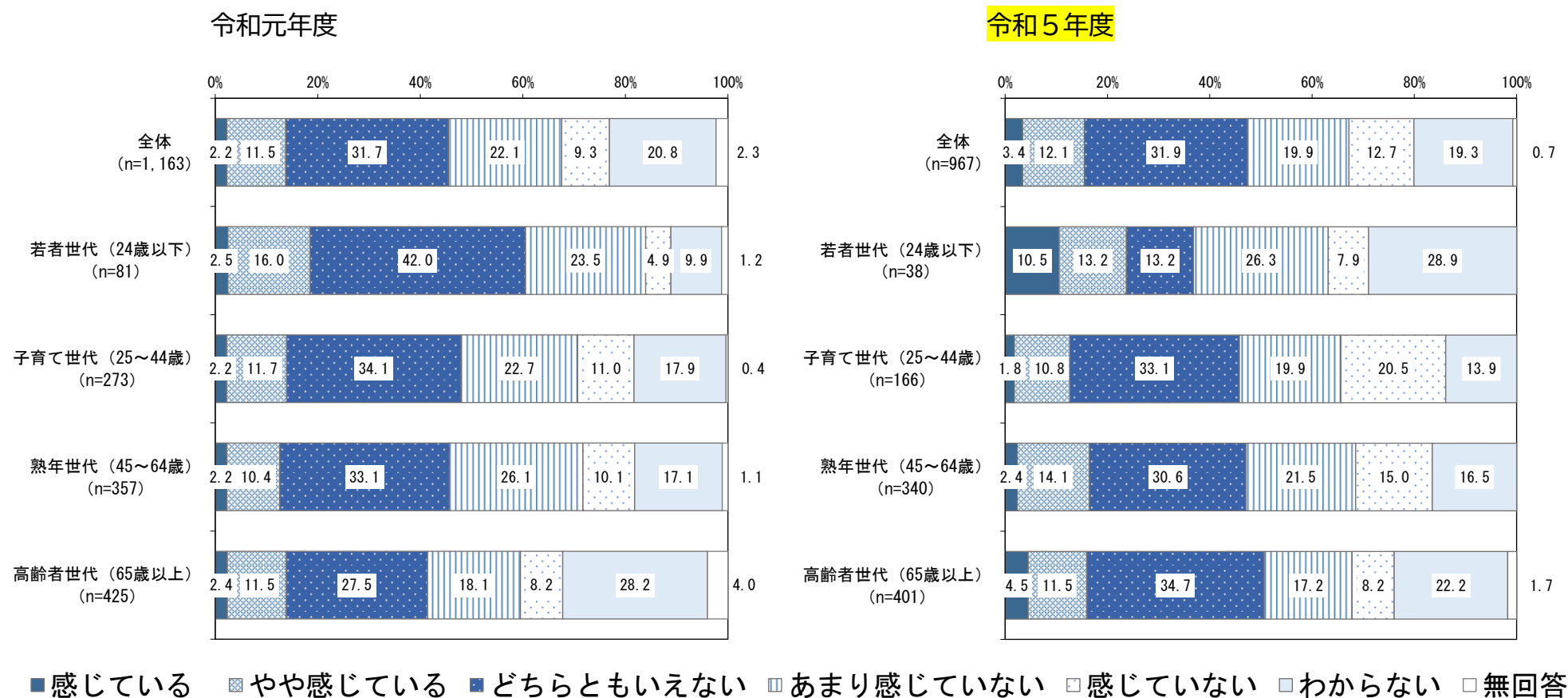


■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

(34) 行政に対し意見を言う場が確保されていると感じている市民の割合

行政に対し意見を言う場が確保されていると感じているかについては、「どちらともいえない」が31.9%で最も高く、次いで「あまり感じていない」が19.9%、「わからない」が19.3%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では15.5%となっており、令和元年度（13.7%）から1.8ポイント増加しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が23.7%で最も高くなっています。

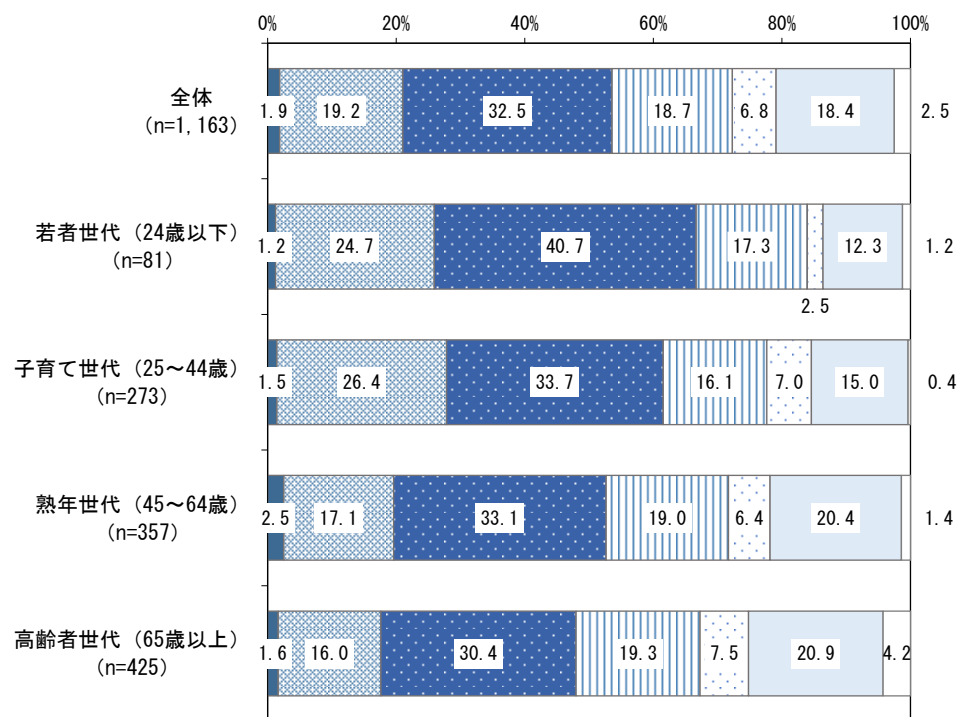


(35) 市民によるまちづくり活動が活発であると感じている市民の割合

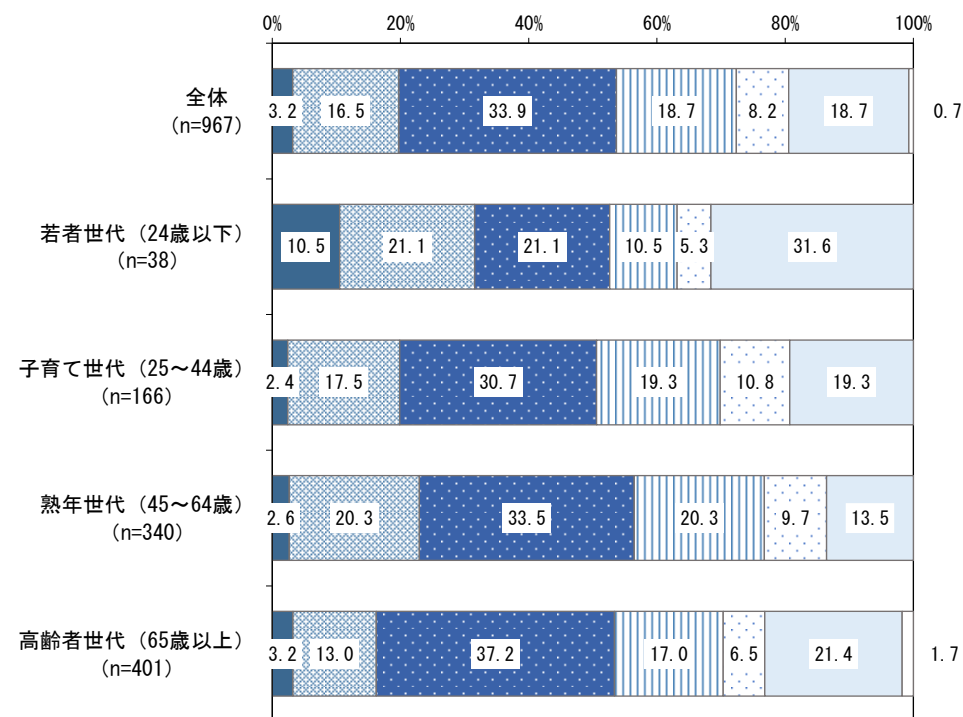
市民によるまちづくり活動が活発であると感じているかについては、「どちらともいえない」が33.9%で最も高く、次いで「あまり感じていない」と「わからない」が18.7%と続いています。また、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』では19.7%となっており、令和元年度（21.1%）から1.4ポイント減少しています。

世代別では、『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が31.6%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度



■ 感じている ■ やや感じている ■ どちらともいえない ■ あまり感じていない ■ 感じていない ■ わからない ■ 無回答

経年比較＜世代別・上位5項目＞

枚方市の取り組みについて感じていること（令和元年度調査との比較・上位5項目）では、各世代で上位1位が異なっており、若者世代では今後の学習環境、子育て世代では安全な生活環境、熟年世代ではひきこもりの相談窓口の認知、高齢者世代では文化芸術に親しめる環境と、それぞれのライフステージで感じる傾向がみられました。

単位：ポイント

順位	全体	増減値	若者世代 (24歳以下)	増減値	子育て世代 (25～44歳)	増減値	熟年世代 (45～64歳)	増減値	高齢者世代 (65歳以上)	増減値
上位1位	(21) 文化芸術に親しめる	14.4	(20) 生きがいを持って 学び続けられる	19.8	(30) 安全で良好な生活 環境	13.6	(21) 文化芸術に親しめ る	16.3	(21) 文化芸術に親しめ る	16.7
上位2位	(30) 安全で良好な生活 環境	10.5	(33) 行政からの情報発 信の充実	13.9	(7) 安心して適切な医 療が受けられる	13.4	(30) 安全で良好な生活 環境	15.0	(4) 公共交通機関が整 っている	15.6
上位3位	(7) 安心して適切な医 療が受けられる	10.2	(30) 安全で良好な生活 環境	11.2	(8) 高齢者が地域でい きいきと暮らせる	11.8	(7) 安心して適切な医 療が受けられる	13.2	(22) 気軽にスポーツが できる	8.6
上位4位	(4) 公共交通機関が整 っている	10.2	(13) 平和の大切さが継 承されている	10.1	(22) 気軽にスポーツが できる	8.7	(33) 行政からの情報発 信の充実	12.6	(7) 安心して適切な医 療が受けられる	8.4
上位5位	(33) 行政からの情報発 信の充実	7.3	(2) 身近な安全が確保 されている	7.9	(21) 文化芸術に親しめ る	8.3	(4) 公共交通機関が整 っている	11.5	(1) 防災体制が整って いる	6.9

経年比較＜世代別・下位5項目＞

枚方市の取り組みについて感じていること（令和元年度調査との比較・下位5項目）では、「地球温暖化対策の取り組み」がすべての世代で高く、全体で下位1位となっています。また、「ごみ減量や資源循環」についても全世代で下位5位以内に入っており、全体でも下位2位となっています。

単位：ポイント

順位	全体	増減値	若者世代 (24歳以下)	増減値	子育て世代 (25～44歳)	増減値	熟年世代 (45～64歳)	増減値	高齢者世代 (65歳以上)	増減値
下位1位	(31) 地球温暖化対策	-12.8	(31) 地球温暖化対策	-12.6	(29) ごみ減量や資源循環	-17.4	(29) ごみ減量や資源循環	-13.0	(29) ごみ減量や資源循環	-13.6
下位2位	(29) ごみ減量や資源循環	-12.1	(15) 安心して子育てできる環境	-12.5	(31) 地球温暖化対策	-13.1	(31) 地球温暖化対策	-13.0	(31) 地球温暖化対策	-13.2
下位3位	(27) 豊かな自然環境が保全されている	-8.3	(23) 枚方市駅周辺の賑わい・魅力	-11.5	(28) みどりとふれあえる	-11.4	(27) 豊かな自然環境が保全されている	-6.8	(27) 豊かな自然環境が保全されている	-9.3
下位4位	(26) 「農」を守り、活かされている	-7.1	(1) 防災体制が整っている	-10.0	(26) 「農」を守り、活かされている	-10.6	(19) 子どもの安全な学習環境	-6.0	(5) 心身ともに健康に暮らせる	-7.0
下位5位	(15) 安心して子育てできる環境	-5.2	(29) ごみ減量や資源循環	-9.5	(15) 安心して子育てできる環境	-10.5	(24) 観光資源が生かされている	-5.6	(26) 「農」を守り、活かされている。	-5.7

経年比較（施策目標・施策指標／満足度） 枚方市の取り組みに対して感じていること

令和元年度比3ポイント以上増加したものの
 令和元年度比3ポイント以上減少したものの
 基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	満足度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
1	災害に対する備えができていますまち	防災体制が整っていると感じている市民の割合	37.2	36.7	38.0	1.3
2	災害時に、迅速・的確に対応できるまち					
3	暮らしに身近な安全が確保されたまち	防犯体制が整い、身近な安全が確保されていると感じている市民の割合	30.7	35.4	37.5	2.1
4	安全で快適な交通環境が整うまち	安全で快適な道路環境が整っていると感じている市民の割合	27.6	30.2	31.6	1.4
5	快適で暮らしやすい環境を備えたまち	公共交通機関が整っているなど都市機能が充実していると感じている市民の割合	37.8	41.9	52.1	10.2
6	誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	心身ともに健康に暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	52.4	56.1	51.5	-4.6
7	公衆衛生や健康危機管理が充実したまち					
8	安心して適切な医療が受けられるまち	安心して適切な医療が受けられる環境が整っていると感じている市民の割合	62.5	49.6	59.8	10.2
9	高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	高齢者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	27.5	30.0	34.2	4.2

※各設問に対する「感じている」「やや感じている」の合計

経年比較（施策目標・施策指標／満足度）

	令和元年度比3ポイント以上増加したもの
	令和元年度比3ポイント以上減少したもの
	基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	満足度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
10	障害者が自立し、社会参加ができるまち	障害者が地域でいきいきと暮らせる環境が整っていると感じている市民の割合	23.9	23.9	20.8	-3.1
11	すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	一人ひとりが人権を尊重し合っていると感じている市民の割合	19.3	20.2	25.9	5.7
12	男女がともに参画し、個性を發揮できるまち	男女共同参画社会が実現していると感じている市民の割合	14.3	16.9	18.1	1.2
13	平和の大切さを後世に伝えるまち	平和の大切さが継承されていると感じている市民の割合	34.3	42.9	41.3	-1.6
14	安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	安心して妊娠・出産できる環境が整っていると感じている市民の割合	37.3	38.5	34.7	-3.8
15	子どもたちが健やかに育つことができるまち	安心して子育てできる環境が整っていると感じている市民の割合	37.9	44.5	39.3	-5.2
16	子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	子どもたちへの教育環境が充実していると感じている市民の割合	35.3	39.4	36.5	-2.9
		子どもが安全な学習環境で学校生活を過ごしていると感じている市民の割合	43.8	46.8	41.9	-4.9

※各設問に対する「感じている」「やや感じている」の合計

経年比較（施策目標・施策指標／満足度）

	令和元年度比3ポイント以上増加したもの
	令和元年度比3ポイント以上減少したもの
	基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	満足度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
17	誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	生きがいを持って学び続けられる環境が整っていると感じている市民の割合	28.5	29.6	27.5	-2.1
		文化芸術に親しめる環境が整っていると感じている市民の割合	17.3	26.6	41.0	14.4
		気軽にスポーツ活動ができる環境が整っていると感じている市民の割合	28.7	31.6	38.4	6.8
18	人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	枚方市駅周辺が賑わい、魅力あふれる中心市街地であると感じている市民の割合	22.0	42.6	40.2	-2.4
19	地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	市の観光資源が活かされ、人々の交流が盛んに行われていると感じている市民の割合	20.8	21.2	17.8	-3.4
20	いきいきと働くことのできるまち	市内での産業活動が活発に行われていると感じている市民の割合	18.3	20.7	20.2	-0.5
21	地域産業が活発に展開されるまち					
22	農を守り、生かすまち	農地が保全されるなど、「農」を守り、活かされていると感じている市民の割合	21.6	23.6	16.5	-7.1

※各設問に対する「感じている」「やや感じている」の合計

経年比較（施策目標・施策指標／満足度）

	令和元年度比3ポイント以上増加したもの
	令和元年度比3ポイント以上減少したもの
	基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	満足度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
23	豊かな自然環境を大切にするまち	里山や農地などの豊かな自然環境が保全されていると感じている市民の割合	40.3	32.8	24.4	-8.4
24	まちなかのみどりを育てるまち	普段の生活の中でみどりとふれあえると感じている市民の割合	48.4	48.3	48.0	-0.3
25	ごみを減らし、資源の循環が進むまち	ごみ減量や資源循環が進んでいると感じている市民の割合	45.5	46.8	34.7	-12.1
26	安全で良好な生活環境が確保されたまち	安全で良好な生活環境が確保されていると感じている市民の割合	42.5	36.8	47.3	10.5
27	地球温暖化対策に取り組むまち	地球温暖化対策の取り組みが進んでいると感じている市民の割合	16.2	26.0	13.2	-12.8
28	美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	まちの美化が進んでいると感じている市民の割合	38.9	39.6	37.9	-1.7

※各設問に対する「感じている」「やや感じている」の合計

経年比較（施策目標・施策指標／満足度） 計画推進

令和元年度比3ポイント以上増加したもの
 令和元年度比3ポイント以上減少したもの
 基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	満足度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
1	市民との情報の共有化を進めます	行政からの情報発信が充実していると感じている市民の割合	32.9	29.8	37.2	7.4
		行政に対し意見を言う場が確保されていると感じている市民の割合	9.8	13.8	15.5	1.7
2	市民による活発なまちづくり活動を支援します	市民によるまちづくり活動が活発であると感じている市民の割合	19.3	21.1	19.7	-1.4
3	持続可能な行財政運営を進めます	-	-	-	-	
4	自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります	-	-	-	-	

※各設問に対する「感じている」「やや感じている」の合計

経年比較（施策目標・施策指標／満足度） 相談窓口の認知度

令和元年度比3ポイント以上増加したもの
 令和元年度比3ポイント以上減少したもの
 基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	満足度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
1	誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	こころの病気に関する相談窓口があることを知っている市民の割合	23.7	26.1	37.0	10.9
2	すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	DV被害に関する相談窓口があることを知っている市民の割合	25.6	25.1	38.5	13.4
3	子どもたちが健やかに育つことができるまち	児童虐待に関する相談窓口があることを知っている市民の割合	38.4	39.6	47.2	7.6
		ひきこもり等に関する相談窓口があることを知っている市民の割合	23.1	23.4	36.2	12.8

※各問に対する「知っている」の値

順位比較<枚方市の取り組みに対して感じていること：全項目>

『感じている（「感じている」と「やや感じている」の合計）』と答えた市民の割合を順位付けしたもの

単位：％

順位 (前回 順位)	項目	値	順位 (前回 順位)	項目	値	順位 (前回 順位)	項目	値	順位 (前回 順位)	項目	値
1位 (1)	(7)安心して適切な医療が受けられる	59.9	9位 (16)	(23)枚方市駅周辺の賑わい・魅力	40.2	17位 (15)	(14)安心して妊娠・出産できる環境	34.7	25位 (25)	(25)枚方市内での産業活動	20.2
2位 (5)	(4)公共交通機関が整っている	52.1	10位 (11)	(15)安心して子育てできる環境	39.3	18位 (12)	(29)ごみ減量や資源循環	34.7	26位 (24)	(35)市民によるまちづくり活動	19.8
3位 (4)	(5)心身ともに健康に暮らせる	51.5	11位 (10)	(22)気軽にスポーツができる	38.4	19位 (19)	(8)高齢者が地域でいきいきと暮らせる	34.2	27位 (28)	(12)男女共同参画社会	18.1
4位 (2)	(28)みどりとふれあえる	48.1	12位 (17)	(1)防災体制が整っている	38.1	20位 (23)	(3)安全で快適な道路環境	31.5	28位 (30)	(24)観光資源が生かされている	17.8
5位 (7)	(30)安全で良好な生活環境	47.4	13位 (13)	(32)まちの美化	37.8	21位 (22)	(20)生きがいを持って学び続けられる	27.5	29位 (29)	(26)「農」を守り、生かされている	16.5
6位 (9)	(19)子どもの安全な学習環境	41.9	14位 (18)	(2)身近な安全が確保されている	37.4	22位 (21)	(10)一人ひとりが人権を尊重	26.0	30位 (27)	(34)行政に対し意見を言う場が確保されている	15.5
7位 (8)	(13)平和の大切さが継承されている	41.3	15位 (6)	(33)行政からの情報発信の充実	37.2	23位 (20)	(27)豊かな自然環境が保全されている	24.4	31位 (31)	(31)地球温暖化対策	13.1
8位 (3)	(21)文化芸術に親しめる	41.0	16位 (14)	(18)子どもたちへの教育環境の充実	36.5	24位 (26)	(9)障害者が地域でいきいきと暮らせる	20.8			

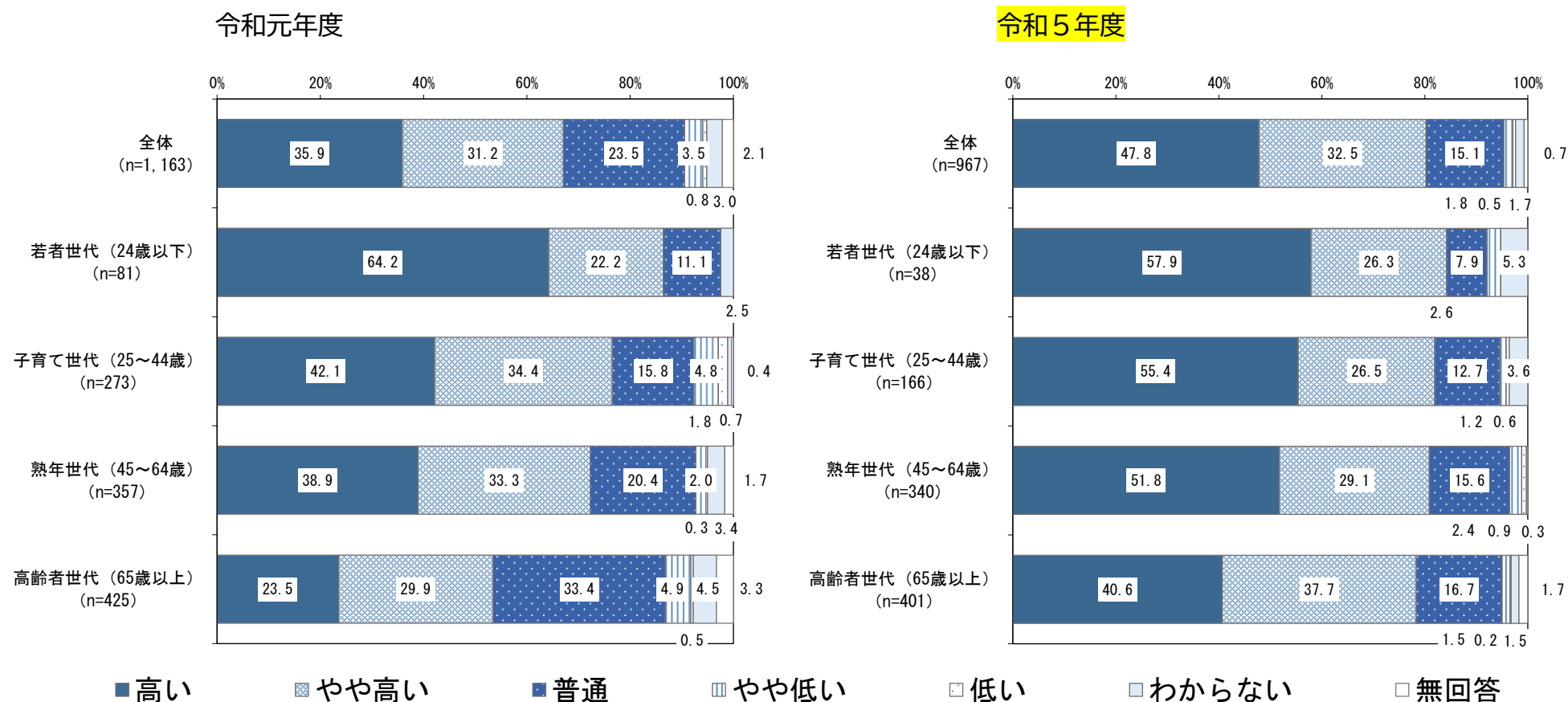
4 施策の重要度

項目ごとの回答状況

(1) 「災害に備える」ための施策は重要だと思う市民の割合

「災害に備える」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が47.8%で最も高く、次いで「やや高い」が32.5%、「普通」が15.1%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では80.3%となっており、令和元年度（67.1%）から13.2ポイント増加しています。

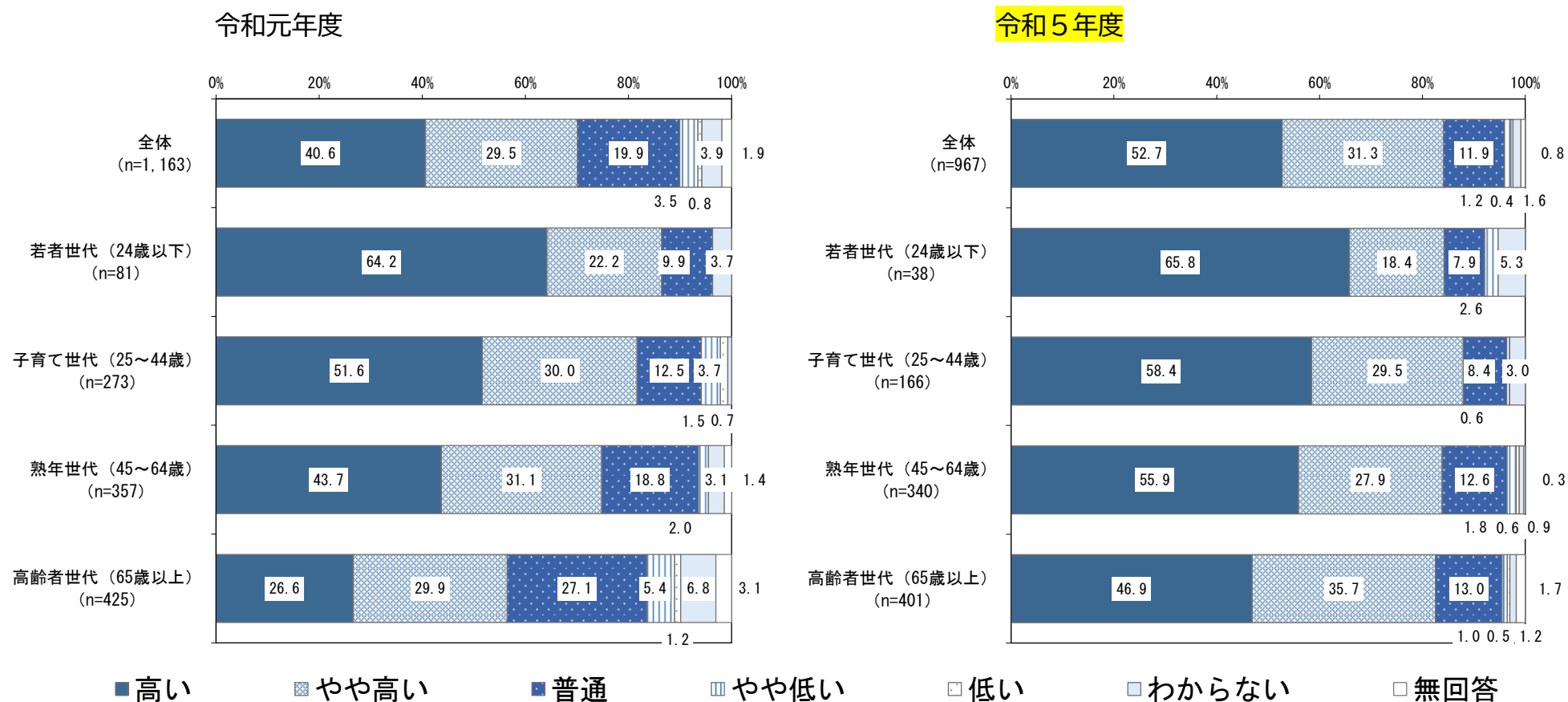
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が84.2%で最も高くなっています。



(2) 「災害時に、迅速・的確に対応する」ための施策は重要だと思う市民の割合

「災害時に、迅速・的確に対応する」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が52.7%で最も高く、次いで「やや高い」が31.3%、「普通」が11.9%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では84.0%となっており、令和元年度（70.1%）から13.9ポイント増加しています。

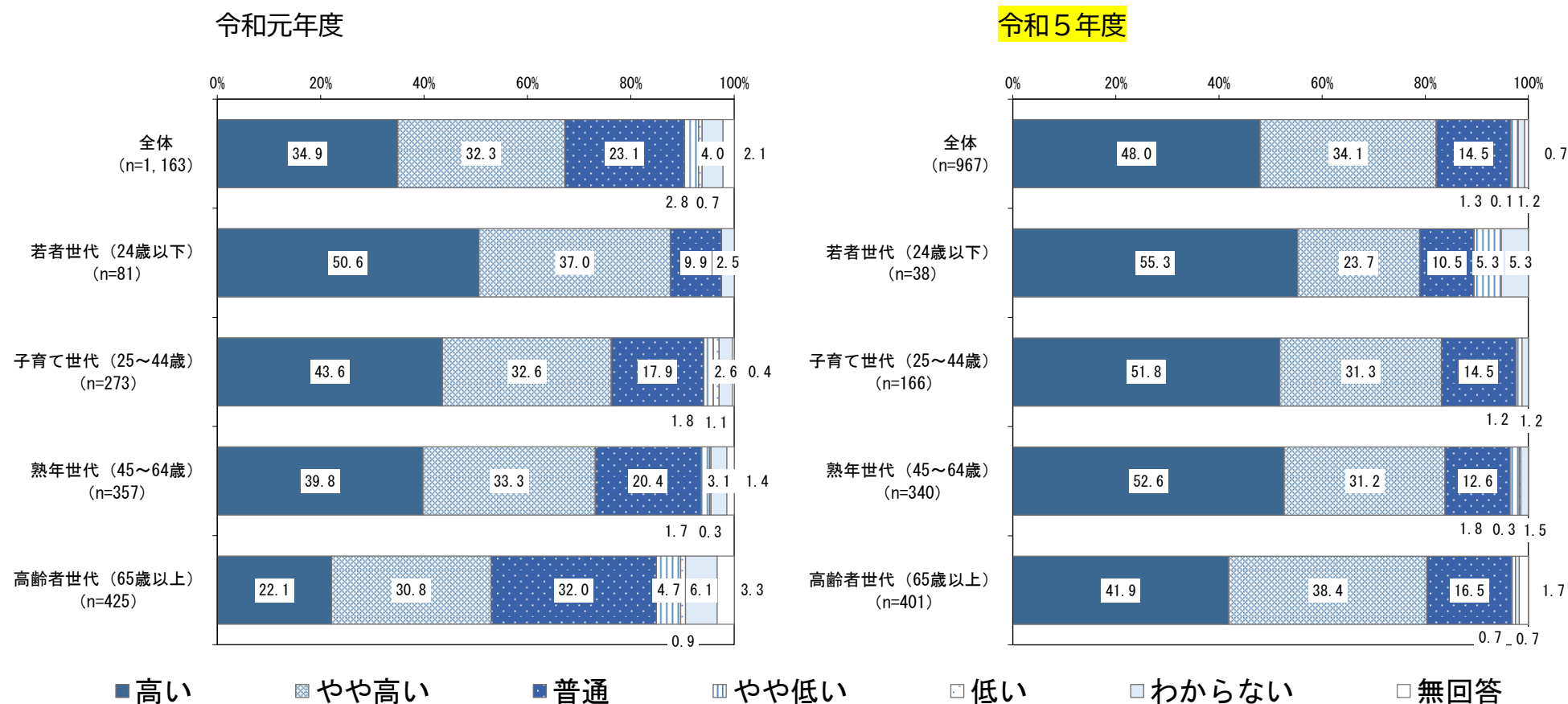
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、子育て世代（25～44歳）が87.9%で最も高くなっています。



(3) 「暮らしに身近な安全を確保する」ための施策は重要だと思う市民の割合

「暮らしに身近な安全を確保する」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が48.0%で最も高く、次いで「やや高い」が34.1%、「普通」が14.5%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では82.1%となっており、令和元年度（67.2%）から14.9ポイント増加しています。

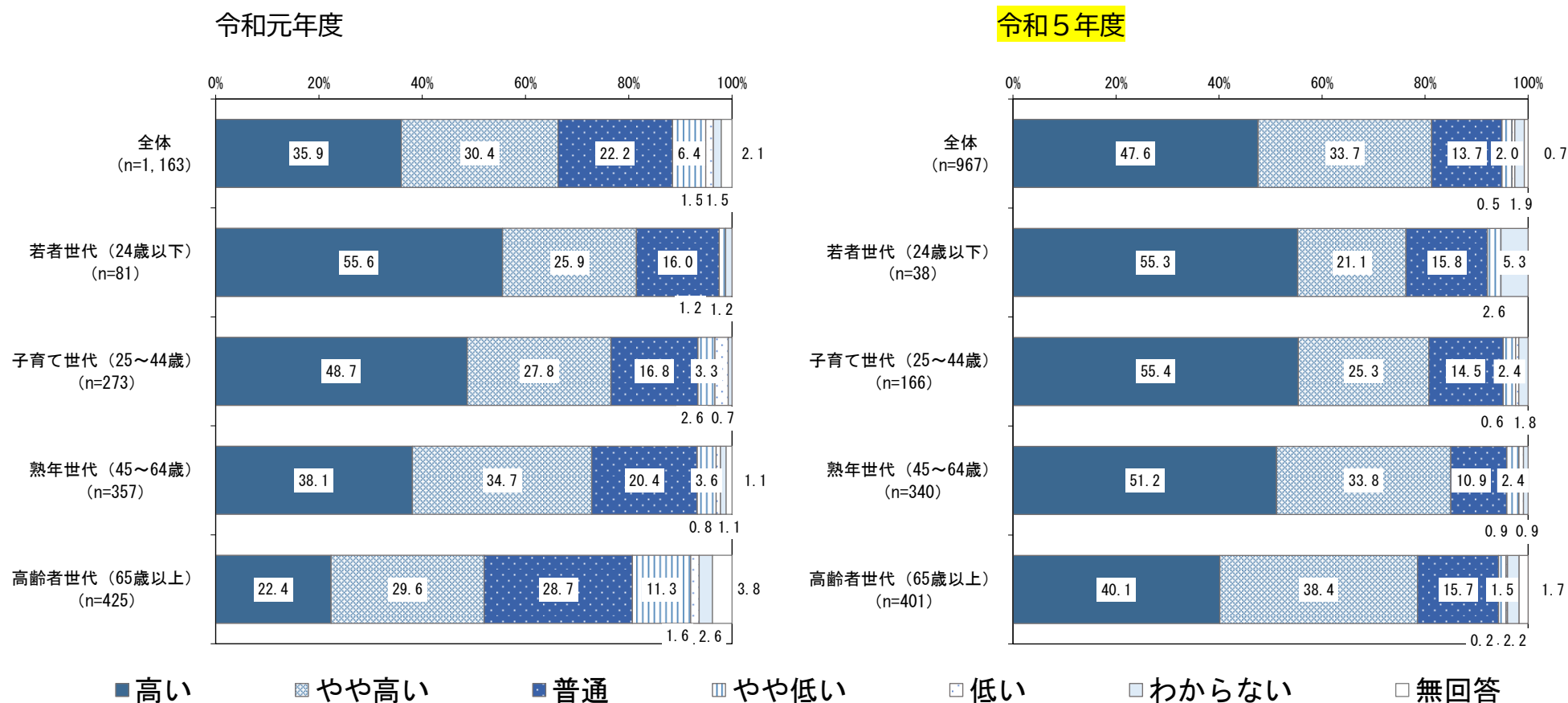
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、熟年世代（45～64歳）が83.8%で最も高くなっています。



(4) 「安全で快適な交通環境を整える」ための施策は重要だと思う市民の割合

「安全で快適な交通環境を整える」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が47.6%で最も高く、次いで「やや高い」が33.7%、「普通」が13.7%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では81.3%となっており、令和元年度（66.3%）から15.0ポイント増加しています。

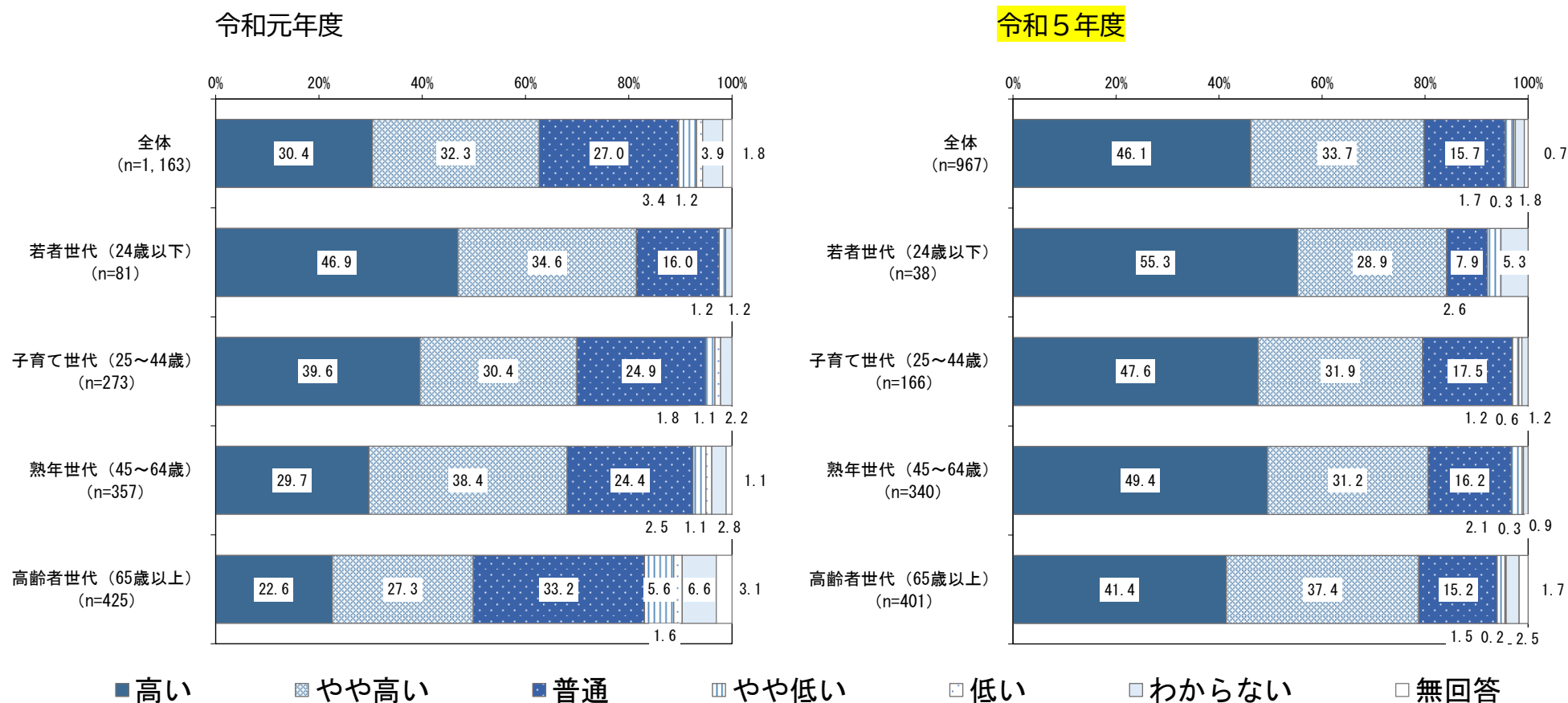
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、熟年世代（45～64歳）が85.0%で最も高くなっています。



(5) 「快適で暮らしやすい環境を備える」ための施策は重要だと思う市民の割合

「快適で暮らしやすい環境を備える」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が46.1%で最も高く、次いで「やや高い」が33.7%、「普通」が15.7%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では79.8%となっており、令和元年度（62.7%）から17.1ポイント増加しています。

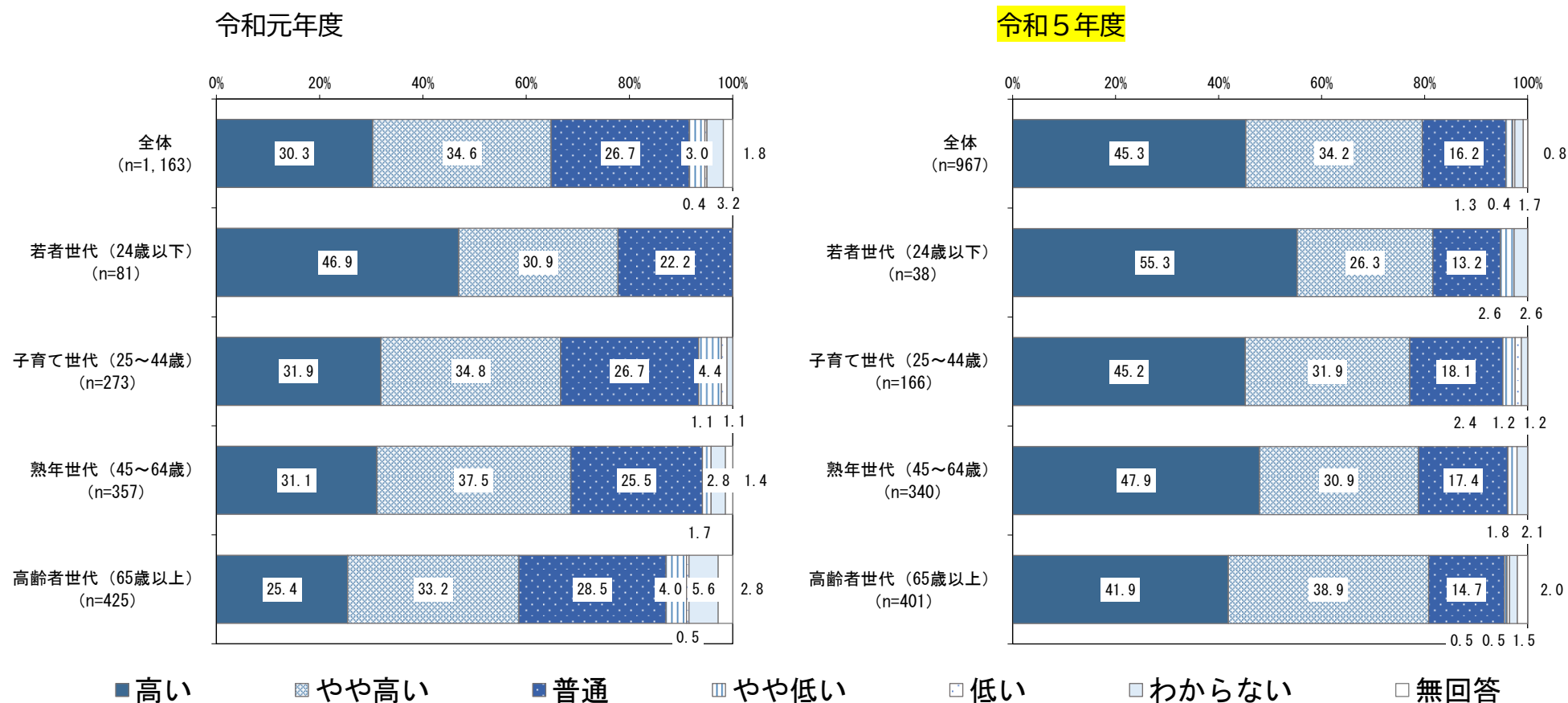
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が84.2%で最も高くなっています。



(6) 「誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らす」ための施策は重要だと思う市民の割合

「誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らす」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が45.3%で最も高く、次いで「やや高い」が34.2%、「普通」が16.2%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では79.5%となっており、令和元年度（64.9%）から14.6ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が81.6%で最も高くなっています。

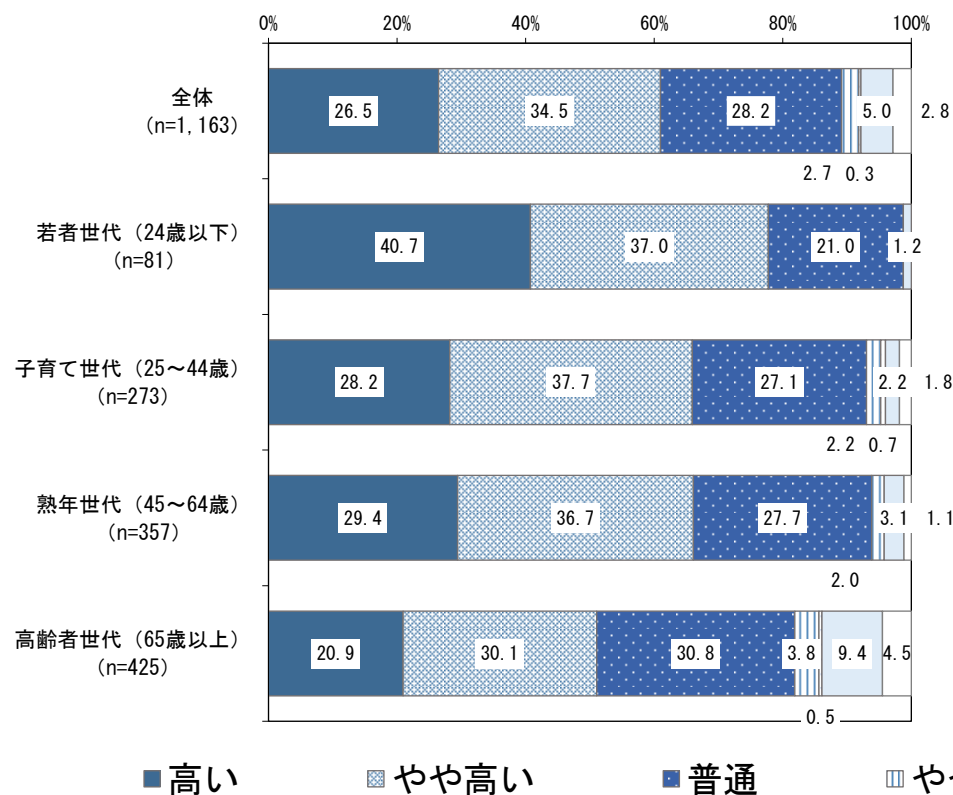


(7) 「公衆衛生や健康危機管理を充実する」ための施策は重要だと思う市民の割合

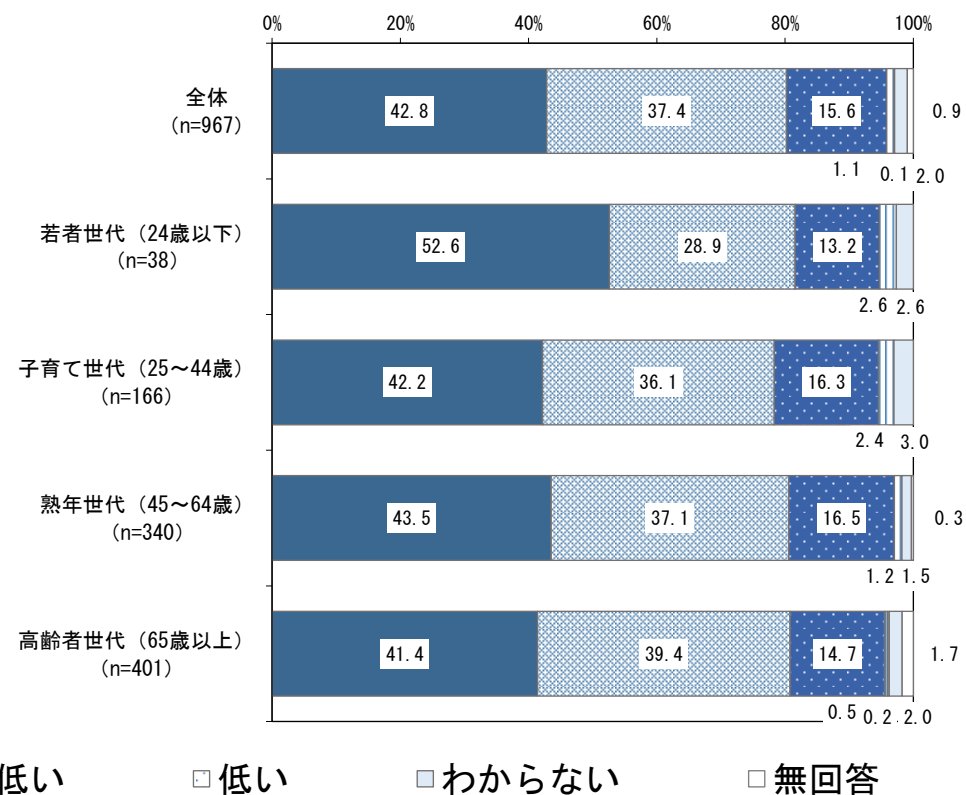
「公衆衛生や健康危機管理を充実する」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が42.8%で最も高く、次いで「やや高い」が37.4%、「普通」が15.6%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では80.2%となっており、令和元年度（61.0%）から19.2ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が81.5%で最も高くなっています。

令和元年度



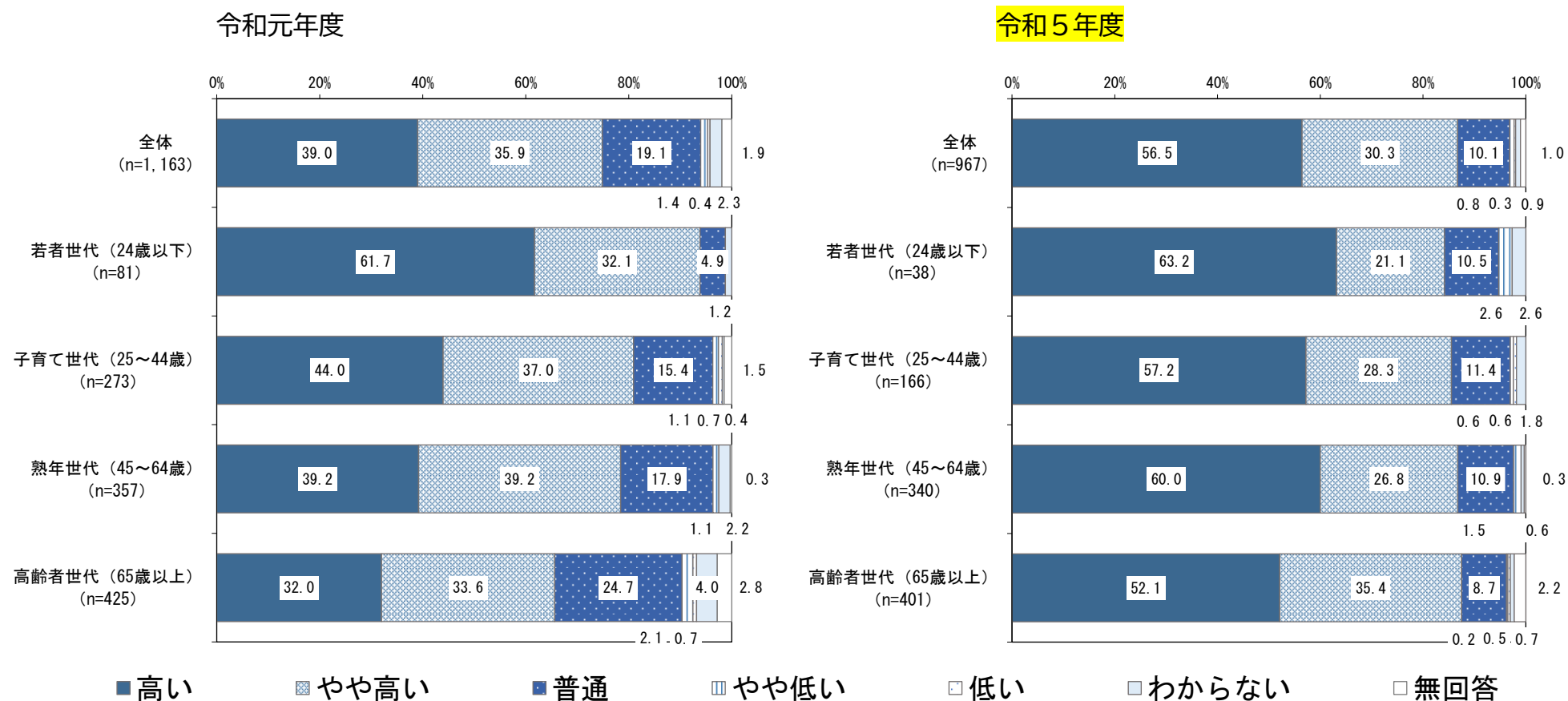
令和5年度



(8) 「安心して適切な医療を受ける」ための施策は重要だと思う市民の割合

「安心して適切な医療を受ける」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が56.5%で最も高く、次いで「やや高い」が30.3%、「普通」が10.1%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では86.8%となっており、令和元年度（74.9%）から11.9ポイント増加しています。

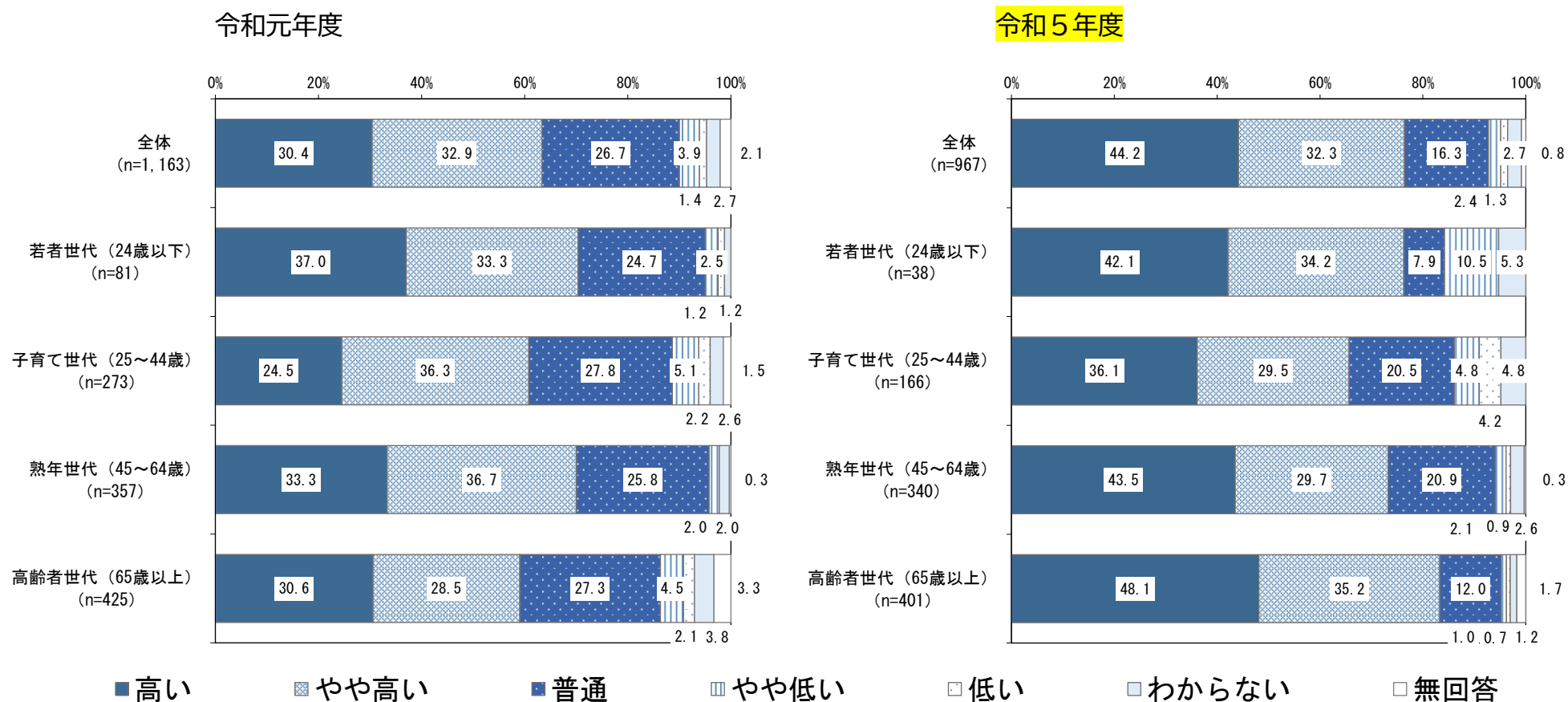
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、高齢者世代（65歳以上）が87.5%で最も高くなっています。



(9) 「高齢者が地域でいきいきと暮らす」ための施策は重要だと思う市民の割合

「高齢者が地域でいきいきと暮らす」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が44.2%で最も高く、次いで「やや高い」が32.3%、「普通」が16.3%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では76.5%となっており、令和元年度（63.3%）から13.2ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、高齢者世代（65歳以上）が83.3%で最も高くなっています。

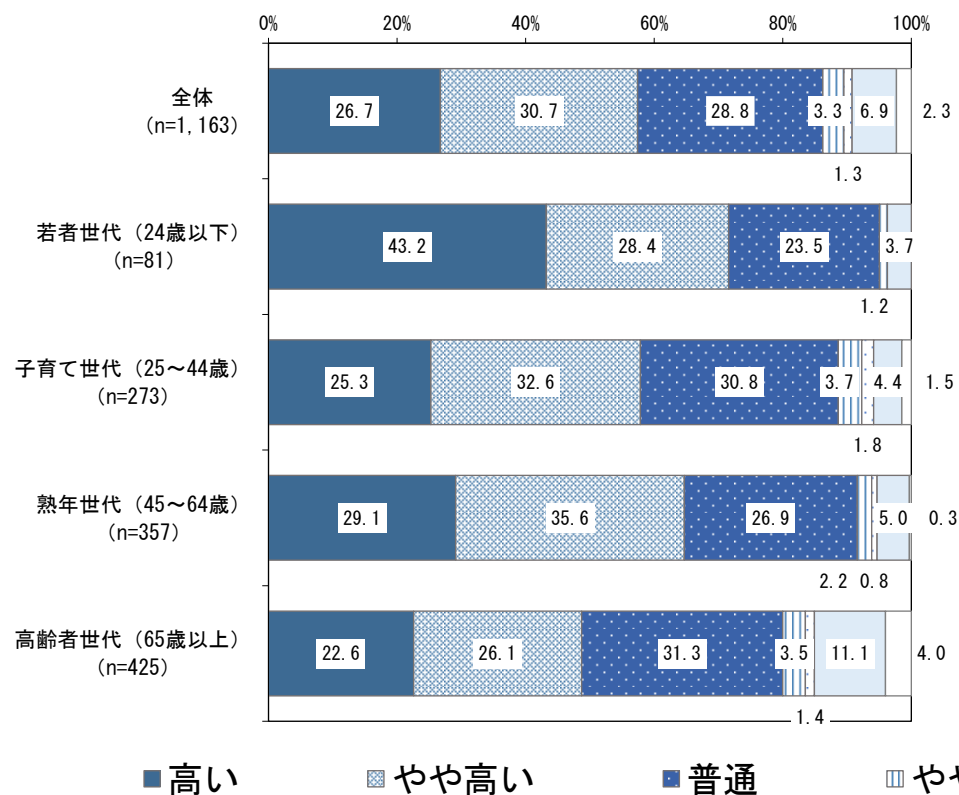


(10) 「障害者が自立し、社会参加ができる」ための施策は重要だと思う市民の割合

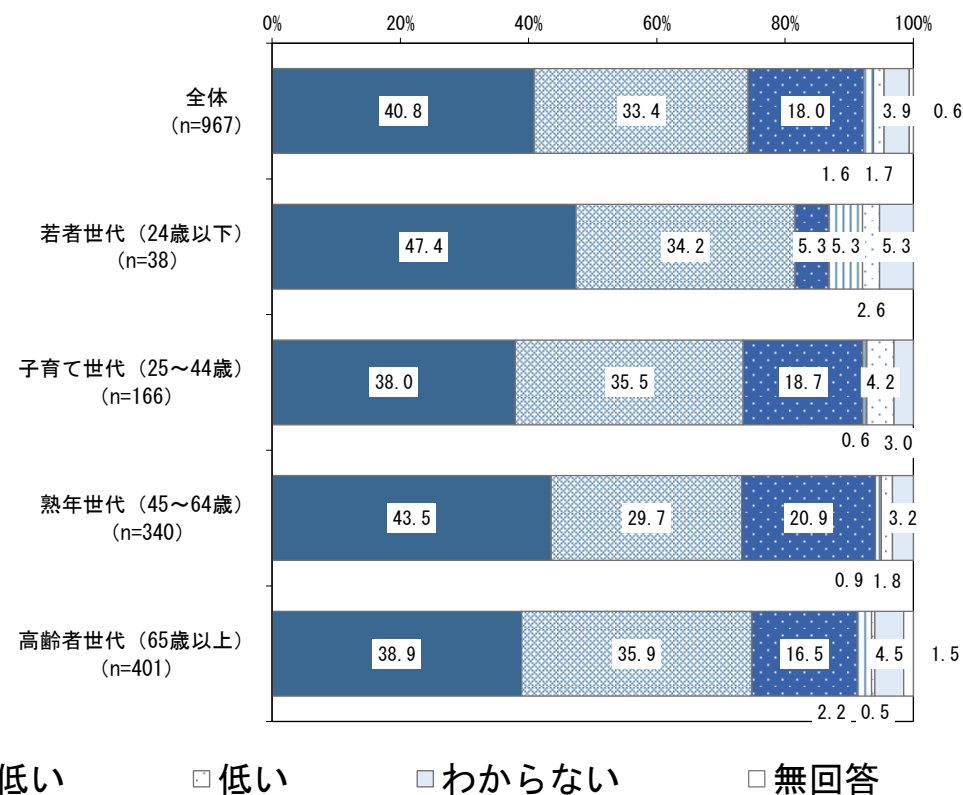
「障害者が自立し、社会参加ができる」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が40.8%で最も高く、次いで「やや高い」が33.4%、「普通」が18.0%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では74.2%となっており、令和元年度（57.4%）から16.8ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が81.6%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

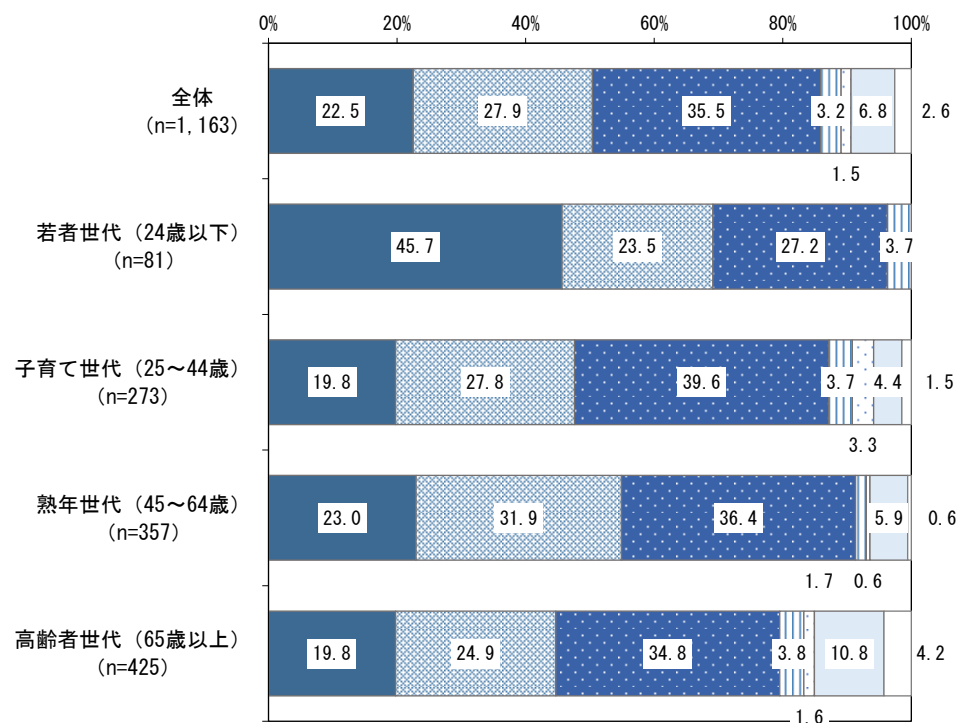


(11) 「すべての人がお互いの人権を尊重しあう」ための施策は重要だと思う市民の割合

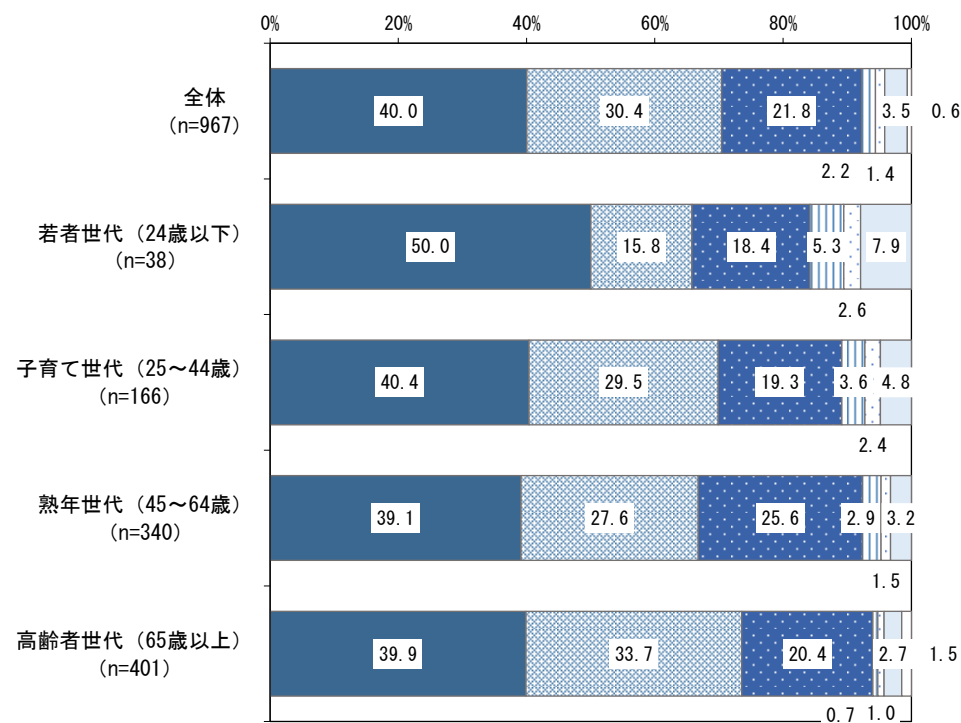
「すべての人がお互いの人権を尊重しあう」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が40.0%で最も高く、次いで「やや高い」が30.4%、「普通」が21.8%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では70.4%となっており、令和元年度（50.4%）から20.0ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、高齢者世代（65歳以上）が73.6%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

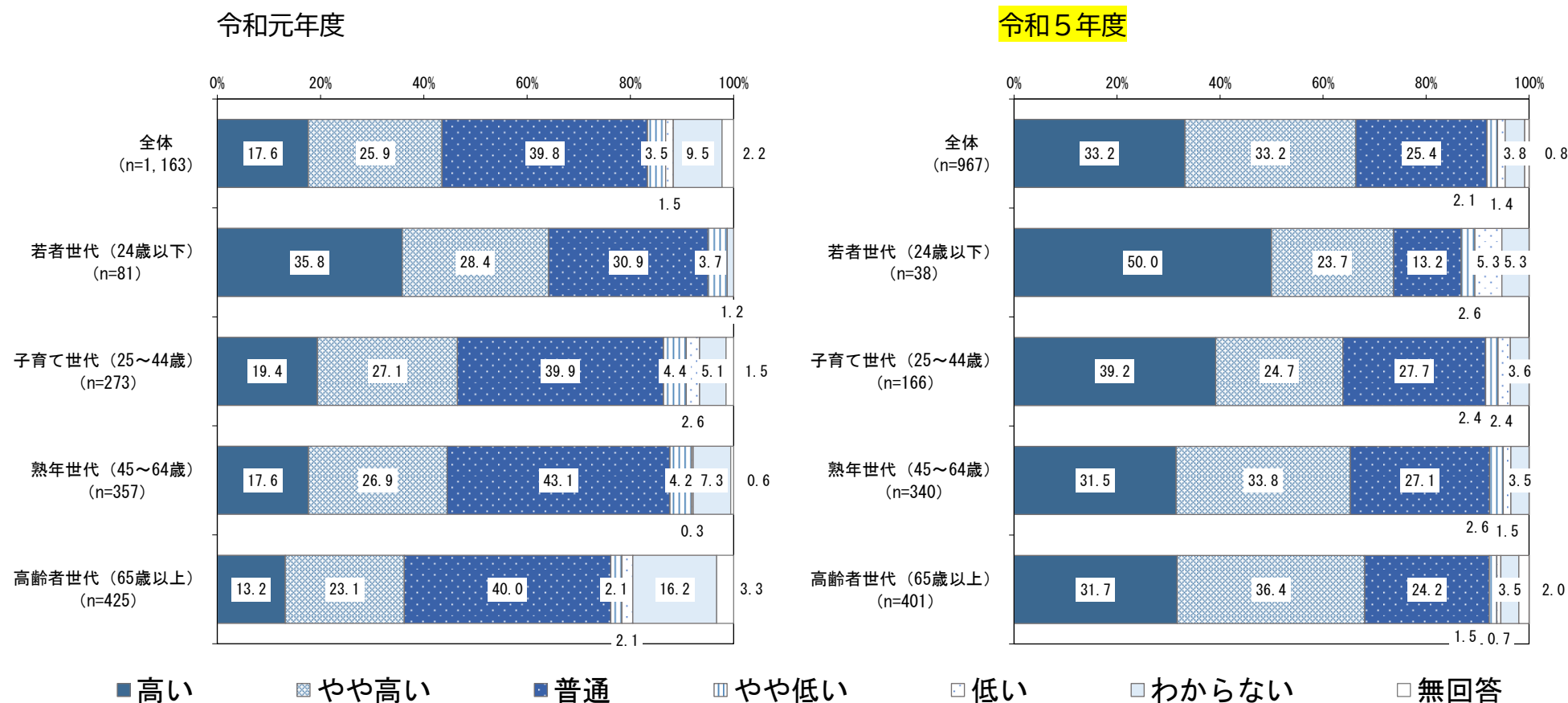


■ 高い ■ やや高い ■ 普通 ■ やや低い ■ 低い ■ わからない □ 無回答

(12) 「男女がともに参画し、個性を發揮できる」ための施策は重要だと思う市民の割合

「男女がともに参画し、個性を發揮できる」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」と「やや高い」が33.2%で最も高く、次いで「普通」が25.4%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では66.4%となっており、令和元年度（43.5%）から22.9ポイント増加しています。

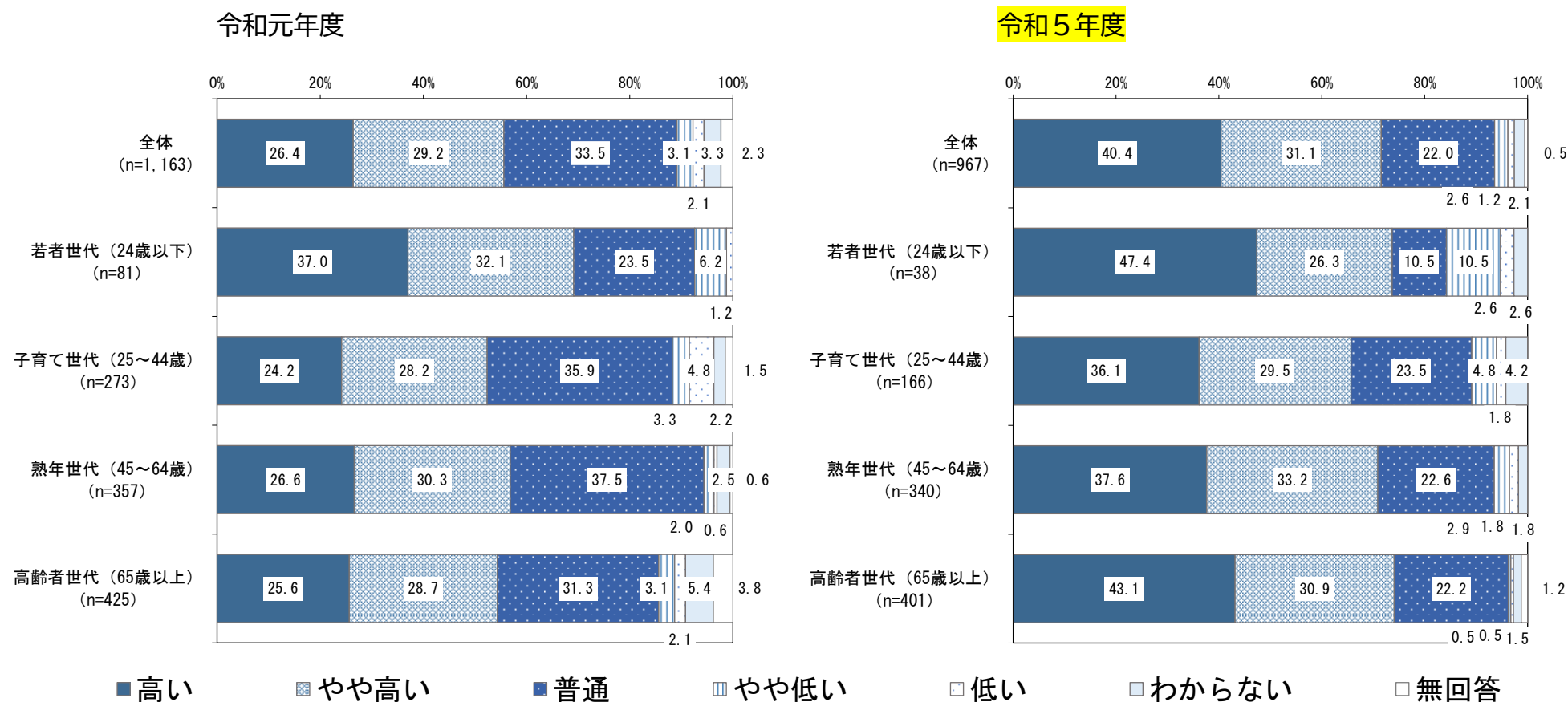
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が73.7%で最も高くなっています。



(13) 「平和の大切さを後世に伝える」ための施策は重要だと思う市民の割合

「平和の大切さを後世に伝える」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が40.4%で最も高く、次いで「やや高い」が31.1%、「普通」が22.0%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では71.5%となっており、令和元年度（55.6%）から15.9ポイント増加しています。

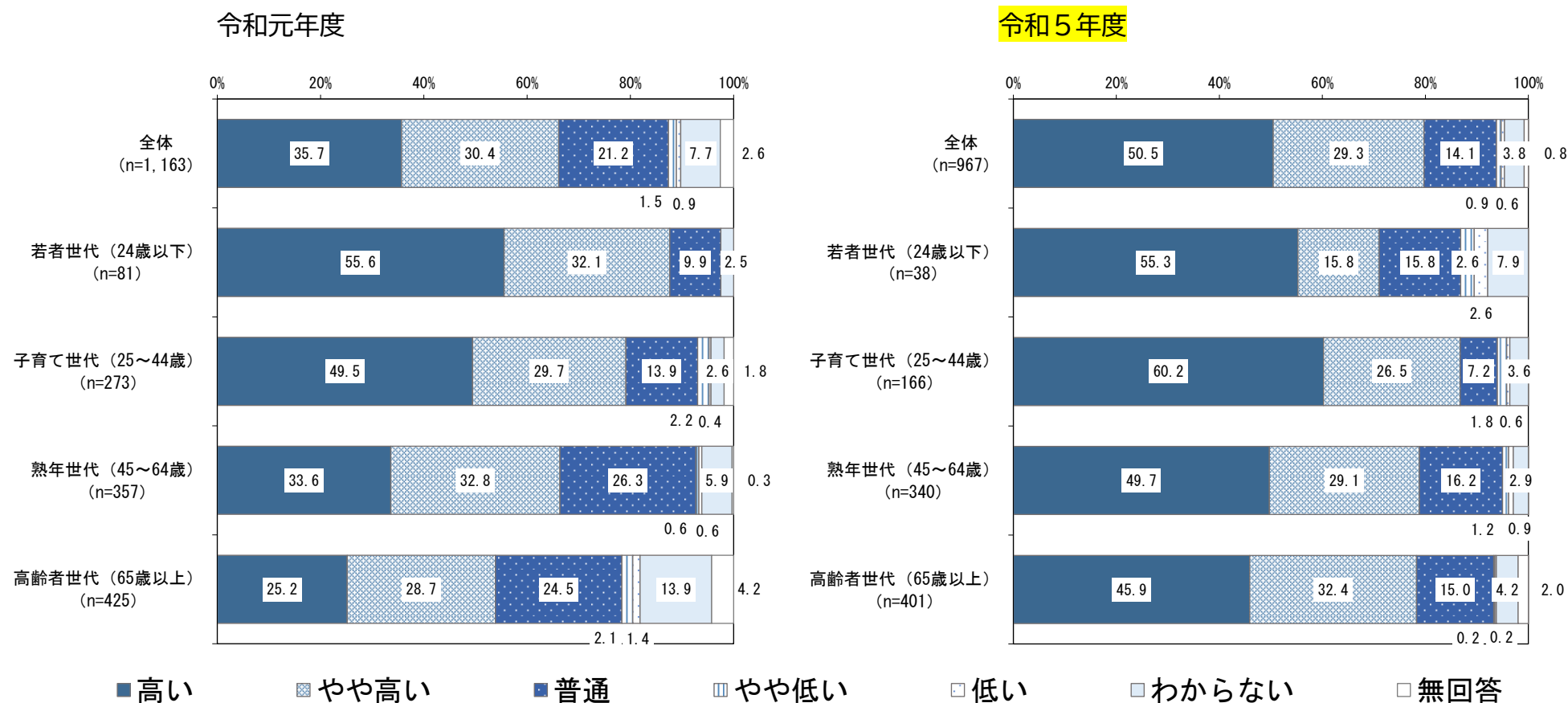
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、高齢者世代（65歳以上）が74.0%で最も高くなっています。



(14) 「安心して妊娠・出産できる環境を整える」ための施策は重要だと思う市民の割合

「安心して妊娠・出産できる環境を整える」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が50.5%で最も高く、次いで「やや高い」が29.3%、「普通」が14.1%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では79.8%となっており、令和元年度（66.1%）から13.7ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、子育て世代（25～44歳）が86.7%で最も高くなっています。

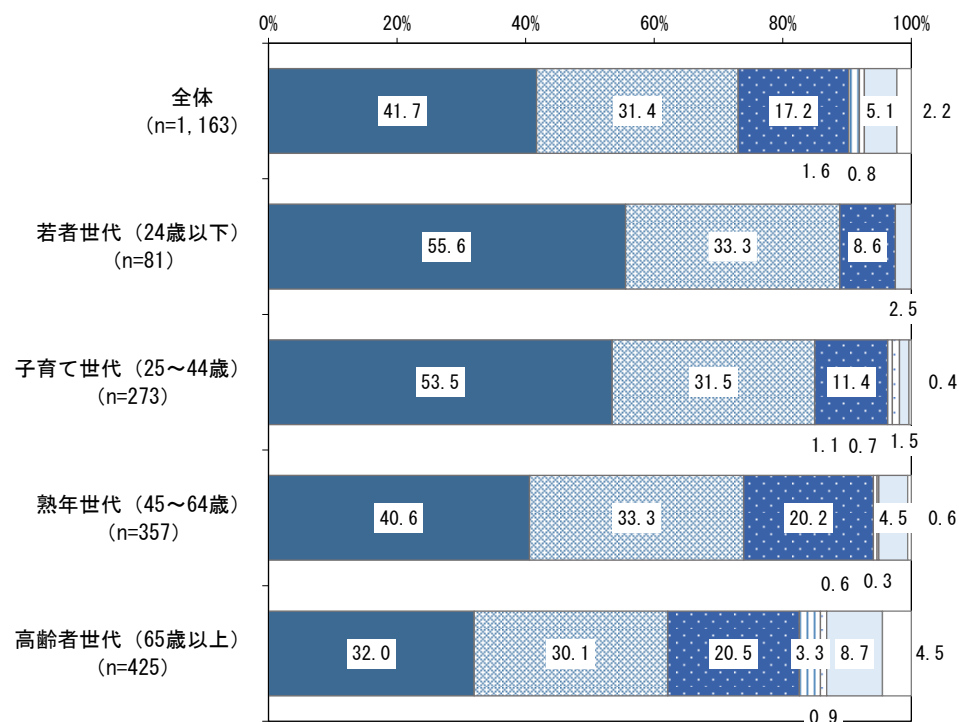


(15) 「子どもたちが健やかに育つ」ための施策は重要だと思う市民の割合

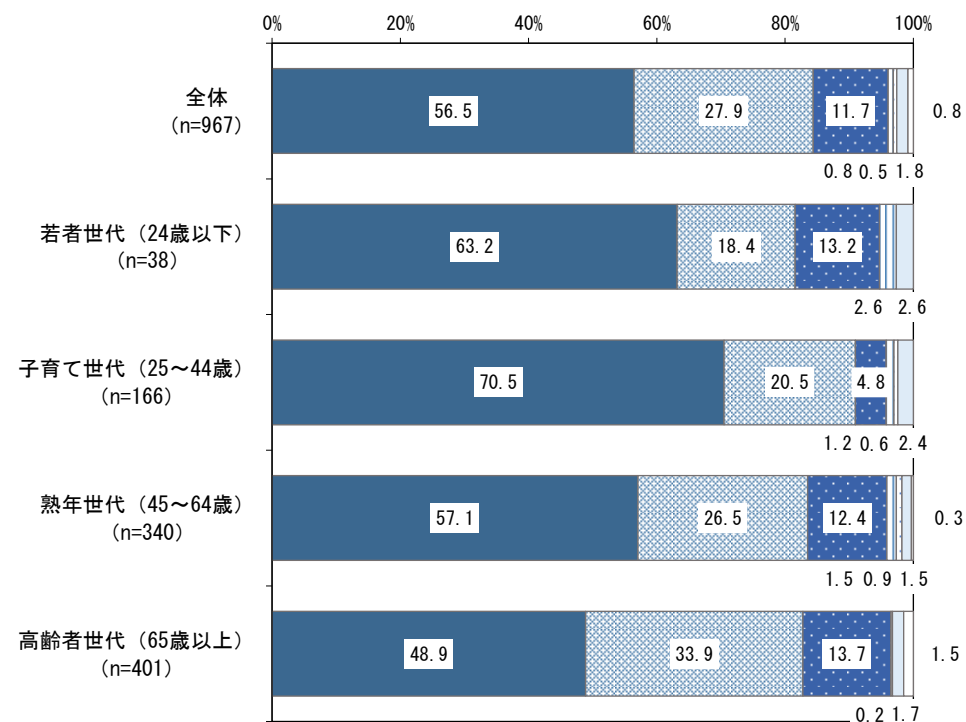
「子どもたちが健やかに育つ」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が56.5%で最も高く、次いで「やや高い」が27.9%、「普通」が11.7%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では84.4%となっており、令和元年度（73.1%）から11.3ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、子育て世代（25～44歳）が91.0%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度



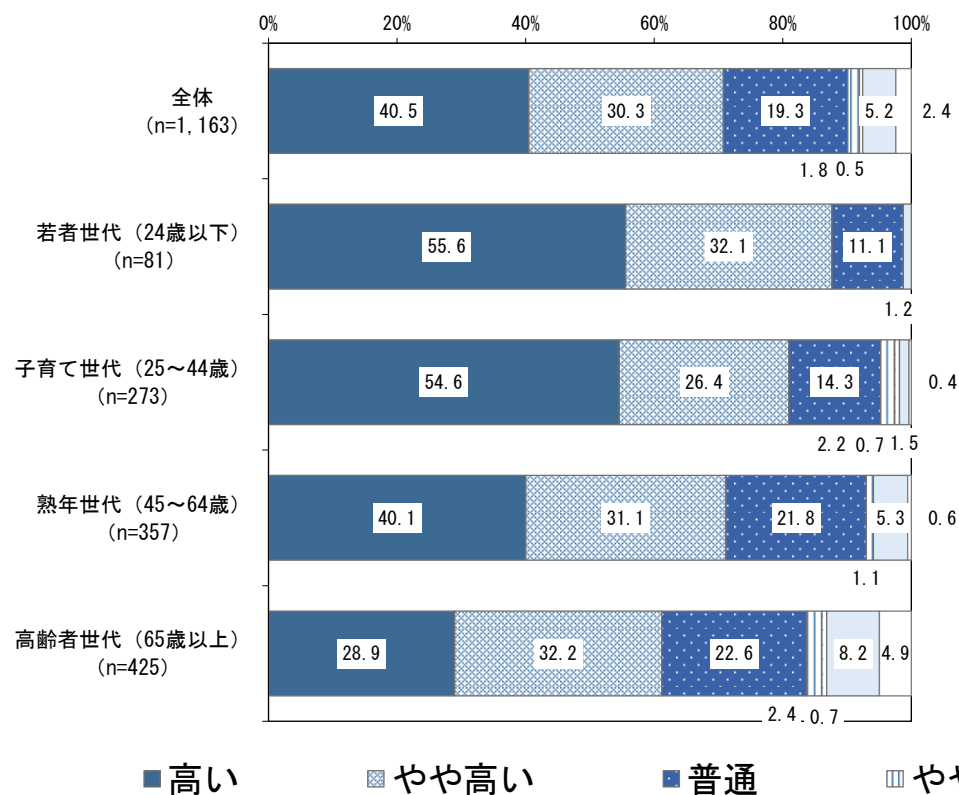
■ 高い ■ やや高い ■ 普通 ■ やや低い ■ 低い ■ わからない □ 無回答

(16) 「子どもたちの生きる力を育む教育を充実する」ための施策は重要だと思う市民の割合

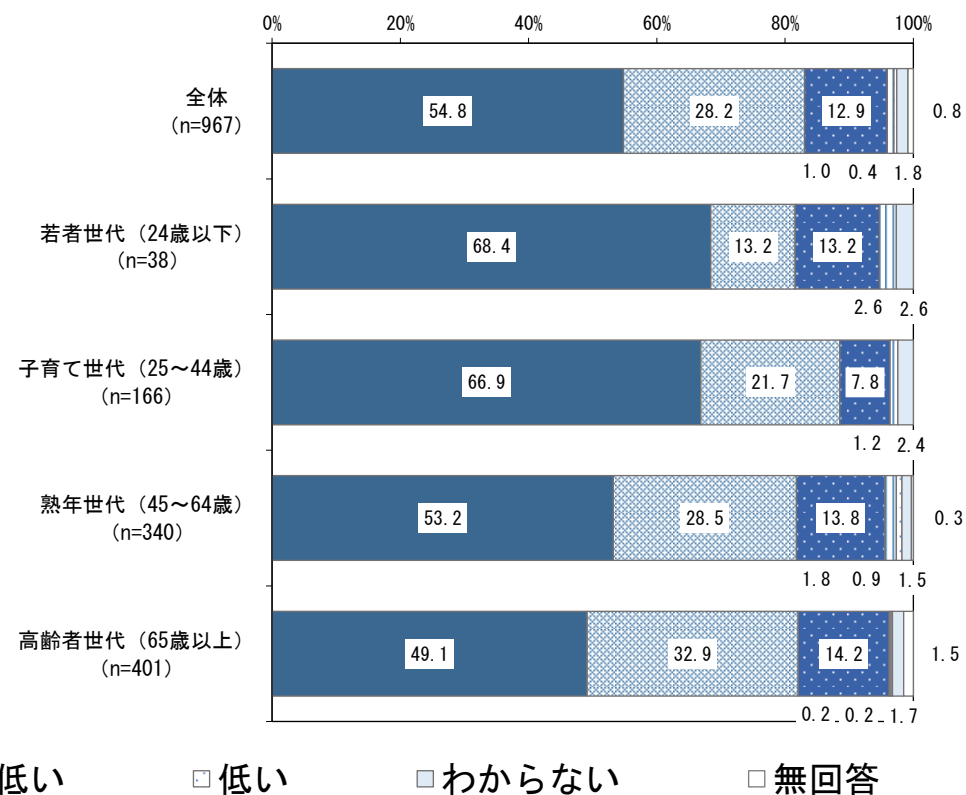
「子どもたちの生きる力を育む教育を充実する」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が54.8%で最も高く、次いで「やや高い」が28.2%、「普通」が12.9%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では83.0%となっており、令和元年度（70.8%）から12.2ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、子育て世代（25～44歳）が88.6%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

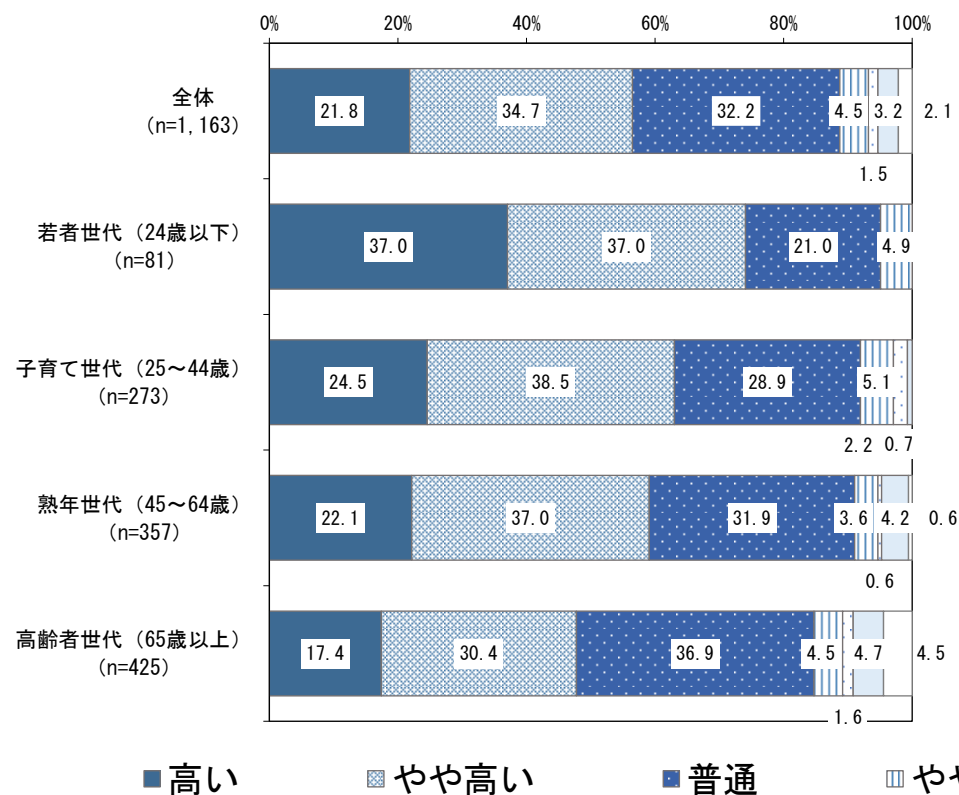


(17) 「誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できる」ための施策は重要だと思う市民の割合

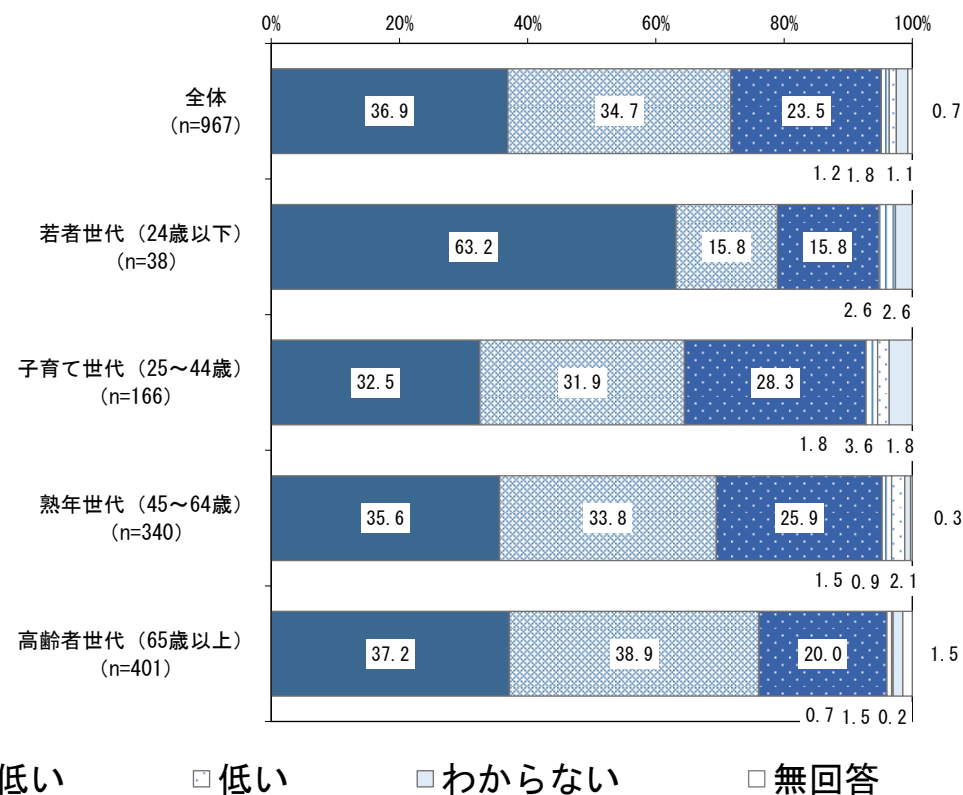
「誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できる」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が36.9%で最も高く、次いで「やや高い」が34.7%、「普通」が23.5%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では71.6%となっており、令和元年度（56.5%）から15.1ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が79.0%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

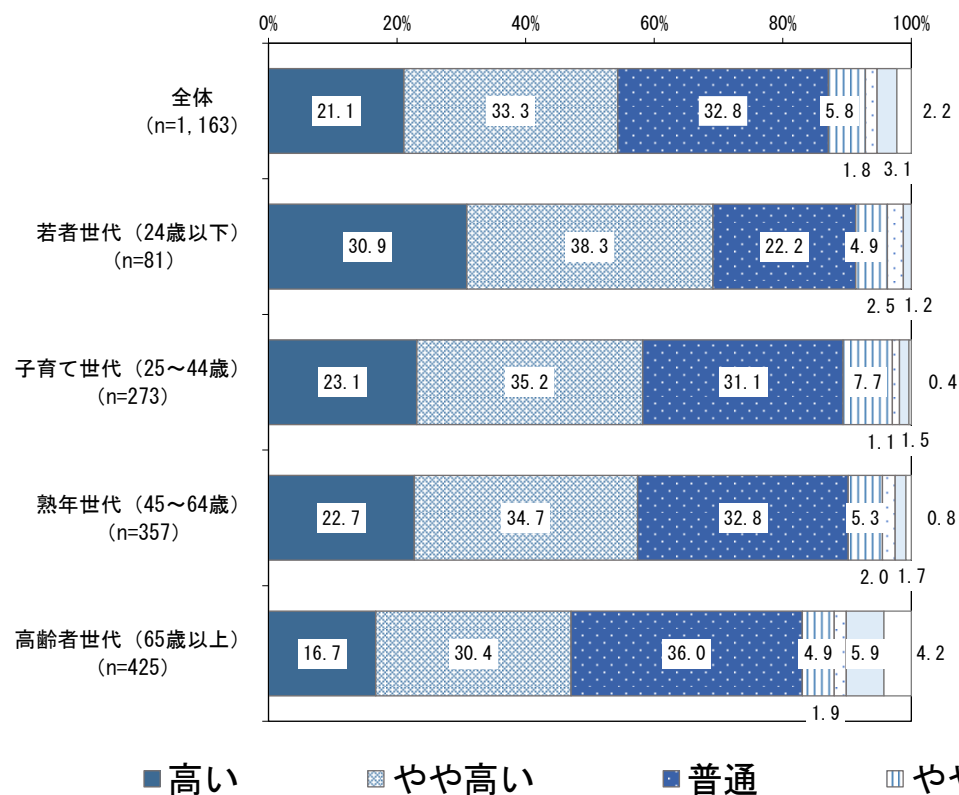


(18) 「人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地をつくる」ための施策は重要だと思う市民の割合

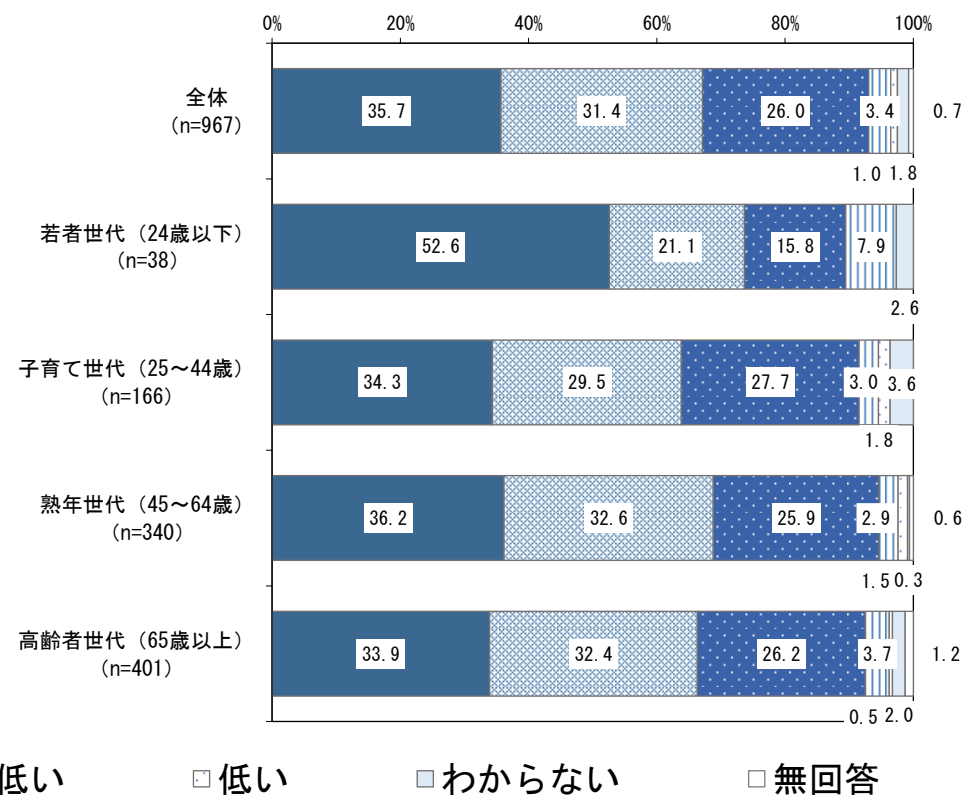
「人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地をつくる」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が35.7%で最も高く、次いで「やや高い」が31.4%、「普通」が26.0%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では67.1%となっており、令和元年度（54.4%）から12.7ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が73.7%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

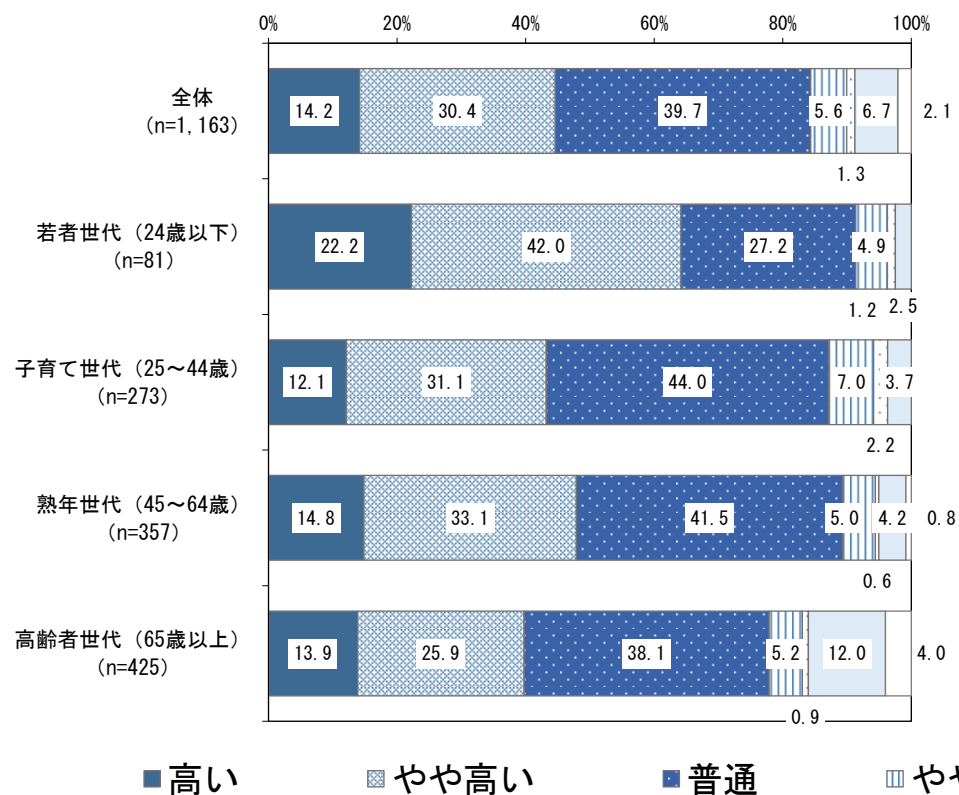


(19) 「地域資源を生かし、人々の交流を盛んにする」ための施策は重要だと思う市民の割合

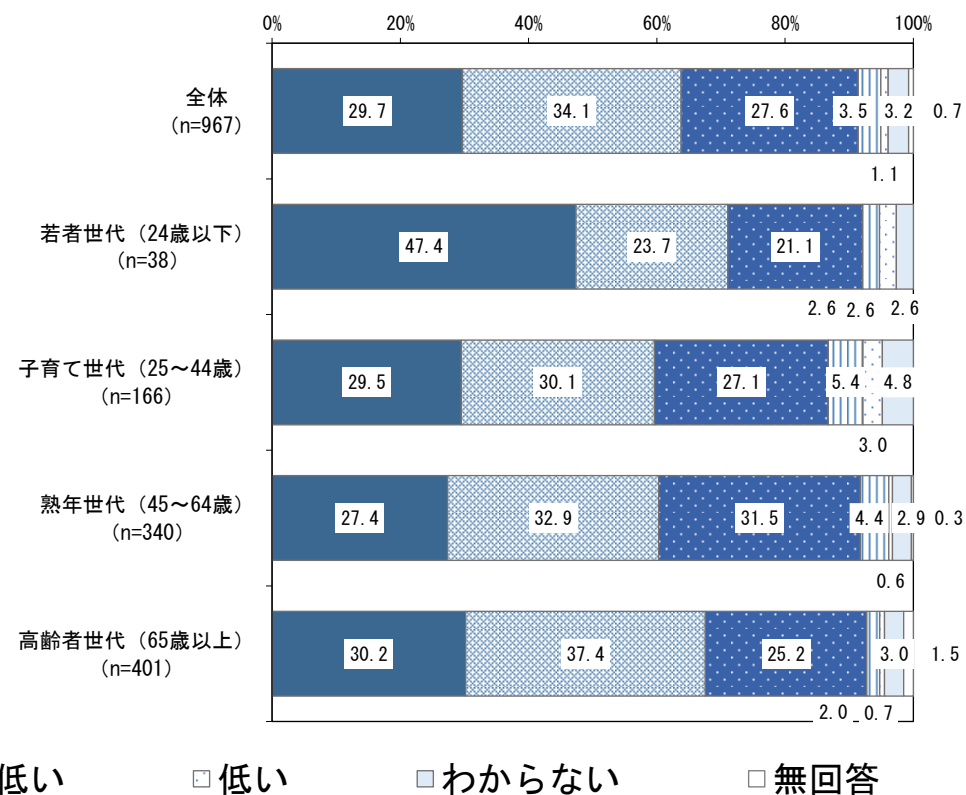
「地域資源を生かし、人々の交流を盛んにする」ための施策は重要だと思うかについては、「やや高い」が34.1%で最も高く、次いで「高い」が29.7%、「普通」が27.6%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では63.8%となっており、令和元年度（44.6%）から19.2ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が71.1%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

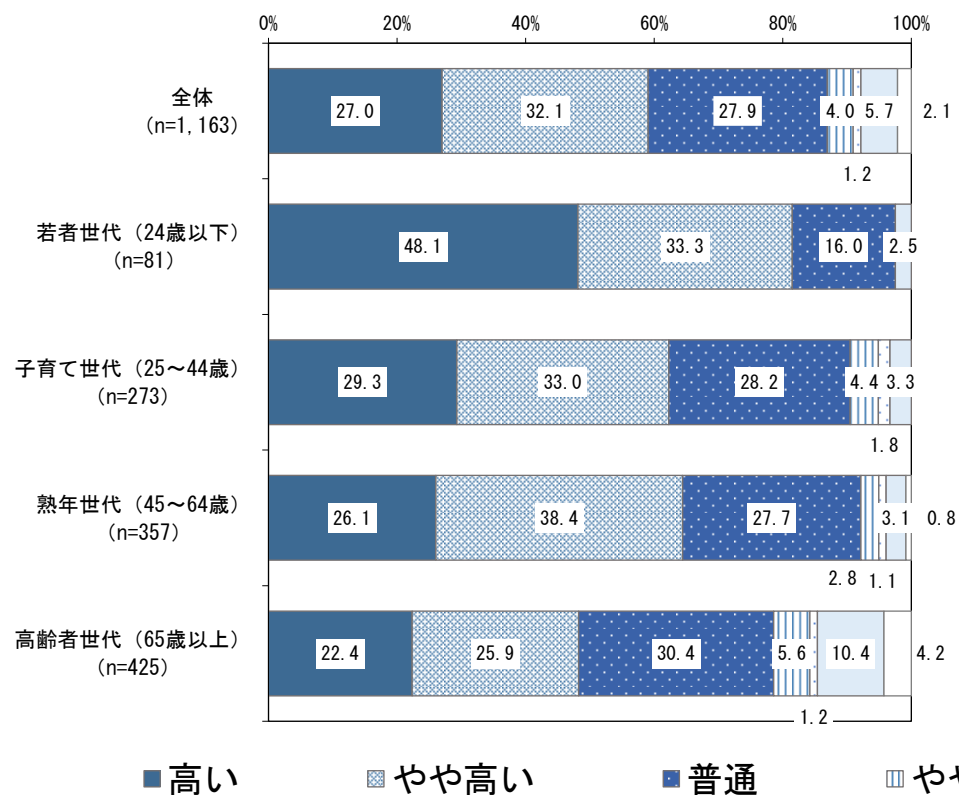


(20) 「いきいきと働くことができる」ための施策は重要だと思う市民の割合

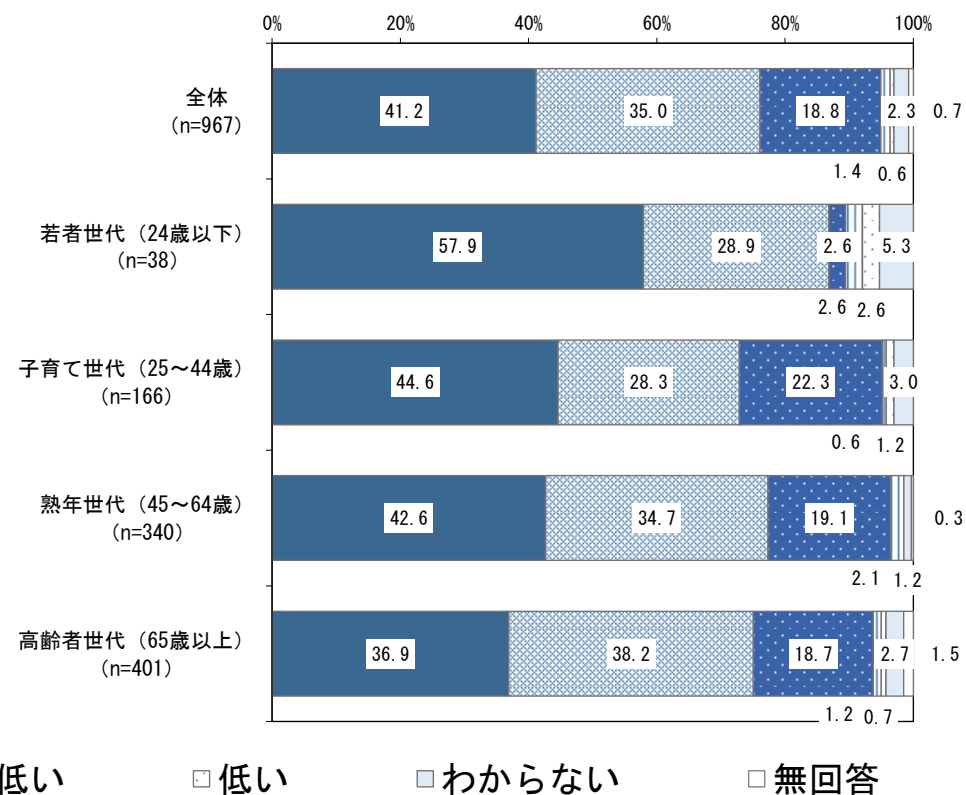
「いきいきと働くことができる」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が41.2%で最も高く、次いで「やや高い」が35.0%、「普通」が18.8%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では76.2%となっており、令和元年度（59.1%）から17.1ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が86.8%で最も高くなっています。

令和元年度



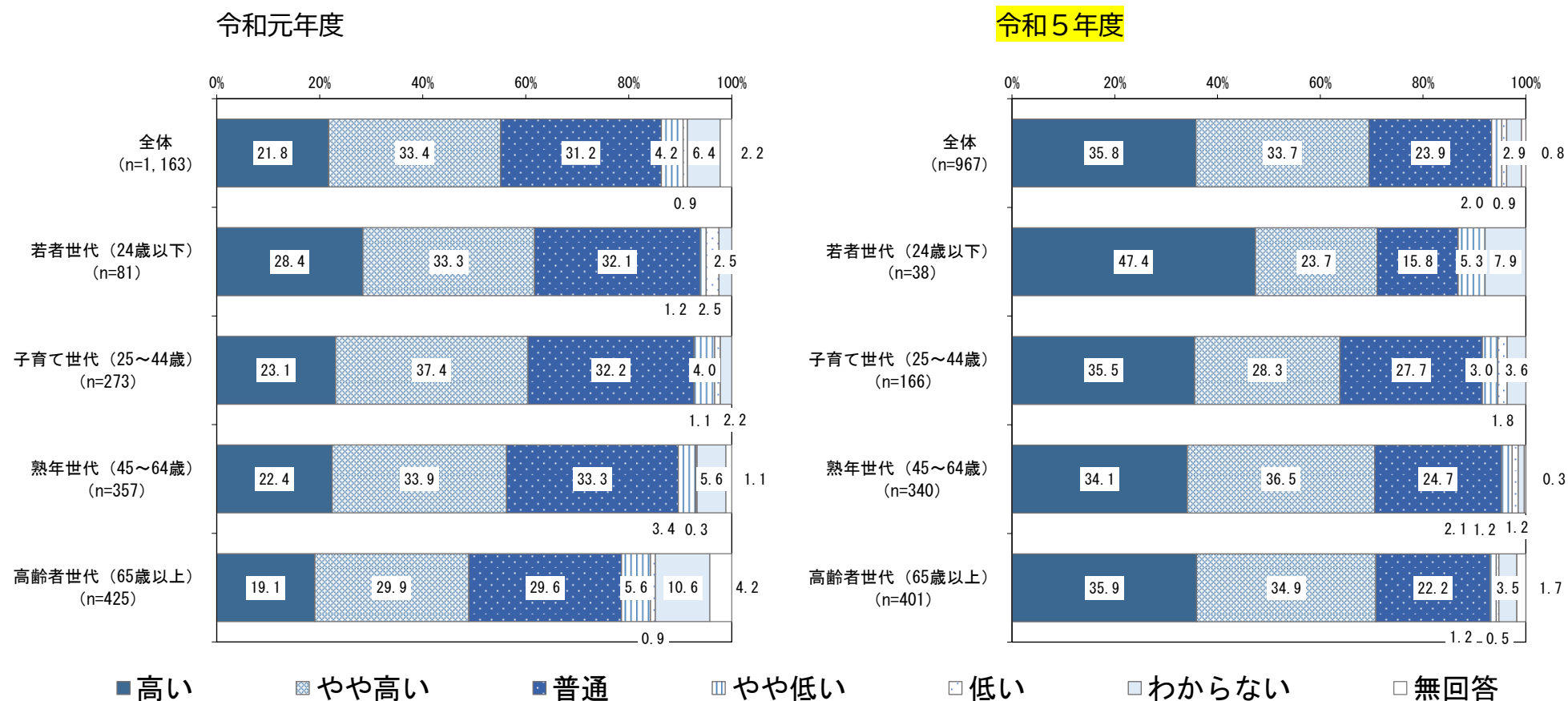
令和5年度



(21) 「地域産業を活発に展開する」ための施策は重要だと思う市民の割合

「地域産業を活発に展開する」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が35.8%で最も高く、次いで「やや高い」が33.7%、「普通」が23.9%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では69.5%となっており、令和元年度（55.2%）から14.3ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が71.1%で最も高くなっています。

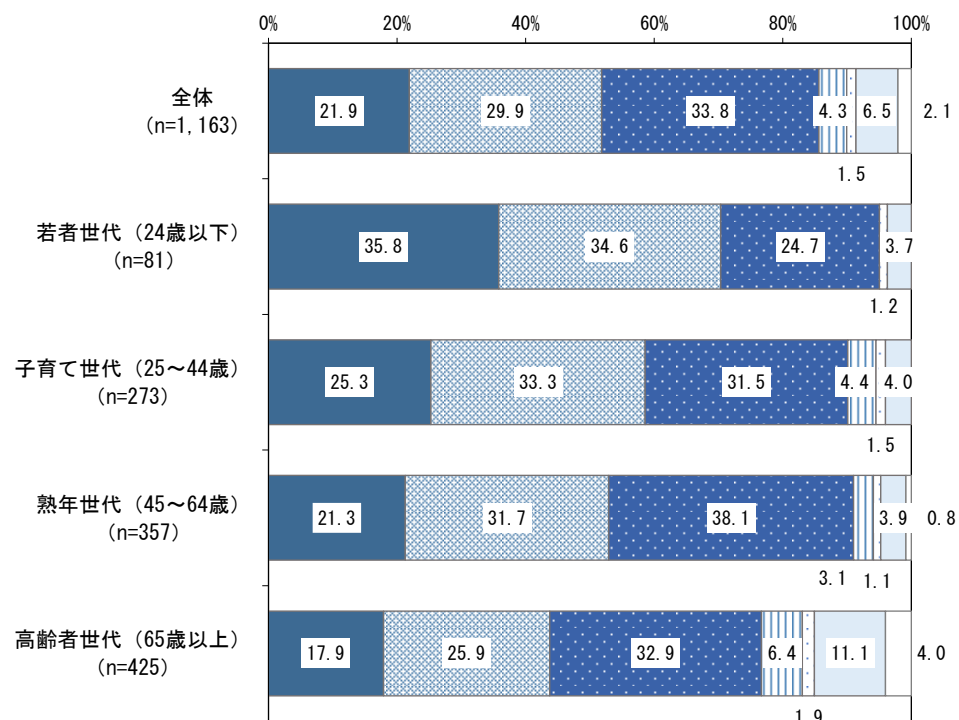


(22) 「農を守り、生かす」ための施策は重要だと思う市民の割合

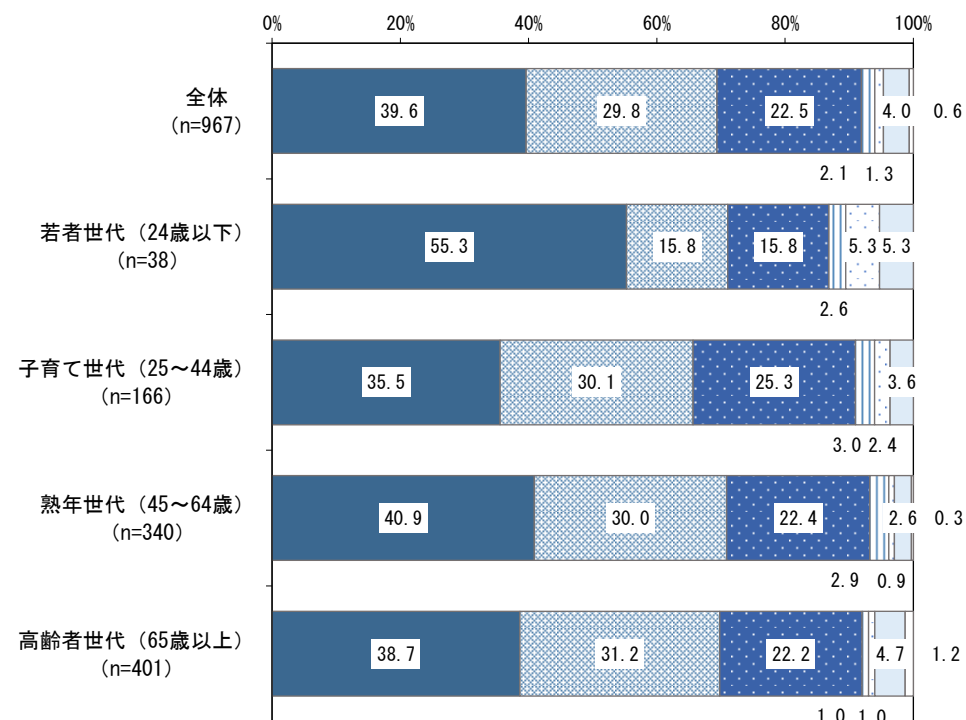
「農を守り、生かす」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が39.6%で最も高く、次いで「やや高い」が29.8%、「普通」が22.5%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では69.4%となっており、令和元年度（51.8%）から17.6ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が71.1%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度



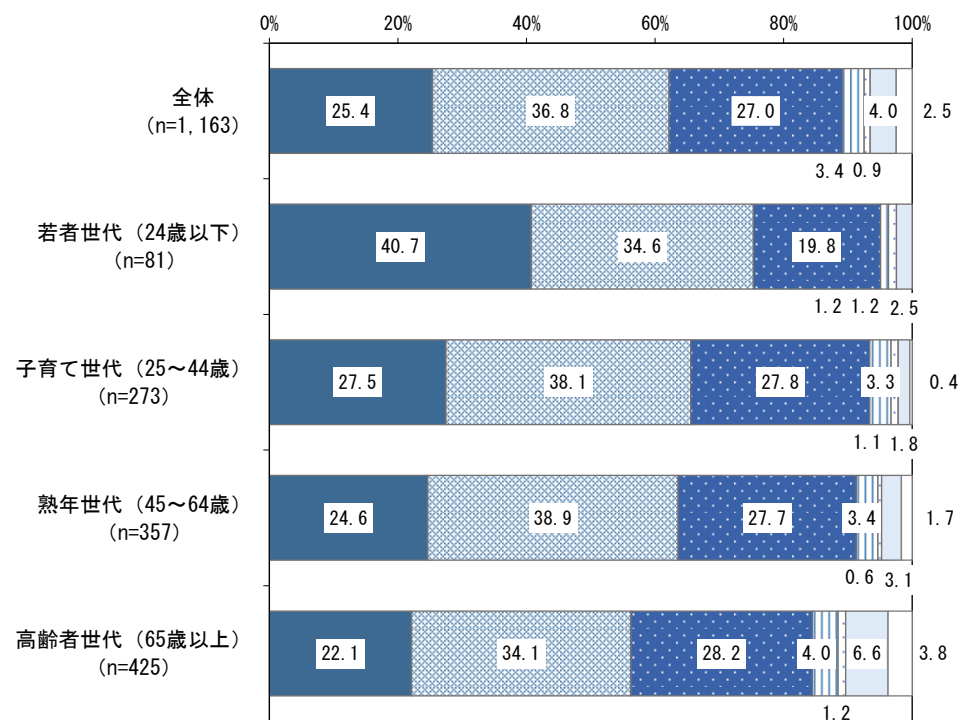
■ 高い ■ やや高い ■ 普通 ■ やや低い ■ 低い ■ わからない ■ 無回答

(23) 「豊かな自然環境を大切にする」ための施策は重要だと思う市民の割合

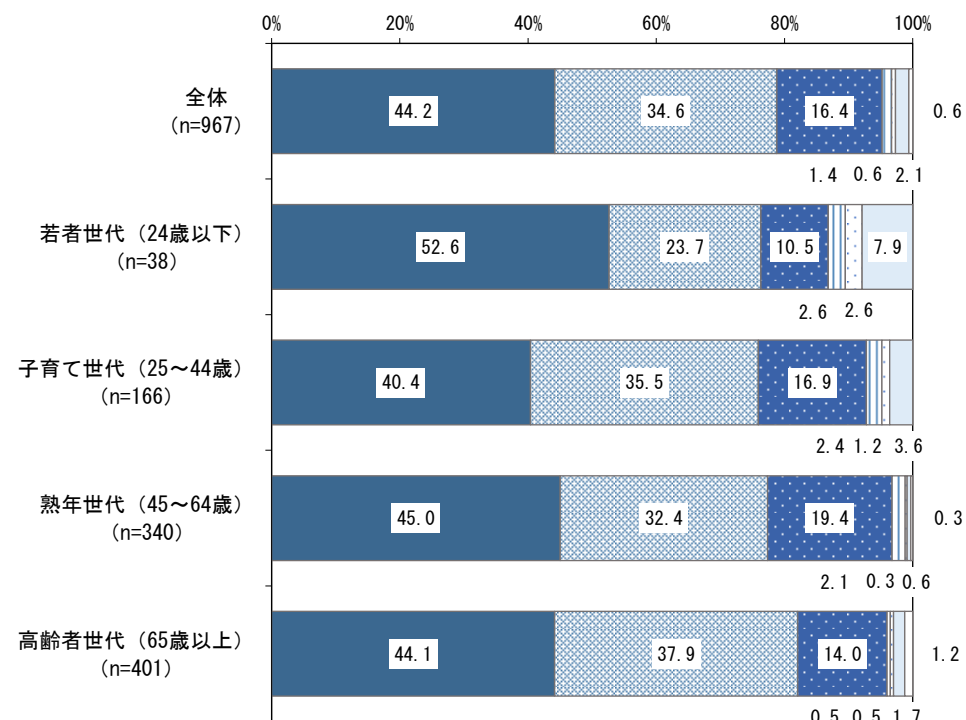
「豊かな自然環境を大切にする」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が44.2%で最も高く、次いで「やや高い」が34.6%、「普通」が16.4%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では78.8%となっており、令和元年度（62.2%）から16.6ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、高齢者世代（65歳以上）が82.0%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度



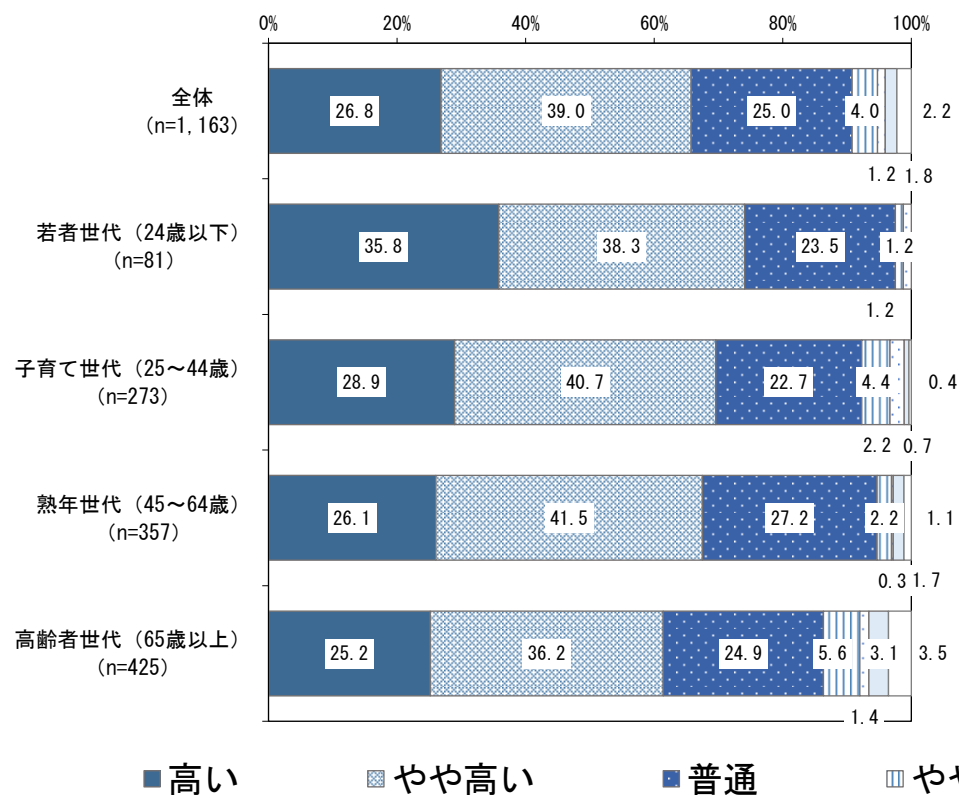
■ 高い ■ やや高い ■ 普通 ■ やや低い ■ 低い ■ わからない ■ 無回答

(24) 「まちなかのみどりを育てる」ための施策は重要だと思う市民の割合

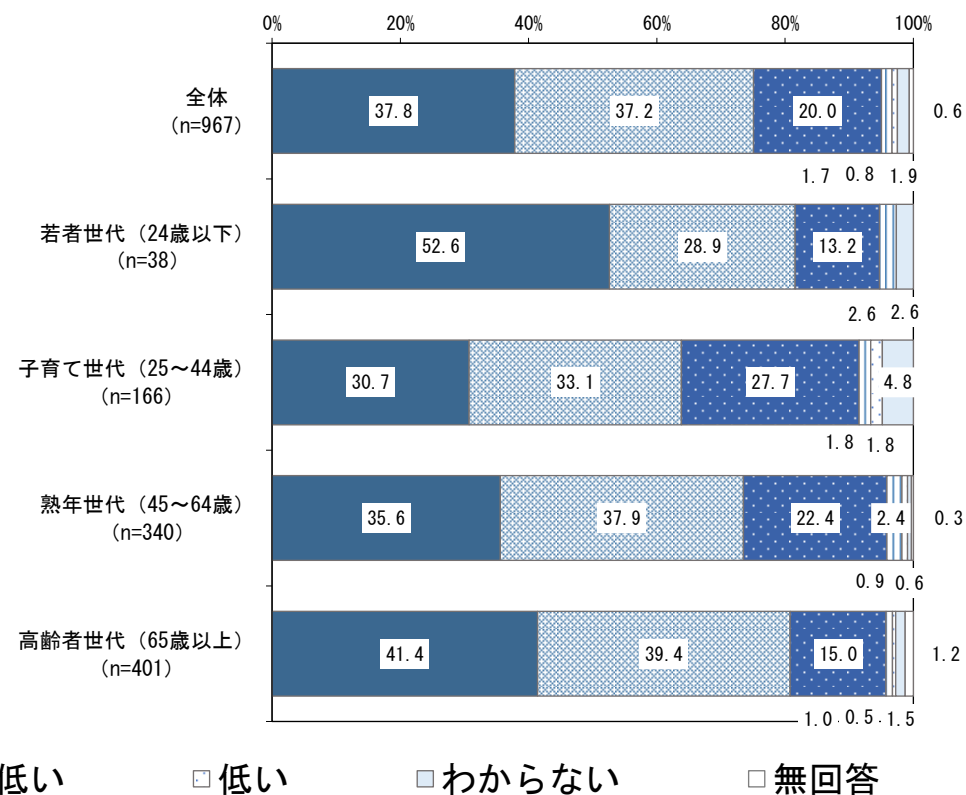
「まちなかのみどりを育てる」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が37.8%で最も高く、次いで「やや高い」が37.2%、「普通」が20.0%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では75.0%となっており、令和元年度（65.8%）から9.2ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が81.5%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

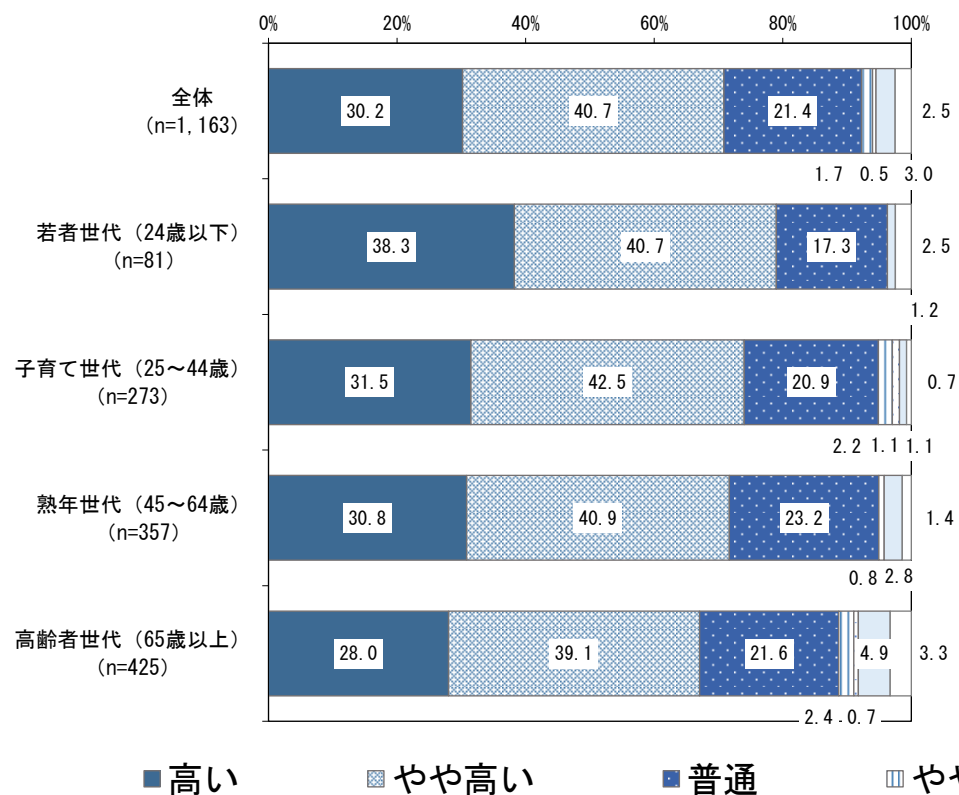


(25) 「ごみを減らし、資源の循環を進める」ための施策は重要だと思う市民の割合

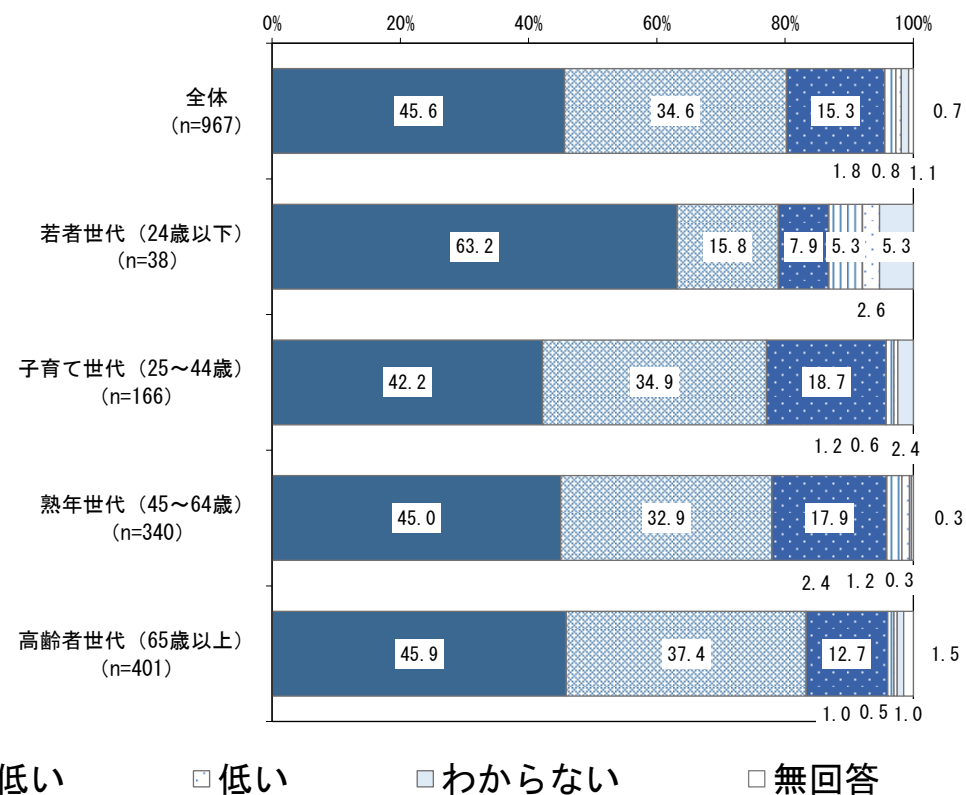
「ごみを減らし、資源の循環を進める」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が45.6%で最も高く、次いで「やや高い」が34.6%、「普通」が15.3%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では80.2%となっており、令和元年度（70.9%）から9.3ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、高齢者世代（65歳以上）が83.3%で最も高くなっています。

令和元年度



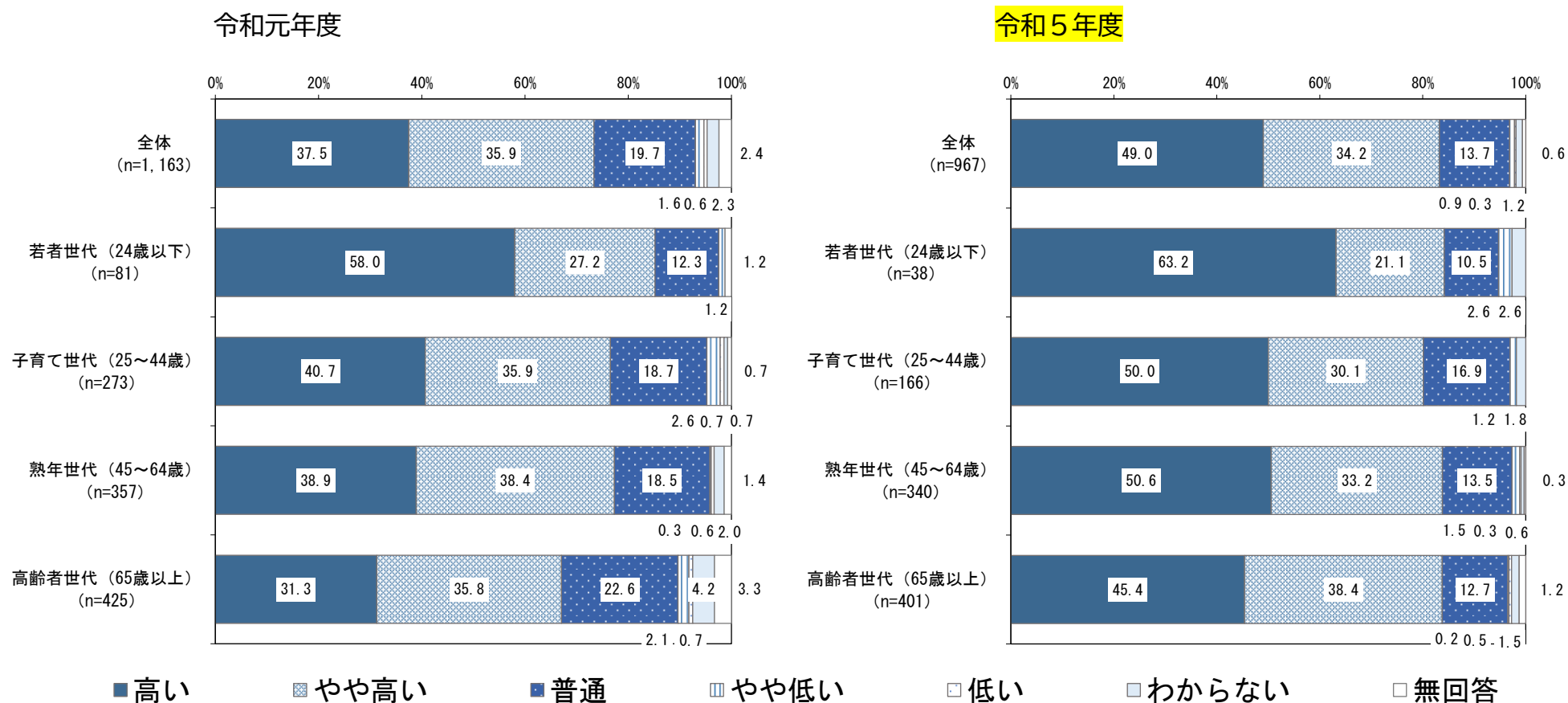
令和5年度



(26) 「安全で良好な生活環境を確保する」ための施策は重要だと思う市民の割合

「安全で良好な生活環境を確保する」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が49.0%で最も高く、次いで「やや高い」が34.2%、「普通」が13.7%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では83.2%となっており、令和元年度（73.4%）から9.8ポイント増加しています。

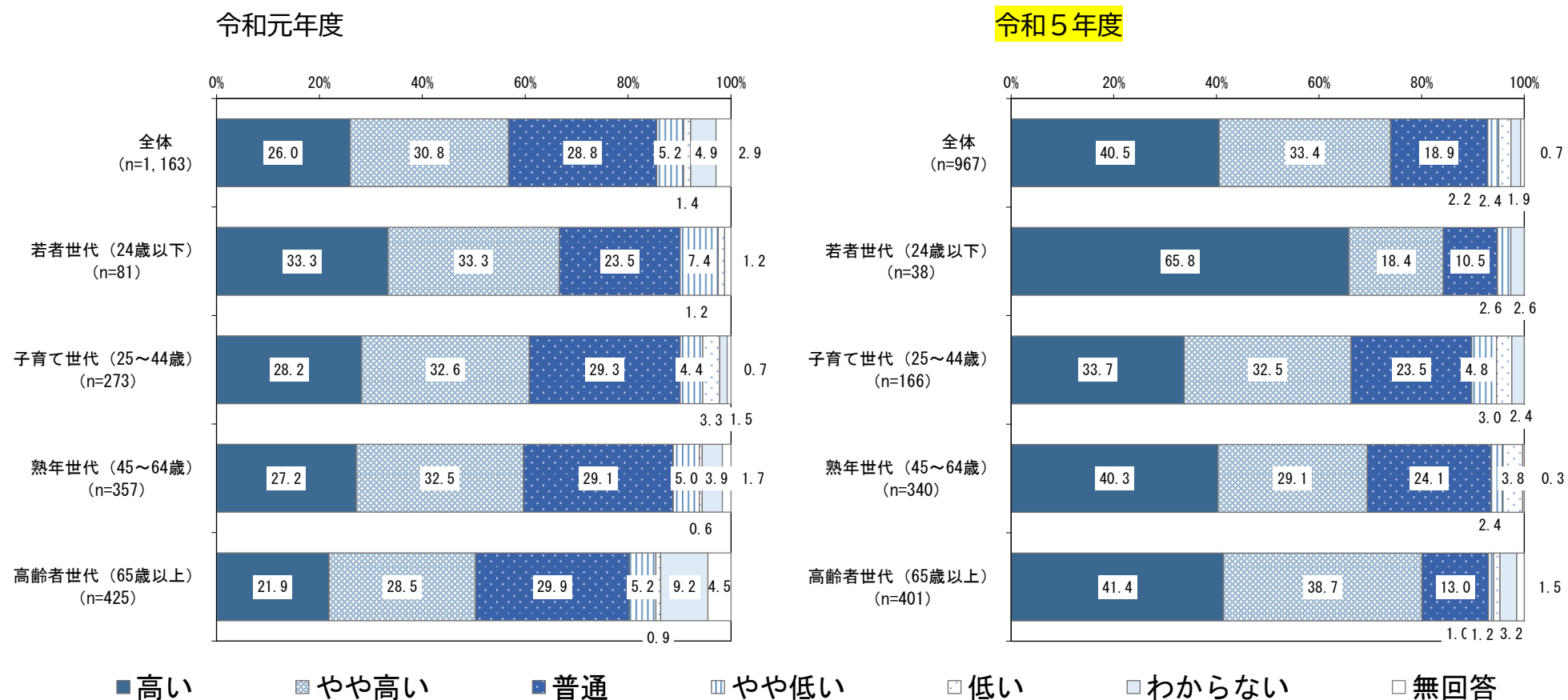
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が84.3%で最も高くなっています。



(27) 「地球温暖化対策に取り組む」ための施策は重要だと思う市民の割合

「地球温暖化対策に取り組む」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が40.5%で最も高く、次いで「やや高い」が33.4%、「普通」が18.9%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では73.9%となっており、令和元年度（56.8%）から17.1ポイント増加しています。

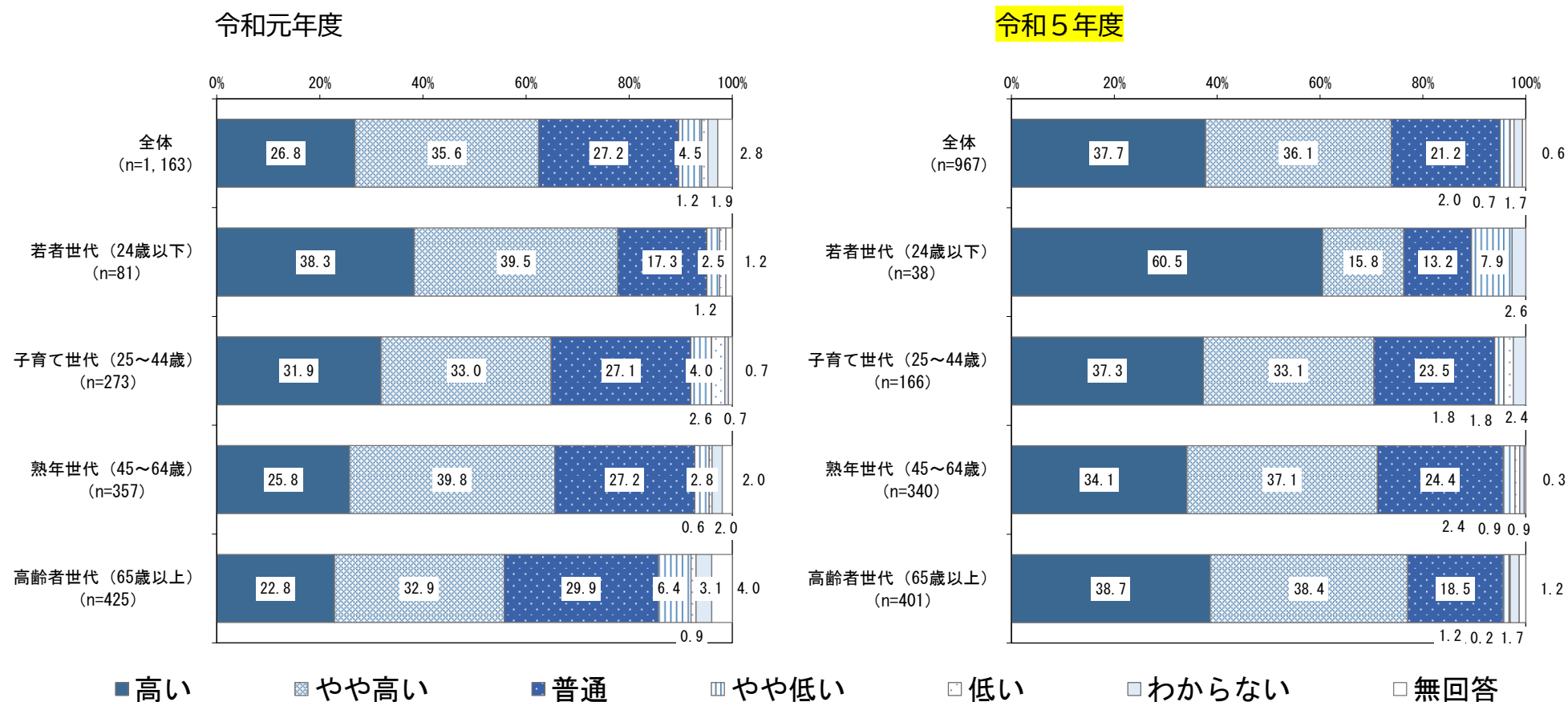
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が84.2%で最も高くなっています。



(28) 「美しく魅力あるまち並みを育む」ための施策は重要だと思う市民の割合

「美しく魅力あるまち並みを育む」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が37.7%で最も高く、次いで「やや高い」が36.1%、「普通」が21.2%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では73.8%となっており、令和元年度（62.4%）から11.4ポイント増加しています。

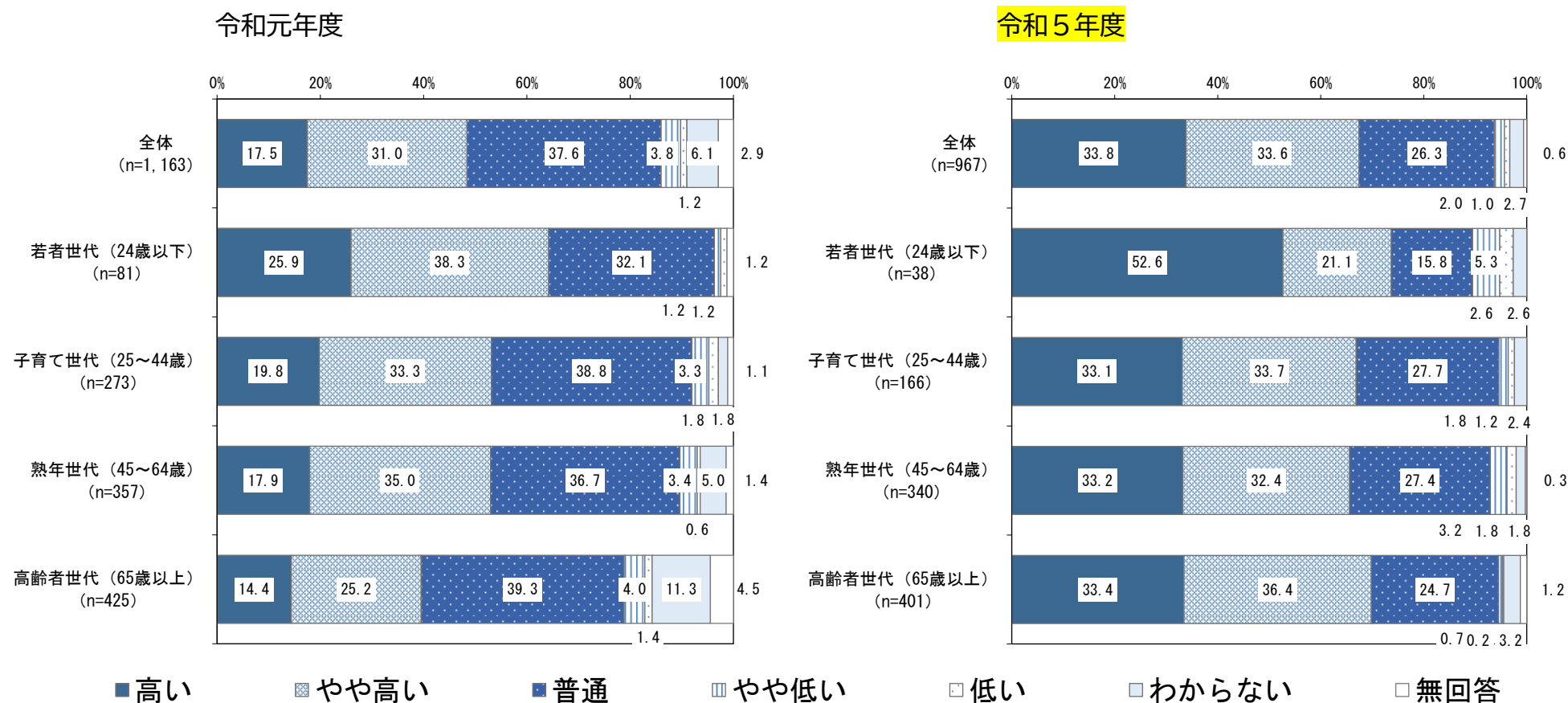
世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、高齢者世代（65歳以上）が77.1%で最も高くなっています。



(29) 「市民との情報の共有化を進める」ための施策は重要だと思う市民の割合

「市民との情報の共有化を進める」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が33.8%で最も高く、次いで「やや高い」が33.6%、「普通」が26.3%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では67.4%となっており、令和元年度（48.5%）から18.9ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が73.7%で最も高くなっています。

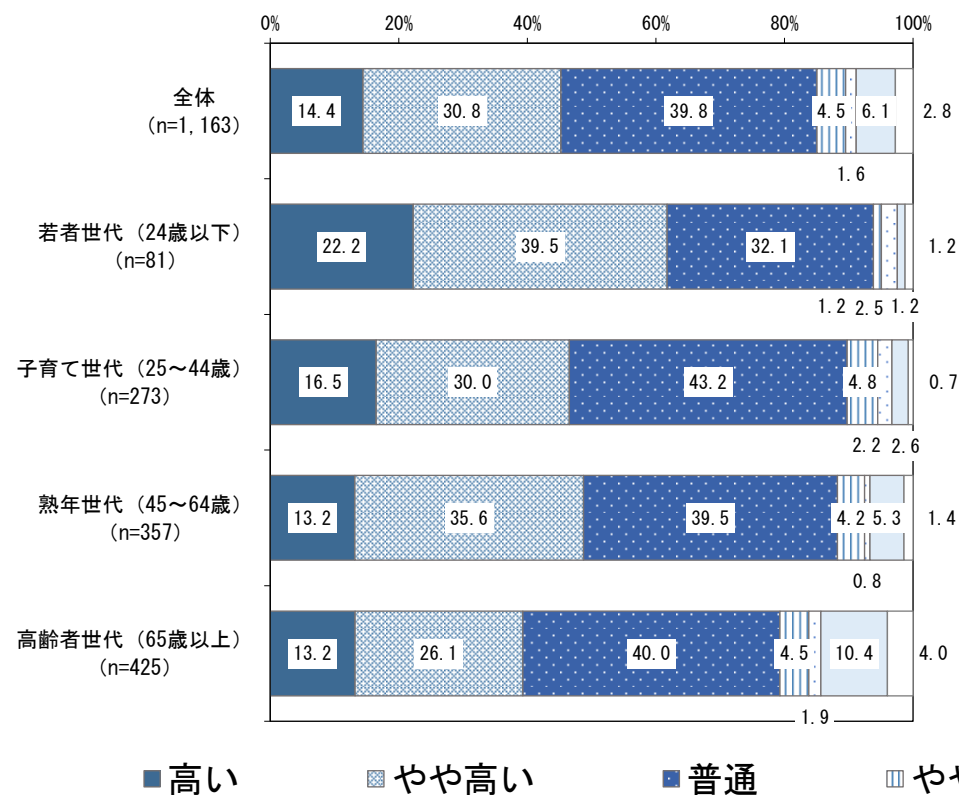


(30) 「市民による活発なまちづくり活動を支援する」ための施策は重要だと思う市民の割合

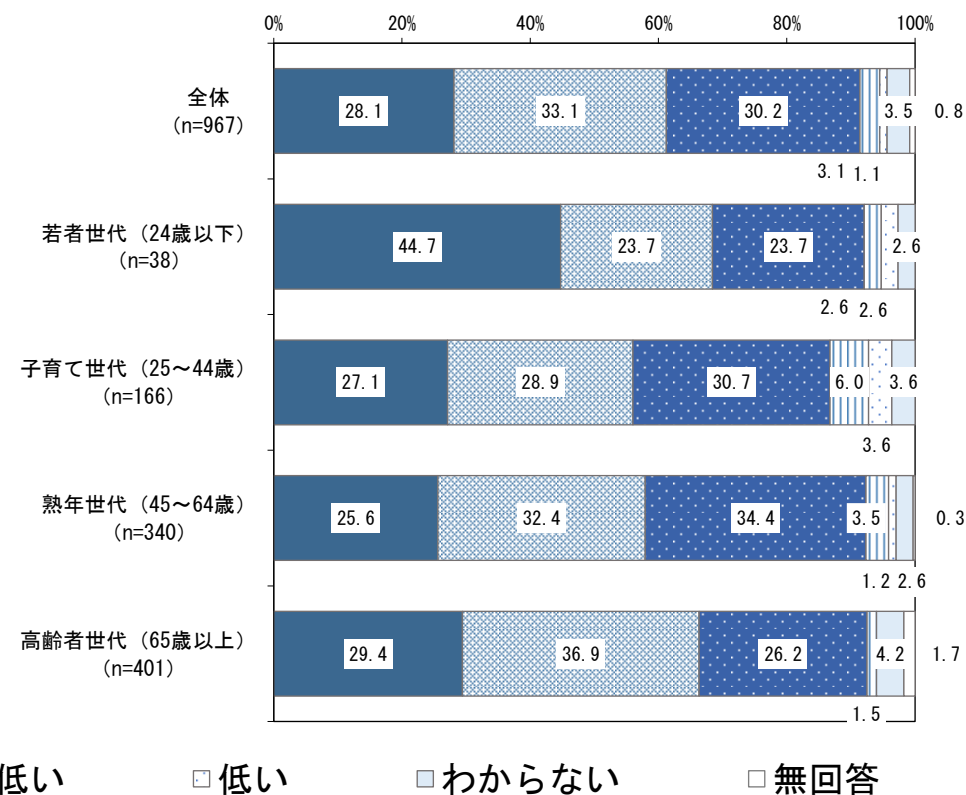
「市民による活発なまちづくり活動を支援する」ための施策が重要だと思うかについては、「やや高い」が33.1%で最も高く、次いで「普通」が30.2%、「高い」が28.1%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では61.2%となっており、令和元年度（45.2%）から16.0ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が68.4%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

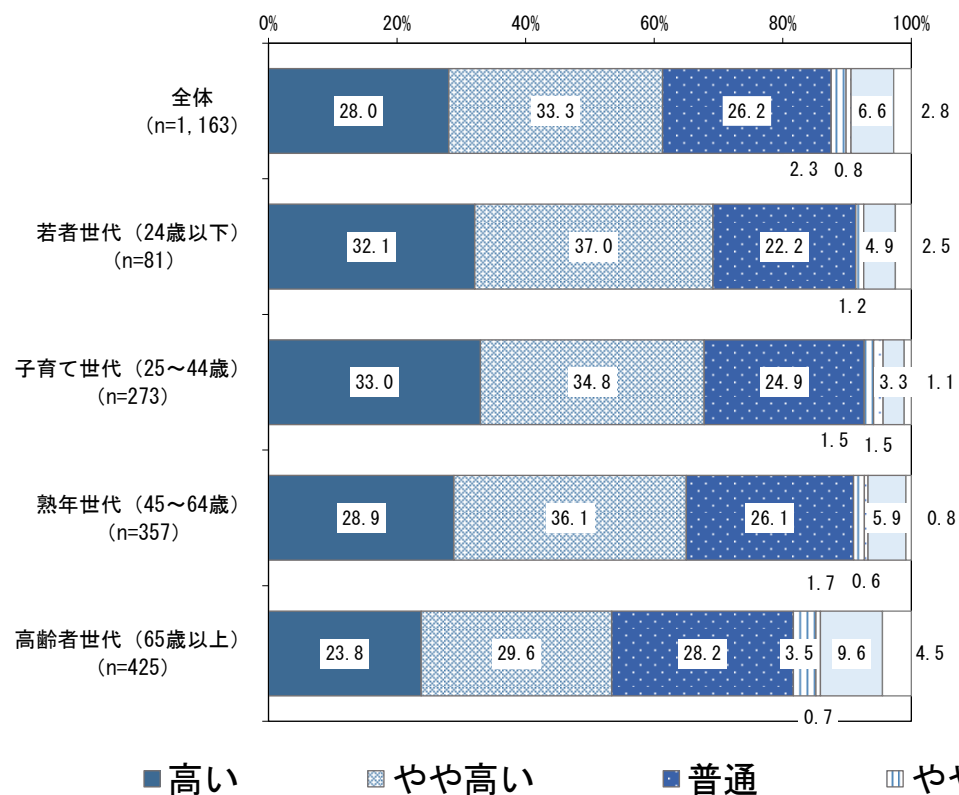


(31) 「持続可能な行財政運営を進める」ための施策は重要だと思う市民の割合

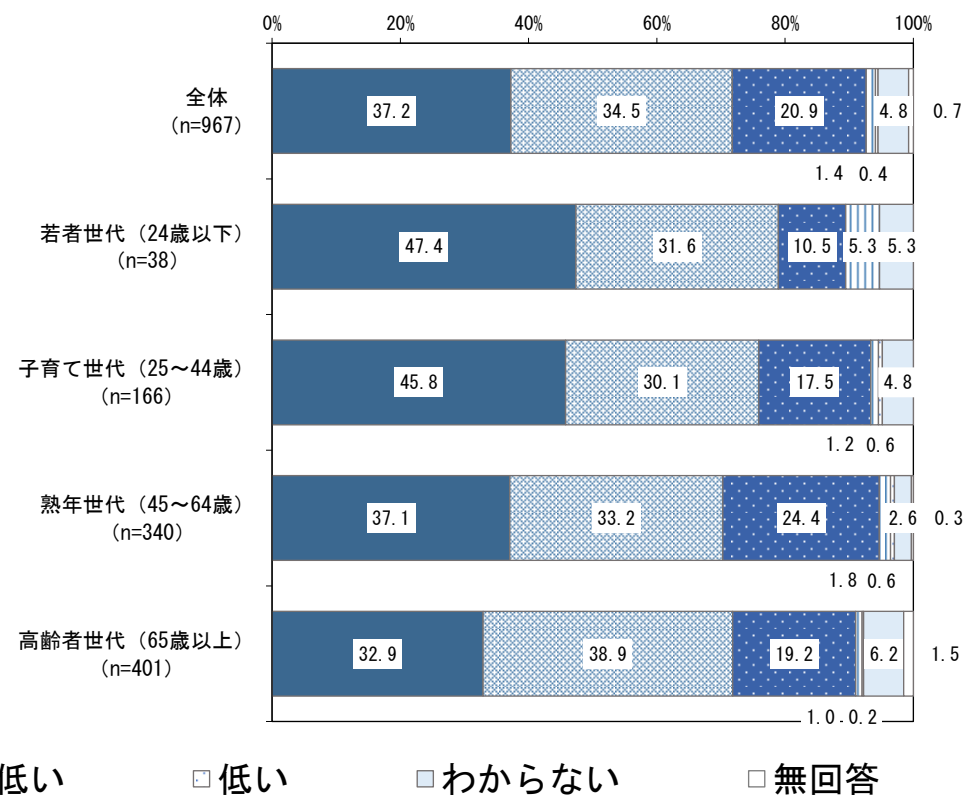
「持続可能な行財政運営を進める」ための施策が重要だと思うかについては、「高い」が37.2%で最も高く、次いで「やや高い」が34.5%、「普通」が20.9%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では71.7%となっており、令和元年度（61.3%）から10.4ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が79.0%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度

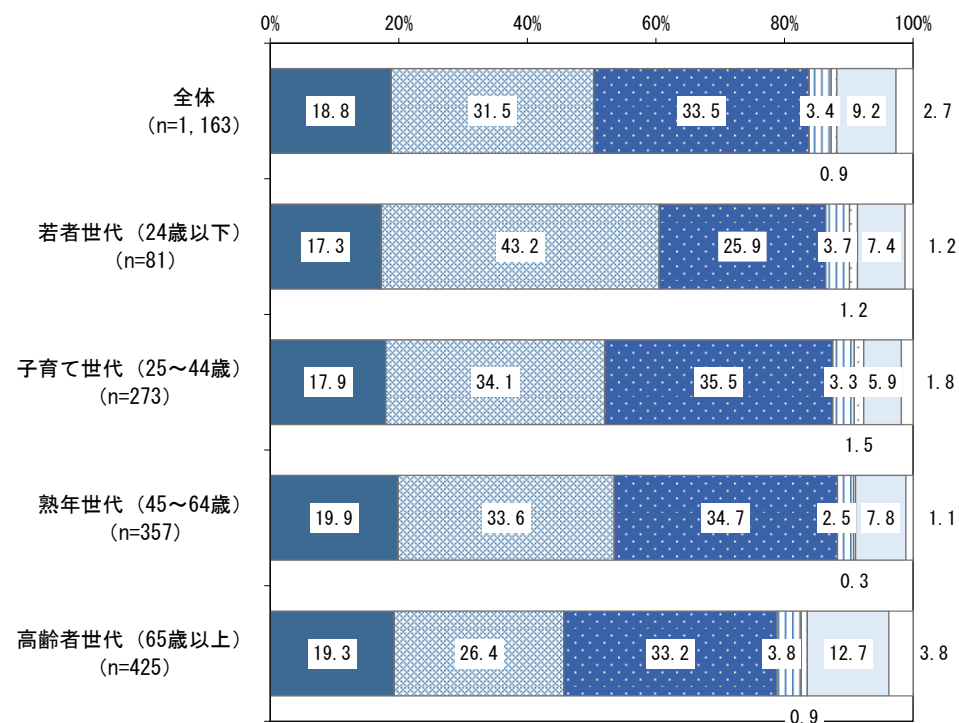


(32) 「自治体間の広域連携や地方分権を推進する」ための施策は重要だと思う市民の割合

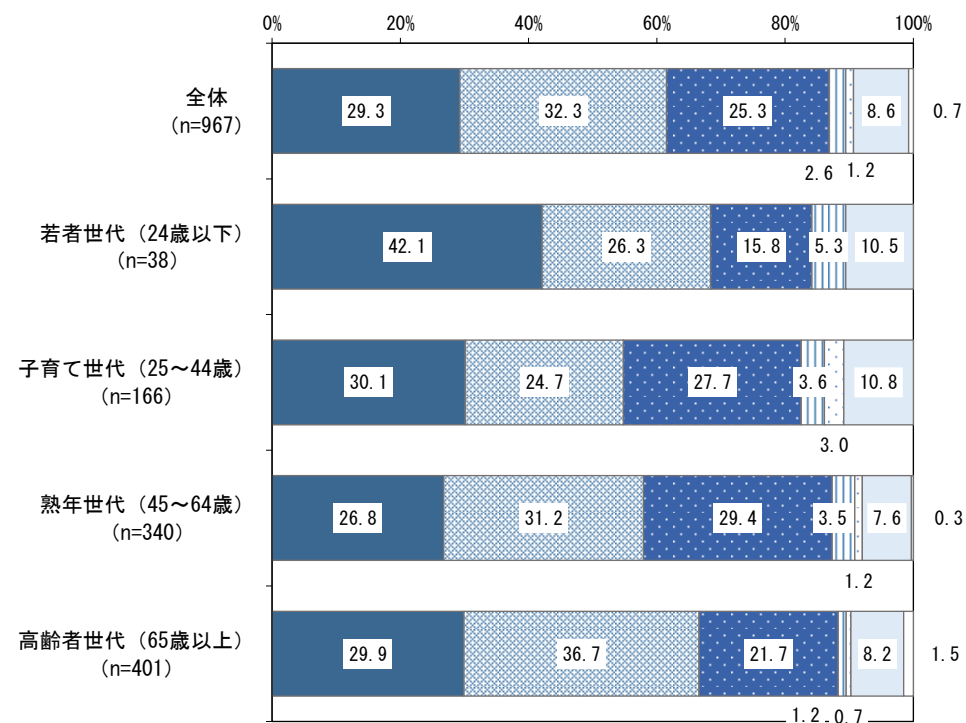
「自治体間の広域連携や地方分権を推進する」ための施策が重要だと思うかについては、「やや高い」が32.3%で最も高く、次いで「高い」が29.3%、「普通」が25.3%と続いています。また、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』では61.6%となっており、令和元年度（50.3%）から11.3ポイント増加しています。

世代別では、『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』の割合は、若者世代（24歳以下）が68.4%で最も高くなっています。

令和元年度



令和5年度



■ 高い ■ やや高い ■ 普通 ■ やや低い ■ 低い ■ わからない □ 無回答

経年比較＜世代別・上位5項目＞

枚方市が進める施策の重要度について感じていること（令和元年度調査との比較・上位5項目）では、「男女がともに参画し、個性を發揮できる」ための施策が各世代で上位になっており、全体で上位1位となっています。また、「公衆衛生や健康危機管理を充実する」ための施策は、熟年世代と高齢者世代で上位（全体の上位3位）になっており、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響で健康に関する危機意識が高まっている様子がうかがえます。

単位：ポイント

順位	全体	増減 値	若者世代 (24歳以下)	増減 値	子育て世代 (25～44歳)	増減 値	熟年世代 (45～64歳)	増減 値	高齢者世代 (65歳以上)	増減 値
上位1位	(12) 男女共同参画	22.9	(27) 地球温暖化対策	17.9	(11) 人権尊重	22.3	(12) 男女共同参画	20.8	(12) 男女共同参画	31.8
上位2位	(11) 人権尊重	20.0	(10) 障害者が自立し、社会参加ができる	10.0	(12) 男女共同参画	17.4	(22) 農を守り、生かす	17.9	(29) 市民との情報の共有化	30.2
上位3位	(7) 公衆衛生や健康危機管理	19.2	(31) 持続可能な行財政運営	9.9	(19) 地域資源を生かし、人々の交流を盛んにする	16.4	(7) 公衆衛生や健康危機管理	14.5	(7) 公衆衛生や健康危機管理	29.8
上位4位	(19) 地域資源を生かし、人々の交流を盛んにする	19.2	(12) 男女共同参画	9.5	(10) 障害者が自立し、社会参加ができる	15.6	(19) 地域資源を生かし、人々の交流を盛んにする	12.4	(27) 地球温暖化対策	29.7
上位5位	(29) 市民との情報の共有化	18.9	(29) 市民との情報の共有化	9.5	(29) 市民との情報の共有化	13.7	(13) 平和の大切さを後世に伝える	13.9	(5) 快適で暮らしやすい環境	28.9

経年比較＜世代別・下位5項目＞

枚方市が進める施策の重要度について感じていること（令和元年度調査との比較・下位5項目）では、「まちなかのみどりを育てる」ための施策が若者世代を除く全ての世代で上位になっており、全体で下位1位となっています。

単位：ポイント

順位	全体	増減値	若者世代 (24歳以下)	増減値	子育て世代 (25～44歳)	増減値	熟年世代 (45～64歳)	増減値	高齢者世代 (65歳以上)	増減値
下位1位	(24) まちなかのみどりを育てる	9.2	(14) 安心して妊娠・出産できる	-16.6	(24) まちなかのみどりを育てる	-5.8	(9) 高齢者が地域でいきいきと暮らす	3.2	(25) ごみを減らし、資源の循環を進める	16.2
下位2位	(25) ごみを減らし、資源の循環を進める	9.3	(8) 安心して適切な医療を受ける	-9.5	(17) 文化芸術やスポーツ	1.4	(32) 自治体間の広域連携や地方分権	4.5	(26) 安全で良好な生活環境	16.7
下位3位	(26) 安全で良好な生活環境	9.8	(3) 暮らしに身近な安全	-8.6	(32) 自治体間の広域連携や地方分権	2.8	(31) 持続可能な行財政運営	5.3	(31) 持続可能な行財政運営	18.4
下位4位	(31) 持続可能な行財政運営	10.4	(15) 子どもたちが健やかに育つ	-7.3	(25) ごみを減らし、資源の循環を進める	3.1	(28) 美しく魅力あるまち並み	5.6	(18) 魅力あふれる中心市街地をつくる	19.2
下位5位	(32) 自治体間の広域連携や地方分権	11.3	(16) 子どもたちの生きる力を育む	-6.1	(21) 地域産業を活発に展開する	3.3	(24) まちなかのみどりを育てる	5.9	(24) まちなかのみどりを育てる	19.4

経年比較（施策目標・施策指標／重要度） 枚方市が進める施策の重要度

	令和元年度比3ポイント以上増加したもの
	令和元年度比3ポイント以上減少したもの
	基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	重要度			
			平成 27 年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
1	災害に対する備えができているまち	災害に備えるための施策が重要だと思う市民の割合	66.7	67.1	80.2	13.1
2	災害時に、迅速・的確に対応できるまち	災害時に、迅速・的確に対応するための施策が重要だと思う市民の割合	69.7	70.1	84.1	14.0
3	暮らしに身近な安全が確保されたまち	暮らしに身近な安全を確保するための施策が重要だと思う市民の割合	67.5	67.2	82.1	14.9
4	安全で快適な交通環境が整うまち	安全で快適な交通環境を整えるための施策が重要だと思う市民の割合	67.4	66.3	81.3	15.0
5	快適で暮らしやすい環境を備えたまち	快適で暮らしやすい環境を備えるための施策が重要だと思う市民の割合	63.4	62.7	79.8	17.1
6	誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らすための施策が重要だと思う市民の割合	66.3	64.8	79.5	14.7
7	公衆衛生や健康危機管理が充実したまち	公衆衛生や健康危機管理を充実するための施策が重要だと思う市民の割合	59.0	61.0	80.2	19.2
8	安心して適切な医療が受けられるまち	安心して適切な医療を受けるための施策が重要だと思う市民の割合	74.4	74.9	86.8	11.9

※各設問に対する「高い」「やや高い」の合計

経年比較（施策目標・施策指標／重要度）

	令和元年度比3ポイント以上増加したもの
	令和元年度比3ポイント以上減少したもの
	基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	重要度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
9	高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち	高齢者が地域でいきいきと暮らすための施策が重要だと思う市民の割合	65.0	63.4	76.4	13.0
10	障害者が自立し、社会参加ができるまち	障害者が自立し、社会参加ができるための施策が重要だと思う市民の割合	59.6	57.4	74.3	16.9
11	すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち	すべての人がお互いの人権を尊重しあうための施策が重要だと思う市民の割合	51.3	50.4	70.4	20.0
12	男女がともに参画し、個性を発揮できるまち	男女がともに参画し、個性を発揮できるための施策が重要だと思う市民の割合	41.9	43.5	66.4	22.9
13	平和の大切さを後世に伝えるまち	平和の大切さを後世に伝えるための施策が重要だと思う市民の割合	53.4	55.6	71.6	16.0
14	安心して妊娠・出産できる環境が整うまち	安心して妊娠・出産できる環境を整えるための施策が重要だと思う市民の割合	65.3	66.1	79.7	13.6
15	子どもたちが健やかに育つことができるまち	子どもたちが健やかに育つための施策が重要だと思う市民の割合	72.9	73.1	84.4	11.3
16	子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち	子どもたちの生きる力を育む教育を充実するための施策が重要だと思う市民の割合	69.7	70.8	83.0	12.2

※各設問に対する「高い」「やや高い」の合計

経年比較（施策目標・施策指標／重要度）

	令和元年度比3ポイント以上増加したもの
	令和元年度比3ポイント以上減少したもの
	基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	重要度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
17	誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち	誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるための施策が重要だと思う市民の割合	54.4	56.5	71.7	15.2
18	人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち	人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地をつくるための施策が重要だと思う市民の割合	55.0	54.3	67.1	12.8
19	地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち	地域資源を生かし、人々の交流を盛んにするための施策が重要だと思う市民の割合	45.8	44.6	63.8	19.2
20	いきいきと働くことのできるまち	いきいきと働くことができるための施策が重要だと思う市民の割合	62.5	59.1	76.1	17.0
21	地域産業が活発に展開されるまち	地域産業を活発に展開するための施策が重要だと思う市民の割合	57.4	55.1	69.5	14.4
22	農を守り、生かすまち	農を守り、生かすための施策が重要だと思う市民の割合	51.4	51.8	69.4	17.6
23	豊かな自然環境を大切にすまち	豊かな自然環境を大切にすための施策が重要だと思う市民の割合	61.0	62.2	78.8	16.6
24	まちなかのみどりを育てるまち	まちなかのみどりを育てるための施策が重要だと思う市民の割合	63.6	65.8	75.1	9.3

※各設問に対する「高い」「やや高い」の合計

経年比較（施策目標・施策指標／重要度）

	令和元年度比3ポイント以上増加したもの
	令和元年度比3ポイント以上減少したもの
	基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	重要度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
25	ごみを減らし、資源の循環が進むまち	ごみを減らし、資源の循環を進めるための施策が重要だと思う市民の割合	67.9	70.9	80.2	9.3
26	安全で良好な生活環境が確保されたまち	安全で良好な生活環境を確保するための施策が重要だと思う市民の割合	72.5	73.3	83.2	9.9
27	地球温暖化対策に取り組むまち	地球温暖化対策に取り組むための施策が重要だと思う市民の割合	53.3	56.7	73.9	17.2
28	美しく魅力あるまち並みが育まれるまち	美しく魅力あるまち並みを育むための施策が重要だと思う市民の割合	62.2	62.4	73.8	11.4

※各設問に対する「高い」「やや高い」の合計

経年比較（施策目標・施策指標／重要度）

	令和元年度比3ポイント以上増加したもの
	令和元年度比3ポイント以上減少したもの
	基本計画における重点施策

	施策目標	施策指標	重要度			
			平成27年度	令和元年度	令和5年度	令和5年度-令和元年度
1	市民との情報の共有化を進めます	市民との情報の共有化を進めるための施策が重要だと思う市民の割合	49.5	48.5	67.4	18.9
2	市民による活発なまちづくり活動を支援します	市民による活発なまちづくり活動を支援するための施策が重要だと思う市民の割合	43.9	45.2	61.2	16.0
3	持続可能な行財政運営を進めます	持続可能な行財政運営を進めるための施策が重要だと思う市民の割合	60.5	61.3	71.7	10.4
4	自治体間の広域連携や地方分権の推進を図ります	自治体間の広域連携や地方分権の推進を図るための施策が重要だと思う市民の割合	51.0	50.3	61.6	11.3

※各設問に対する「高い」「やや高い」の合計

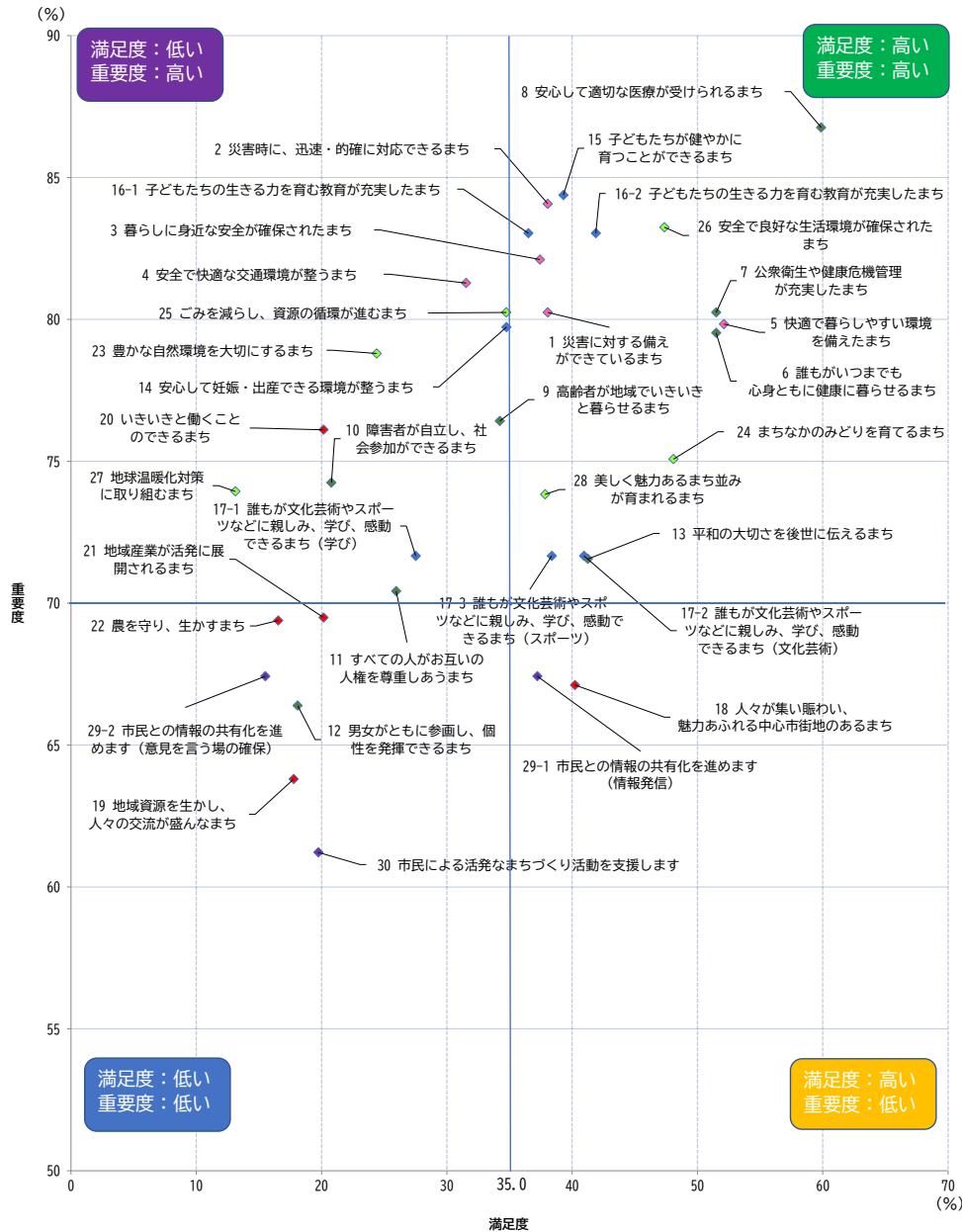
順位比較＜枚方市が進める施策の重要度：全項目＞

『重要だと思う（「高い」と「やや高い」の合計）』と答えた市民の割合を順位付けしたもの

単位：％

順位	項目	値	順位	項目	値	順位	項目	値	順位	項目	値
1位 (1)	(8)安心して適切な医療を受ける	86.8	9位 (18)	(7)公衆衛生や健康危機管理	80.2	17位 (11)	(24)まちなかのみどりを育てる	75.1	25位 (24)	(21)地域産業を活発に展開する	69.5
2位 (3)	(15)子どもたちが健やかに育つ	84.4	10位 (8)	(1)災害に備える	80.2	18位 (20)	(10)障害者が自立し、社会参加ができる	74.3	26位 (26)	(22)農を守り、生かす	69.4
3位 (6)	(2)災害時に、迅速・的確に対応する	84.1	11位 (14)	(5)快適で暮らしやすい環境	79.8	19位 (21)	(27)地球温暖化対策	73.9	27位 (29)	(29)市民との情報の共有化	67.4
4位 (2)	(26)安全で良好な生活環境	83.2	12位 (10)	(14)安心して妊娠・出産できる	79.7	20位 (15)	(28)美しく魅力あるまち並み	73.8	28位 (25)	(18)魅力あふれる中心市街地をつくる	67.1
5位 (5)	(16)子どもたちの生きる力を育む教育	83.0	13位 (12)	(6)心身ともに健康に暮らす	79.5	21位 (17)	(31)持続可能な行財政運営	71.8	29位 (32)	(12)男女共同参画	66.4
6位 (7)	(3)暮らしに身近な安全	82.1	14位 (16)	(23)豊かな自然環境を大切にす	78.8	22位 (22)	(17)文化芸術やスポーツ	71.7	30位 (31)	(19)地域資源を生かし、人々の交流を盛んにする	63.8
7位 (9)	(4)安全で快適な交通環境	81.3	15位 (13)	(9)高齢者が地域でいきいきと暮らす	76.4	23位 (23)	(13)平和の大切さを後世に伝える	71.6	31位 (28)	(32)自治体間の広域連携や地方分権	61.5
8位 (4)	(25)ごみを減らし、資源の循環を進める	80.2	16位 (19)	(20)いきいきと働くことができる	76.1	24位 (27)	(11)人権尊重	70.4	32位 (30)	(30)市民による活発なまちづくり活動	61.2

5 施策に対する満足度と重要度の分布図



本アンケートにおける取り組みの満足度と施策の重要度による分布図において、満足度と重要度が最も高い項目は「8. 安心して適切な医療が受けられるまち」(満足度：59.9% 重要度：86.8%)となっています。

満足度と重要度を高い・低いで4グループに分類すると、「満足度：高い 重要度：高い」は16項目、「満足度：高い 重要度：低い」は2項目、「満足度：低い 重要度：高い」は10項目、「満足度：低い 重要度：低い」は6項目となっています。

「満足度：高い 重要度：高い」では、生活環境、公衆衛生、医療、健康、災害、子ども等が分類されています。

一方「満足度：低い 重要度：高い」では、交通環境、ごみ削減、自然環境、妊娠・出産、労働、障害者の自立等が分類されています。

6 生活における満足度

内閣府では、経済社会の構造の変化について、経済指標だけではなく、人々の生活にどのような影響をもたらすかを明らかにする取組として、「満足度・生活の質に関する調査」を進めてきました。市民の主観的な意識に重きを置いた政策検討が求められ、Well-being 指標の重要性が認められてきているなか、枚方市でも内閣府による調査結果との比較検証が可能となるよう、市民の「生活における満足度」について調査を行いました。

(1) 国の調査※との比較

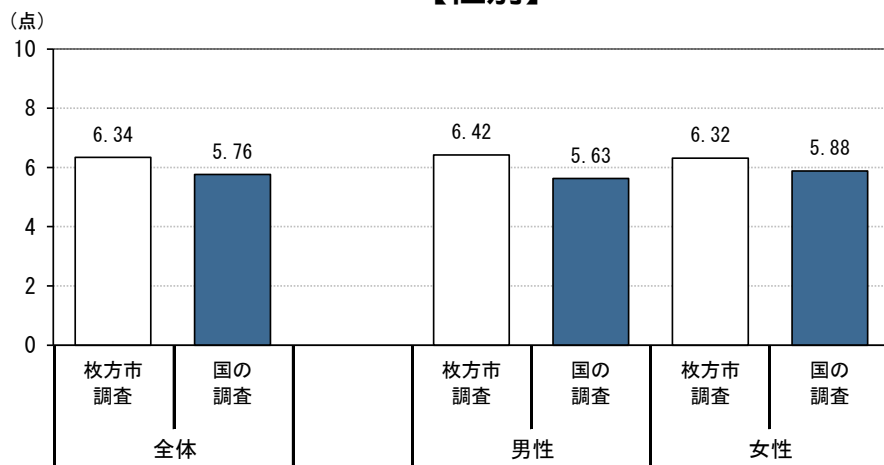
生活における満足度における国の調査との比較では、全体で平均点が6.34点となっており、国の調査(5.76点)より0.58点高くなっています。

性別では、男女ともに平均点が6点以上で、それぞれ国の調査より高くなっています。また、男性(6.42点)と女性(6.32点)では大きな差はありません。

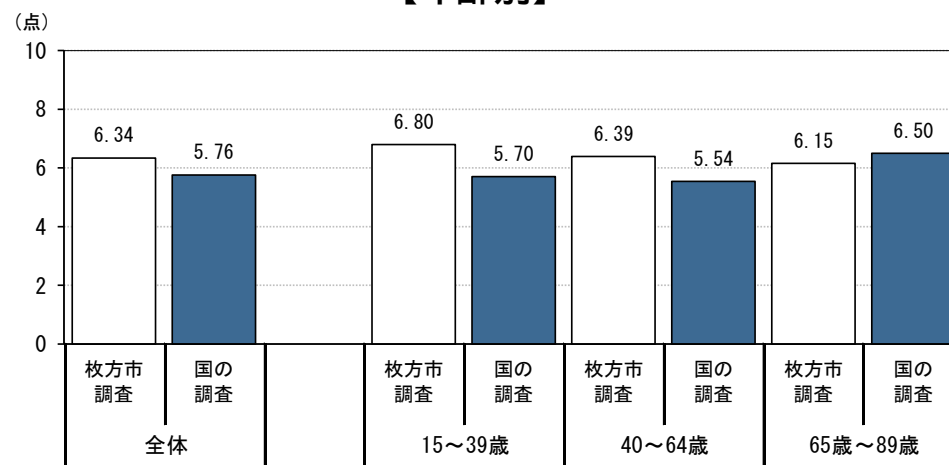
生活における満足度(年齢別)の国の調査との比較では、「15~39歳」(6.80点)「40~64歳」(6.39点)では、それぞれ国の調査を上回っていますが、「65~89歳」(6.15点)では、国の調査(6.50点)より点数が低くなっています。

また、枚方市調査では年齢層が上がるにつれて満足度が低下しており、「15~39歳」(6.80点)が「65~89歳」(6.15点)より0.65点高くなっています。

【性別】



【年齢別】



※枚方市調査の「65~89歳」の数値は「65歳以上」の数値

※国の調査：満足度・生活の質に関する調査報告書 2022~我が国の Well-being の動向~ (令和4年7月：内閣府)

(2) 趣味・生きがいの有無別の比較

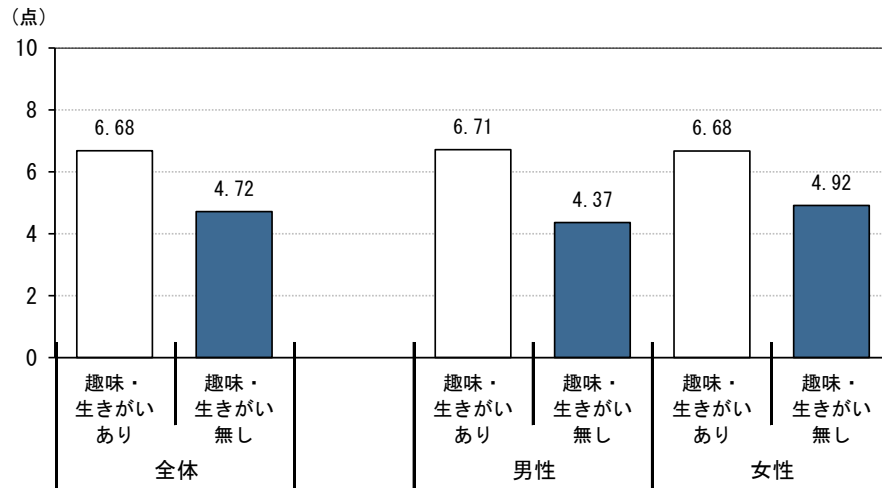
生活における満足度（趣味・生きがいの有無別／性別）での比較では、全体の平均点では「趣味・生きがいあり」（6.68点）が、「趣味・生きがい無し」（4.72点）より1.96点高くなっています。

性別では、男女ともに「趣味・生きがいあり」の平均点が6点以上で、それぞれ「趣味・生きがいなし」より1.5点以上高くなっています。特に、男性の方が趣味・生きがいの有無による満足度の差が大きくなっています。

生活における満足度（趣味・生きがいの有無別／年齢別）での比較では、全ての年齢層で「趣味・生きがいあり」が、「趣味・生きがいなし」より1.5点以上高くなっています。

特に「15～39歳」では、「趣味・生きがいあり」（6.99点）と「趣味・生きがいなし」（4.58点）の差が2.41点と大きくなっています。

【趣味・生きがいの有無／性別】



【趣味・生きがいの有無／年齢別】

